brother

取扱説明書

刺しゅう機付きコンピューターミシン EMG03/EMG13 シリーズ



はじめに

この度は、本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。 お使いになる前に「安全にお使いいただくために」をよくお読みいただき、本取扱説明書で機能や使い 方を十分にご理解のうえ、末永くご愛用ください。 また、お読みになった後はいつでもご覧になれるところに保管してください。

安全にお使いいただくために

本取扱説明書およびミシンで使用されている表示や絵文字は、製品を安全に正しくお使いいただき、お 使いになる方や他の人々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。 その表示や意味は次のとおりです。



取扱説明書で使用されている絵文字の意味は次のとおりです。



特定しない 禁止事項



分解しては いけません



電源プラグを 抜いてください

特定しない

義務行為



あります

感電の危険が

火災の危険が あります



水に濡らしては いけません



特定しない 危険通告



針の下に指を入れない でください

本製品を安全にお使いいただくために、以下の事柄を守ってください。

	▲警告
$\bigcirc \mathbb{A}$	ー般家庭用電源 AC100V の電源以外では、絶対に使用しないでください。 火災・感電・故障の原因となります。
8	以下のようなときは電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。 火災・感電・故障の原因となります。 ・ミシンのそばを離れるとき ・ミシンを使用したあと ・使用中に停電したとき ・接触不良、断線などで正常に動作しないとき ・雷が鳴りはじめたとき



	▲注 意
Â	電源プラグを抜くときはまず電源スイッチを切り、必ずプラグの部分を持って抜いてください。電源 コードを引っ張って抜くとコードが傷つき、火災・感電の原因となります。
$\otimes \mathbb{A}$	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、た ばねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・ 感電の原因となります。 電源コードまたは電源プラグが破損したときはミシンの使用をやめてお買い上げの販売店または「お客 様相談室(ミシン 119番)」にご連絡ください。
\bigcirc	電源コードは、赤い印以上に引き出さないでください。
F	長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となり ます。
\otimes	直射日光の当たるところや、ストーブ、アイロンのそばなど温度の高いところでは使用しないでくださ い。ミシンの使用温度は 0 ~ 40 ℃です。ミシン内部の温度が上がったり、ミシン本体や電源コードの 被膜が溶けて火災・感電の原因となります。
\otimes	火の気のあるもののそばでは使用しないでください(火の消えていないたばこ、ろうそくなど)。 火災の原因となります。
$\bigcirc \mathbb{A}$	野外でのご使用は避けてください。雨などが降り、本体が濡れて感電の原因となります。また濡れたと きはお買い上げの販売店または「お客様相談室(ミシン 119 番)」にご連絡ください。
\bigcirc	温度や湿度の高い所でのご使用や保管は避けてください。
\otimes	スプレー製品などを使用する部屋では使用しないでください。スプレーへの引火によるやけどや火災の 原因となります。
$\otimes \mathbb{A}$	ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所には置かないでください。バランスが崩れて倒れ たり、落下などしてけがをする原因となります。 ミシンは安定した平らなテーブルや机の上でご使用ください。
\otimes \land	ミシン本体の換気ロをふさがないでください。換気口は、必ず壁から 30cm 以上離して使用してくだ さい。また、換気ロやフットコントローラーに糸くずやほこりがたまらないようにしてください。火 災の原因となります。
	ミシン本体の上に花びんや水の入った容器を置くなどして、ミシン本体に水をこぼさないでください。 万一、内部に水などが入った場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い 上げの販売店または「お客様相談室(ミシン 119 番)」にご連絡ください。そのまま使用すると火災・ 感電の原因となります。
	ミシン本体の換気ロや内部に異物を入れたり、ドライバーなどを差し込まないでください。高圧部に触 れて感電のおそれがあります。万一、異物が入った場合は、使用をやめてお買い上げの販売店または 「お客様相談室(ミシン 119 番)」にご連絡ください。
0	ミシン本体の重さは約 9.9kg あります。ミシン本体を持ち運びする際は急激または、不用意な動作をし ないでください。腰や膝を痛める原因となります。
\bigotimes	以下の場所に設置、保管をしないでください。故障の原因になります。 ・温度が著しく高くなる場所 ・温度が著しく低くなる場所 ・急激に温度が変化する場所 ・湿気、湯気の多い場所 ・火気や熱器具、冷暖房機器などに近い場所 ・屋外や直射日光の当たる場所 ・ほこり、油煙の多い場所
0	ミシン本体は、必ずハンドルを持って持ち運びをしてください。他の部分を持つとこわれたりすべって 落としたりして、けがの原因となります。

	▲注 意
•	ミシン本体には取扱説明書に記載されている付属品を使用してください。他の部品を使用するとけが・故 障の原因となります。
	お客様ご自身での分解、修理および改造は行わないでください。火災・感電およびけがの原因となりま す。指定以外の内部の点検・調整・掃除・修理は、お買い上げの販売店または「お客様相談室(ミシン 119 番)」にご依頼ください。
	取扱説明書に記載されている整備は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。 けが・感電の原因となります。
	<u>ミシン操作中は、針の動きに十分ご注意ください。また、針、プーリー、てんびんなどすべての動いて</u> いる部品に手を近づけないでください。けがの原因となります。
Â	リッパーで穴を開ける方向に、手や指を置かないでください。すべったときにけがをするおそれがあり ます。本来の使用目的以外での使用はしないでください。
0	針や押えなどの交換およびそのほかの機能に関する使用については、取扱説明書の指示どおりに正しく 行ってください。
\bigcirc	 縫製中、布地を無理に引っ張ったり、押したりしないでください。けが・針折れの原因となります。
	<u>針の下などに指を入れないでください。</u> けがをするおそれがあります。
0	上糸、下糸などに関する操作については、取扱説明書の指示どおりに正しく行ってください。取り扱い を誤ると、縫製中に糸がらみなどが発生し、針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。
\bigcirc	 曲がった針は絶対に使用しないでください。針折れの原因となります。
Â	万一、ミシン本体を落としたり、破損したり、故障したりした場合は、ただちに使用をやめてお買い上 げの販売店または「お客様相談室(ミシン 119 番)」にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感 電の原因となります。
	万一、煙が出ている、異臭がする、異常音がするなどの状態のときはすぐに電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または「お客様相談室(ミシン 119 番)」にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。
0	本製品が入っていた袋は、お子様がかぶって遊ばないように、お子様の手の届かないところに保管する か廃棄してください。かぶって遊ぶと窒息のおそれがあります。
\bigcirc	お子様の玩具として使用しないでください。お子様が使用するときや、お子様の近くで使用するときは、 お子様がけがをしないよう十分注意してください。
\bigcirc	フットコントローラーの上に物をのせないでください。 けが・故障の原因となります。

- このミシンは日本国内向け、家庭用です。外国では使用できません。
 This sewing machine can not be used in a foreign country as designed for Japan.
 職業用としてご使用になった場合の保証はいたしかねますので、ご了承ください。
- 仕様および外観は品質改良のため、予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 取扱説明書の内容を許可なく無断で複製することは禁じられておりますので、ご了承ください。
- 取扱説明書の内容は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 取扱説明書の内容について、万一不審な点や誤りなどお気づきの点がありましたら「お客様相談室 (ミシン 119 番)」にご連絡ください。
- ●本機をご使用になる方(お子様を含む)が、身体/知覚/精神的能力になんらかの障がいを持つ場合、 あるいは経験や知識が十分でない場合には安全を保証できる責任者の監視の下でのみ本機を使用し てください。
- お子様が使用するときは、玩具として使用しないよう、十分な監視の下で使用してください。

警告表示について

ミシン本体には下記の警告が表示されています。

警告表示の注意事項を守って作業を行ってください。 また、警告ラベルは、はがれたり、傷ついたりしないよう十分注意してください。

万一ラベルがはがれていたり、読みとれなくなった場合は速やかに「お客様相談室(ミシン 119 番)」にご連絡 ください。









IMPORTANT:

READ BEFORE DOWNLOADING, COPYING, INSTALLING OR USING.

By downloading, copying, installing or using the software you agree to this license. If you do not agree to this license, do not download, install, copy or use the software.

Intel License Agreement For Open Source Computer Vision Library

Copyright © 2000, Intel Corporation, all rights reserved. Third party copyrights are property of their respective owners.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistribution's of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistribution's in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following
 disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- The name of Intel Corporation may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

This software is provided by the copyright holders and contributors "as is" and any express or implied warranties, including, but not limited to, the implied warranties of merchantability and fitness for a particular purpose are disclaimed. In no event shall Intel or contributors be liable for any direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damages (including, but not limited to, procurement of substitute goods or services; loss of use, data, or profits; or business interruption) however caused and on any theory of liability, whether in contract, strict liability, or tort (including negligence or otherwise) arising in any way out of the use of this software, even if advised of the possibility of such damage.

All information provided related to future Intel products and plans is preliminary and subject to change at any time, without notice.

このミシンでできること

B 基本機能編

本機をご使用になる前に、「基本機能編」をお読みください。ここでは、基本的な準備の手順や、基本的なぬい方、本機の便利な機能を説明します。

第1章 ぬう前の準備	B-2 ページ
ミシンの基本的な操作方法を説明します。	
第2章 基本のぬい方	B-36 ページ
ぬう前に必要な準備と基本的なぬい方を説明します。	
第3章 刺しゅうの基本	B-54 ページ
刺しゅうの準備のしかたと基本的な操作方法を説明しています。	

S 実用ぬい編

ここでは、実用ぬいのさまざまな機能を紹介しています。基本的な縫製だけでなく、筒ものぬいやボタン穴かが りなど、本機をもっと活用したいときの詳しい操作方法を知ることができます。

S-2ページ

S-6 ページ

D-2 ページ

D-20 ページ

E-2 ページ

第1章 きれいに仕上げるために 上手にぬうコツやさまざまな布地をぬうコツなどを説明します。 第2章 いろいろなぬい方 内蔵模様の使い方を紹介します。

D 文字・飾りぬい編

ここでは、文字模様・飾り模様のぬい方や、調整・編集のしかたを紹介しています。さらに、オリジナルの模様 を作成できるマイイラスト機能の使い方も紹介します。

第1章 文字模様/飾り模様

文字・飾りぬいの手順を説明します。

第2章 マイイラスト機能

オリジナルの模様の作り方と記憶のしかたを説明します。

E 刺しゅう編

ここでは、刺しゅう模様の編集や、記憶させた模様を呼び出す手順を紹介します。

第1章 刺しゅう

オリジナルの刺しゅう作品を作るために必要な模様の編集方法や便利な機能について説明します。

A 付録

ここでは、困ったときのヒントや、本機を長くお使いいただくためのお手入れ方法などを紹介しています。 第1章お手入れ/困ったときには A-2ページ

ミシンのお手入れ、困ったときの対処方法などを紹介します。

「実用ぬい編」の模様表の見方

実用模様の模様番号は、ミシンのシリーズに よって異なり、この表は、複数のシリーズの模 様番号を掲載しています。

お使いのミシンは EMG シリーズです。 「EMG シリーズ」の列をご覧ください。

名前	ぬい方	X ビー ご ふ 模様	■ CPF73 目 日 ンリーズ 回	抻え
しつけぬい		1-08	08	
古伯 (七甘伯)	0=	1-01	01*	
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	0	1-02	02*	
直線(中基線)	·	1-03	03*	Ū
直線(中基線)	0	1-04	04*	
3 重ぬい	0≡≡≡	1-05	05*	

目次

安全にお使いいただくために	i
警告表示について	iv
商標	. v
このミシンでできること	vi
「実用ぬい編」の模様表の見方	vii

B 基本機能編

第	1章 ぬう前の準備	2
	各部の名称とはたらき	2
	主要部	
	刺しゅう機	3
	操作スイッチ	4
	操作パネルと操作キー	4
	補助テーブル	5
	付属品	6
		7
	電源の入れ方	8
	電源を入れる	9
	電源を切る	9
	ミシンを初めて使うとき	
	液晶画面	10
	液晶画面の見方	10
	設定画面	12
	表示言語を設定する	
	設正回回を回修としてUSBメモリーに保存する 場体ガイド機能を使う	
	探作刀1ト機能を使う	10ان حله
	ト 希の 準 備	17
	ト糸を巻く	
	下	20
	上	
	上糸を通9 私に変す通す	
	」 「「「」」 「」 」 」 」 に が ど 迎 り 	20 26
	」 - 丁 ビ 町 に 示 と 通 9 こ さ 下 幺 友 리 キ 出 す	20 27
	「水を」で山り 2 太針を体田する	رح27 27
	2 ^余 町で使用する 針の交換	
	布地と糸の種類による針の使い分け	
	正しい針の見分け方	
	針の交換	
	押えの交換	33
	押えを交換する	
	押えホルダーを取り外す/取り付ける	

第2章 基本のぬい方

ぬってみましょう	36
模様の種類	36
模様をぬう	36
返しぬい/止めぬいをする	39
自動で返しぬい/止めぬいをする	39
模様の設定	41
振り幅を調節する	41
ぬい目の長さを調節する	41
ぬい目の基線位置を変える(L/R シフト設定)	42
糸調子を調節する	42
模様の設定を記憶させる	43
便利な機能	44
自動で糸を切る	44
模様を左右反転させる	44
押え圧を調節する	45
自動押え圧補正	45
ピボット	45

フリーモーションモードでぬう	46
ニーリフターを使用する	47
ぬい方早見表	49

54

第3章 **刺しゅうの基本**

刺しゅうの手順	54
刺しゅう押えを取り付ける	55
刺しゅう機を取り付ける	56
きれいに刺しゅうするために	59
右地を張る	60
布地に芯を貼る	. 60
刺しゅう枠に布地を張る	. 61
小さい布や布の隅に刺しゅうする	. 63
刺しゅう枠をセットする	64
刺しゅう模様を選ぶ	66
著作権について	. 66
刺しゅう模様の種類	. 66
刺しゅう模様の選び方	. 66
刺しゅう模様の確認	68
ぬう位置を確認する	. 68
刺しゅうイメージを確認する	. 68
刺しゅうする	69
模様を刺しゅうする	. 69
刺しゅうの糸の表示を変更する	. 70

S 実用ぬい編

第1章 きれいに仕上げるために	2
上手にぬうコツ	2
試しぬいをする	2
ぬう方向を変える	2
カーブをぬう	2
筒ものをぬう	2
ぬいしろの幅をそろえる	3
いろいろな素材をぬう	4
厚い布地をぬう	4
薄い布地をぬう	
伸びる布地をぬう	5

6

第2章 いろいろなぬい方

36

しつけぬいをする/布をぬい合わせる	6
しつけぬい	6
布をぬい合わせる	6
すそ上げをする	8
布端を始末する	. 11
たち目かがり押え <g>を使うたち目かがり</g>	11
ジグザグ押えくJ>を使うたち目かがり	12
サイドカッター押え <s>(別売)を使うたち目かがり.</s>	13
ボタン穴かがり/ボタンつけ	. 15
ボタン穴かがり	15
ボタンつけ	18
ファスナーつけ	. 21
つき合わせ	21
片返し	22
伸びる布地やゴムテープをぬう	. 25
伸縮ぬい	25
ゴムテープつけ	25
アップリケ/パッチワーク/キルトぬい	. 27
アップリケ	27
パッチワーク(クレイジーキルト)	28
	-

ピーシング	28
キルティング	
フリーモーションキルト	
振り幅コントロールを使用したサテンぬい	35
丈夫にしたいところをぬう	37
3 重ぬい	
かんどめ	
つくろいぬい(ダーニング)	
はとめ穴を作る	40
横送り (直線・ジグザグ)	41
飾りぬいをする	43
ファゴティング	43
スカラップ	44
スモッキング	44
シェルタック	45
つき合わせ	45
ヘアルーム	

D 文字・飾りぬい編

第1章 文字模様/飾り模様

1章 文字模様/飾り模様	2
模様の選択	2
飾り模様/大型サテンステッチ/ 7mm サテンステッチ/	
クロスステッチ/実用飾り模様	2
文字模様	2
模様をぬってみましょう	4
きれいにぬうために	4
基本的なぬい方	4
模様の調整をする	5
模様の編集	7
	9
模様の長さを変える (7mm サテンステッチのみ)	9
模様を左右反転させる	9
模様を建続してぬつ 描述の多密度を亦うて(ナ型サニンフニッチのユ)	9
侯稼の宗智度を変える(入空サチンスチサチのみ)	10
模様のイメージを確認する	11
横様の知み合わせ	12
模様を組み合わせる前に	12
模様を組み合わせる	12
大きさを変えた模様を組み合わせる	13
反転模様を組み合わせる	13
長さを変えた模様を組み合わせる	14
ステップ模様を作る	14
模様の記憶	16
データに関する注意	16
模様を記憶させる	16
模様を市販の USB メモリーに記憶する	17
模様を呼び出す	18
USB メモリーから呼び出す	18

第2章 マイイラスト機能

イラストデザイン	20
イラストの入力	22
サンプル模様を編集する	24
マイイラストの記憶	26
マイイラスト模様を記憶させる	26
記憶させた模様を呼び出す	26

E 刺しゅう編

乐 5	ž	朿	し	ゆ	う										2
副	. ሙ	う模	様σ)译	₹7×'	눆									2
~ ;C	ノポ ノ	ノ i天 インノト	· / *•.	- 	<u>s</u> し、 エテノ	/] . . /	お ア	, II, -	 ק ד	へ	 	、樟		選ぶ	Z
文 文 三	字模	- / - 様を資	//、 異ぶ.			· ⁄				` `					2
枠	莫様	を選ぶ	ñ												4
編集	しの	しか	た												5
刺し	しゅ	うする	5位置	_{冒を}	移動	りさt	±る								6
大き	きさ	を変え	える.												6
模核	羕を	回転さ	きせる	Ś											6
刺し	しゆ	うのき ナナロ	ん色を	E 変	える		•••••					•••••			7
(実作) シロ	求と	左 右 かううちん しんしょう しんしょ しんしょ	く虹⊂ える	<u>१</u> ७ (क	る 今.	まれま	 古	 M 2				• • • • • •			/
ボロ	玉反 恙を	で友/ 削除す	1 つ ナス		1.	1+1	天小水	0,00	r) .			•••••			7
模核	まを	拡大表	, 』. 長示す	 トる											8
編集	耒が	終わ:	ったら												8
文字	≧編	集の	しか	いた											9
1 戈	と字	ずつ色	もを変	え	てぬ	う									9
縦	書き	/横書	書きを	E切	り蒮	える	3								9
入り	カし	た文字	そのこ	7オ	ント	を変	変更	する							10
文王	字の	間隔を	を変す	きす	3.							•••••			10
文字	子の	間隔る	を詰め) 5 7 7 7 7 7 7	 +¥ ≁	·	 1 南井				••••	• • • • • •			10
組の 1 寸	か合 ケラゴ	わせん ずつ編	ミ乂∃ ■隹す	- 侠 ⁻ z	惊せ	ינעי	ノ離	9.				• • • • • •			 11
× ⊺ ∀∃	くナ 字の	タ ノ 柳 両 石 1 考	『未り	つ さろ								•••••			11
荷	€の	組み	٨	。 り り	+										13
組み	お合	小山・ノ わせ棹	算様を	F 編	集す	-る.									13
組み	み合	わせ棒	莫様を	E刺	ι¢	うろ	する								14
縫製	設	定画	面て	〔編	賺	する	5								. 15
模核	羕を	移動さ	きせる	5											15
模核	羕を	回転る	きせる	5											
模核	羊レ				• • • • • • •		•••••	• • • • •			••••				15
$\forall \exists$	ж С.	針をす	うわ t	t3			·····			·····					15 15
	_求 こ 字を	針をす つな!	あわせ げて束	する りし	ゆう	 する	 3		 	·····				·····	15 15 16
アッ	ッ 字を ノ プ	針をす つな ^に リケ	あわせ げて束	する リし	ゆう	する	5							······	15 15 16 . 18
へ、 アッ 刺し	家を ノプ ゆば	針を わつ り ケ う 枝 枝	あわせ ずて束 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	せる りし もつ	ゆう	する	 る プリ	 ケ を		ວ.				······	15 15 16 . 18 18
へ、 アッ 刺し 枠根	※字/し 模様	針を お し り 友 使 に の を 使	あわせ 美た た	とうし シック)する /ッフ ケマ	 る プリ をす	ケるス	・・・・・ ・・・・・ ・・・・・ ・・・・・・ ・・・・・・・・・・	ວ.				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	15 15 16 . 18 18 20 21
へ アッ 刺し 枠 枠 付 目	※字 ノ し 莫 莫 텤	針つ リ うをを様 をな ケ 枝にてな	あわせ がて がをたてう	きし シッツ	ゅう てア プリ	する マップ ワンマ マンマ マンマ マンマ マンマ マンマ マンマ マンマ マンマ マ	3 プリ をす	ケるる	・・・・・ す (1) (2)	。 、、、、 、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、					15 15 16 18 18 20 21 22
イッ アッ 刺し 枠 村 た の た	※字/し莫莫割,こをプ ゆ様様模な	針つ リ うをを様 と をな ケ 模使使をき	あげ 様っっね	きし シッツッ	・ ゆう てアリ プリ	する マップ マンマ マンマ マンマ マンマ マンマ マンマ マンマ マンマ マ マ マ	3 プリ をす	ケ を る る	ー (1) (2)	3.					15 15 16 18 20 21 22 24
へ ア 刺 枠 枠 分 こ ん	※字/し莫莫割/糸	針つ リ うをを様と少ないた。 ないた様でである。	あげ 様っっね くわて をたてう …な	きし ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・ ゆう て ア リ リ	する マップ ワクマ ワクマ	3 プリ 王す 王す	ケを るる	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3.					15 15 16 . 18 20 21 22 . 24 . 24
 マッし 村林 や 村 た 、 、 、 、 、 、 	*字/し莫莫割/糸中こをプゆ様様模ながで	針つ リ うをを様と少糸をなケ模使使をきなか	あげ 様っっね く刀わて …をたてう …なれた	は し し し し し し し し し し し し し し し し し し し	・ゅ・てププ ・・・らきは) する / ッこ / ケマ	3 プリ 至す	ケるる	ミす (1) (2)	3.					15 15 16 18 20 21 22 . 24 24 24
くっしたをおり、	**字/し莫莫割/糸ヤめこをプゆ様様模ながでか	針つ リ うをを様 と 少糸ら をなケ模使使をきながぬ	あげ	はり ・ 良 ア ・ ・ っ っ っ っ っ っ っ っ っ	・ゆ・てププ らきいと	す マック ケマ た こ き に	3 プリ をす		す (1) (2)	алы алы алы алы алы алы алы алы алы алы					15 15 16 . 18 20 21 22 . 24 24 24 25
へ ッ 刺 枠 枠 分 こ 下 途 始 電	**字/し莫莫割/糸中の原こをプゆ様様模ながでかを	針つ リ うをを様 と 少糸ら切 をな ケ 模使使を き ながぬっ	あげ 様っっね く刀いこわて …をたてう …なれ直後	はし ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	…ゆ…てププ …らきいし)する マックな たいきに うう			・・・・・ (1) (2)	3.					15 15 16 . 18 20 21 22 . 24 24 24 24 25 25
イマ 刺枠枠分 こ下途始電し	※字ノし莫莫割ノ糸中の原ノこをプゆ様様模ながでかをゆ	針つ リ うをを様と少糸ら切う をなケ模使使をきながぬっに	あげ 様っっな く刀ヽこ関わて …をたてう …なれ直後関	はり ・ ション・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	…ゅ…てププらきいし。2011年1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日	す ッケケ た で の で の で			す (1) (2)	3.					15 15 16 18 20 21 22 . 24 24 24 24 25 27
へ ア 刺枠枠分 こ 下途始電 刺糸 系し 副	※字/し莫莫割/糸中の原/調ごを プ ゆ様様模ながでかをゆ子	針つリうをを様と少糸ら切うをまたケ 様子できょう ないり しんかい しんかい しんしょう しんしょう しんしん しんしょう しんしん しんしょう しんしんしょう しんしんしょう ひんしんしょう しんしょう しんしょう しんしょう しんしょう ひんしょう しんしょう ひんしんしょう ひんしんしょう ひんしんしょう ひんしんしょう ひんしょう ひんしんしょう ひんしんしんしょう ひんしんしょう ひんしょう ひんしょう ひんしんしょう ひんしょう ひんしんしょう ひんしょう ひんしょ ひんしょ ひんしょ ひんしょ ひんしょ ひんしょ ひんしょ ひんしょ	あず、様っっな、公知いた関え、わて、たたてう、いなれ直後する、	はり ・	・ゆ・てププ ・らきいし むいし おいし おいし おいしょう	す ッケケイ に この 定	。 つ し し す し 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	ケるる 開整	す (1) (2)	3.					15 15 16 . 18 20 21 22 . 24 24 24 24 25 25 . 27 27
へ マ 刺 枠枠分 こ 下途 始電 刺 糸 自	※字/し莫莫割/糸中の原/调動_こを プ ゆ様様模ながでかをゆ子糸	針つリうをを様と少糸ら切うを切ったなケ模使使をきながぬって整りのないケ根でであるくないなってをりの	あず 、		・ゆ・てププ ・らきいし ひょう	す ッケでで た きう 定	3 プをを しま の 記 の		(1) (2)	3.					15 15 16 . 18 20 21 22 . 24 24 24 24 25 25 . 27 27 27 28
マリークを見ていた。	*字/し莫莫則~糸中の原~周動し」こをプゅ様様模ながでかをゆ子糸ゅ	針つりうをを様と少糸ら切うを切ううをなりく様使使をきながぬって整りののないケゼにことも、ないたにう構造が	あず 、 様ののな、 公刀 いた 関え 機恵地わて … をたてう … なれ直後 関る能度調 も本 … 修うフ・… ったし、す・・ を言	は し し し し し し し し し し し し し し し し し し し	…ゅ…てププ …らきいし 20節恋			····································	(1) (2) うる	3					15 15 16 . 18 20 21 22 . 24 24 24 24 25 27 27 28 28
〈ア刺枠枠分こ下途始電刺糸自刺刺刺、	※字/し莫莫則/糸中の原/调動しし、こをプゆ様様模ながでかをゆ子糸ゆゆゆ	針つりうをを様と少糸ら切うを切うううなをはケ模使使をき くぢゅった 整りのあった	あず 、 策っつね 、 公刀いと関え幾速染会わて … をたてう … なれ直後関る能度表れて来 … 低フフ・… った直し、す・… を売り	は し し し し し し し し し し し し し し し し し し し	・ゆ・てププ ・らきいし 節変 がすえ	マッケケー さう 定 るる ゆ	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		す (1) (2) 一る			/3			15 15 16 . 18 18 20 21 22 . 24 24 25 27 27 27 27 28 28 28 29 29
〈ア刺枠枠分こ下途始電刺糸自刺刺刺刺	※字/し莫莫割~糸中の原~ 调動ししししてを プ ゆ様様模 ながでかを ゆ子糸 ゆゆゆゆ	針つリうをを様と少糸ら切うを切ううううきました。 をなり、様です。 ないののやにす。 ないののやにす。	あげ 、 様っっぬ、 公刀 いた 関え 機速や合策わて … をたてう … なれ直後 関る能度表わのも本 … 低フフ・ … こたし、 切る・・そうわき	は 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	…ゅ…てププ … らきいし 2 節変刺色				(1) (2) る 	····································		/₹		53.	15 15 16 . 18 18 20 21 22 . 24 24 24 25 25 25 27 27 28 28 28 29 29 29 30
一 ア 刺枠枠分こ下途始電 利 糸自刺刺刺刺	※字・し莫莫割~糸中の原~ 周動ししししましをプ ゆ様様模ながでかを ゆ子糸ゅゆゅゅキ	針つりうをを様と少糸ら切うを切うううう一をなった体できょくがなったをすのの枠様のできますがなったをすめ ひやし しょう	あげ 、	は 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	・ゆ・てププ らきいしみ 節変刺色変	す シケケ …きう 定 …るる ゆ変る			す (1) (2) ころ		τ3	/ 君		ta	15 15 16 . 18 18 20 21 22 . 24 24 24 25 25 . 27 27 28 28 29 29 30 30
マ刺枠枠分こ下途始電刺糸自刺刺刺刺模	※字、し莫莫則、糸中の原、 调動ししししま、こをプ ゆ様様模な がでかを ゆ子糸 ゆゆゆキ ゆ	針つ リ うをを様と少糸ら切うを切ううううーうをないケ 様々できながぬった茎りのの枠模の模	あず、厳っっな、公刀いに関え幾恵や合後ナ様わて…をたてう…なれ直後見る能度表わのイ様ので、「たたし、す・・をおわすこの	は 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1	…ゆ…てププらきいし節変刺色変 憶	す ッケケ きう定 るるゆ変る	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	····································	F3	/才	 表示?	t3	15 15 16 . 18 18 20 21 22 . 24 24 24 25 25 . 27 27 28 29 29 30 30 30 32
マ刺枠枠分こ下途始電刺糸自刺刺刺刺模 刺刺	※字/し莫莫割~糸中の原~調動ししっしま~しこをプ ゆ様様模ながでかを ゆ子糸ゆゆゆキ ゆゆ	針つ リ うをを様と少糸ら切うを切ううううーううをないケ模使できないないた影りの砕模の模デーをはいないたまりの砂に様っく	あず、羨っっな、く刀いと関え幾恵や合羨す様一わて…をたてう…なれ直後するもまれのイ様子がない。 おおしょう ごうおりすこの は	はり ・ セクター・ ・ っこう ・ ・ ・ ここせ訴ぐ) ここるし ・ っツツー・ ・ たとた刺る ・ ・ ・ 調をて景を記関	…ゆ…てププらきいし。節変刺色変にする。 デリリはとゅむ ずえしをえ信る	す シッケケー きう定 るる ゆ変る 注注			(1) (2) 選	····································	F3	/君			15 15 16 . 18 18 20 21 22 . 24 24 24 25 25 . 27 28 27 28 29 29 30 30 32 32
〈ア 刺枠枠分こ下途始電力糸自刺刺刺刺模 力 刺刺	※字/し莫莫削~糸中の原~调動ししししま~ししこをプ ゆ様様模ながでかを ゆ子糸ゅゆゆキ ゆゅゆ	針つ リ うをを様と少糸ら切うを切ううううーうううをなかたまである。 をなったたまで、ないたを切ううううーううう	あず、	はり ・ セクター・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	…ゆ・てププ・・・らきいしみ・・・節変刺色変化すさ	す シャケケー きう定 るるゆ変る 注る			す (1) (2) 		Γ3	/₹		±3.	15 15 16 . 18 18 20 21 22 . 24 24 24 25 25 27 27 28 27 28 29 30 30 32 32 32 32
(ア 刺枠枠分こ下途始電力糸自刺刺刺刺模力 刺刺刺)	※字/し莫莫割/糸中の原/周動ししっし様/しししこをプゆ様様模ながでかをゆ子糸ゆゆゆキゆゆゆゆ	針つリうをを様と少糸ら切うを切うううう一うううう、ないケ梗使のをないなった多りの枠模の模デ模模であるいかりやしていた。そのかり、たいたいやし、たいたいで、たいたい、	あず、 策っっね、 公刀ヽ と関え幾恵卆合策ナ 様 - 策策わて … をたてう … なれ直後見る能度表わのイ様 夕をを、むま、 ぼうう・ … こたし、 す・・ そうつ 背この に調正	はす。 セック こうこう こう こうせいぼう ここり (るし こうツッ こ) たとた刺る調をて景を記 関憶 (Si)	…ゆ…てププらきいし。節変刺色変愴すさ33	す シャケケ きう定 るるゆ変る 注るし		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	····································		ГЗ 13	/君		¢	15 15 16 . 18 20 21 22 . 24 24 24 24 25 25 27 27 27 27 28 29 30 30 30 32 32 34
ア 刺枠枠分こ下途始電 加糸自刺刺刺刺模 刺刺刺刺 刺 刺刺 刺 刺 刺 刺 刺 刺 刺 刺 刺 刺 刺 刺	※字/し莫莫割/糸中の原/調動ししっし様/しししンこをプ ゆ様様模ながでかを ゆ子糸ゆゆゆやキ ゆゆゆゆン	針つリうをを様と少糸ら切うを切うううう一ううううか- をなケ棟ですきながぬった多りのの枠模の模デ模模ら、 るいケ棟です。き、ないた、多りのの枠模の模デ模模ら、	あず、 策っっね、 公刀ヽ と関え幾恵卆合策ナ 様 - 策策則わて … をたてう … なれ直後見る能度表わのイ様 夕ををしたす … ほうう・ … こたし、す・・ そうつ 書之の に副しゅ	は 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	…ゆ・てププ らきいしと 節変刺色変化すさ3 模				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		5	/君		¢3.	15 15 16 . 18 20 21 22 . 24 24 24 24 24 25 25 27 27 27 28 29 30 30 30 32 32 32 34 34 34

目次

A 付録

第1章 お手入れ/困ったときには	2
お手入れのしかた	2
注油に関して	2
ミシンを保管するときのご注意	2
画面の汚れの掃除	2
ミシンの汚れの掃除	2
かまの掃除	2
点検の警告について	4
タッチパネルが反応しない	4
電子音	4
困ったとき	5
よくあるご相談	5
上糸がつる	5
布裏で糸がからまる	6
糸調子が合わない	7
布がミシンに入り込んでとれなくなった	8
ボビン受け座の下に糸がからまってしまった	11
こんなときは	13
エラーメッセージ	18
仕様	20
USB メモリーを使用してミシンを	
アップグレードする	21
<i>、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、</i>	 ວວ
ポ 勹	22



ここでは、基本的な準備の手順や、基本的なぬい方、本機の便利な機能を説明します。 ページ数は、「B」の記号で始まります。

第1章 ぬう前の準備	B-2
第2章 基本のぬい方	B-36
第3章 刺しゅうの基本	B-54

第**1**章 ぬう前の準備

各部の名称とはたらき

ここでは、ミシンの各部の名称とはたらきを説明します。ミシンをお使いになる前に、よく読んで覚えておきま しょう。

主要部



B





返しぬいどり フロ緑またはシクリク 侯禄の場合、このスイッテ を押している間だけ低速で返しぬいをします(逆方向にぬいま す)。 そのほかの模様では、ぬい始めやぬい終わりの止めぬいをする

ときに使います。このスイッチを押し続けると、同じ場所で3 針重ねてぬって止まります。(B-39 参照)

③ 止めぬいスイッチ 💿

このスイッチを押すと1針ぬいを繰り返した後で、止めぬいします。(B-39参照)

- ④ 針上下スイッチ (4)
 このスイッチを押すと、針の位置が上下に切り換わります。繰り返し押すと、1 針ぬいができます。
- ⑤ 糸切りスイッチ 🖂

ぬい終わった後にこのスイッチを押すと、上糸と下糸を切りま す。詳細は、 B-36 の「模様をぬう」の手順 12 を参照してく ださい。

- ⑥ 押え上下スイッチ() このスイッチを押すと、押えが下がり布地を押さえます。もう 一度押すと押えが上がります。
- ⑦ スピードコントロールレバー
 このレバーを左右に動かして、ぬう速さを調節します。

▲ 注意

・ 糸を切った後に糸切りスイッチを押さないでください。針が折れたり糸がからんだりするおそれがあります。また、故障の原因になります。

操作パネルと操作キー



- ① 液晶画面(タッチパネル) 選択した模様の設定値や、操作を誤った時のエラーメッセージ が表示されます。 液晶画面のキーにタッチすることで、操作をします。 詳細は、B-10の「液晶画面」を参照してください。
- ② 前ページキー ◀ 液晶画面に表示されていない項目があるときに、前の画面を表示します。
- ③ 次ページキー 液晶画面に表示されていない項目があるときに、次の画面を表示します。
- ④ ミシンの使い方キー
 ●以方
 ミシンの使い方を確認するときに押します。
- ⑤ 設定キー (設定)
 針上下位置や操作音などの設定をするときに押します。
- ⑦ 実用/文字模様キー (素用) 実用模様や飾り模様をぬうときに押します。
- ⑧ **戻るキー う** 液晶画面の表示を1つ前に戻すときに押します。
- ③ 針・押え交換キー し 針や押えを交換するときなどに押します。ミシンが作動しない ように他のすべてのキーと操作スイッチがロックされます。

、とお願い

- 操作キーは静電容量式タッチセンサーです。指 で直接触れて操作してください。操作する人に よって反応が異なりますが、キーを押す強さに よって反応が変わるわけではありません。
 - 操作キーは操作する人によって反応が異なりますので、感度設定を調節して使用してください。(B-15参照)
 - 市販の静電容量式に対応したタッチペンを 使用する場合は、タッチペンの先が8mm 以上のものを使用してください。先の細い タッチペン、特殊な形状のタッチペンは使 用しないでください。

補助テーブル

補助テーブルの中に付属品を収納することがで きます。図のようにふたを開いてください。



補助テーブルの付属品収納スペースの中には、押 え収納トレイが入っています。



- ① 補助テーブルの中の付属品収納スペース
- ② 押え収納トレイ
- ③ 刺しゅう押えくU>

ぬう前の準備

付属品

箱を開けたら、付属品が揃っていることを確認してください。不足しているときや破損しているとき は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



別売品

別売品・部品についてはお買い上げの販売店、または「お客様相談室(ミシン **119** 番)」にお問い 合わせください。



🖉 お知らせ

• 仕様は予告なしに変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

ぬう前の準備

 \prod

電源の入れ方

▲ 警告

- 一般家庭用電源 AC100V の電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 次のようなときは電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。火災・感電・故障の原因となります。
- ミシンのそばを離れるとき
- ミシンを使用したあと
- 使用中に停電したとき
- 接触不良、断線などで正常に動作しないとき
- ・ 雷が鳴りはじめたとき

▲ 注意

- 延長コードや分岐コンセントを使用した、たこ足配線はしないでください。火災・感電の原因となります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 電源プラグを抜くときはまず電源スイッチを切り、必ずプラグの部分を持って抜いてください。電源コードを引っ張って抜くとコードが傷つき、火災・感電の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、 たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火 災・感電の原因となります。電源コードまたは電源プラグが破損したときはミシンの使用をやめて、 お買い上げの販売店または「お客様相談室(ミシン 119番)」にご連絡ください。
- 長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となります。



液晶画面

液晶画面の見方

電源を入れて、オープニング動画が表示された場合は、液晶画面を指でタッチすると画面が表示されます。

模様や機能を選択したり、操作をするには、キーを指でタッチします。

■ 実用模様画面



■ 実用模様編集画面



No.	画面表示	名称	はたらき	参照ページ
1	-	模様	ぬいたい模様のキーを押します。	B-36
2	100%	表示サイズ	選択した模様が実際と比べてどのくらいのサイズで表示されているかを、 大まかな数値で表しています。 100%:実際とほぼ同じサイズで表示されています。 50%:実際の半分のサイズで表示されています。 25%:実際の1/4のサイズで表示されています。 実際の模様の大きさは、使用する布地や糸の種類によって異なります。	-
3	-	模様イメージ	選択中の模様イメージを表示します。 100 % で表示しているとき、模様 はほぼ実寸大で表示されます。	B-36
4		押え表示	押え記号を表示します。ぬう前に、ここで表示している押えを取り付けて ください。 * 片押えく I > やキルト押えなど、液晶画面に表示されない押えもあります。	B-33
6	↓	針位置設定表示	 1 本針と2 本針のどちらが設定されているかを表示します。針位置が上下 どちらに設定されているかも表示します。 ↓ : 1 本針/針位置下 • ↓ : 1 本針/針位置上 • ₩: 2 本針/針位置下 • ₩: 2 本針/針位置上 	B-12
6	~***///	振り幅設定表示	 選択した模様について、振り幅の現在の設定値を表示します。	B-41
7		ぬい目の長さ設定表示	選択した模様について、ぬい目の長さの現在の設定値を表示します。	B-41
8	anna mm	L/R シフト設定表示	選択した模様について、 L/R シフト(ジグザグの振り幅の中心位置を左右 のどちらかにずらすこと)の設定値を表示します。	B-42
9	<u> </u>	糸調子設定表示	選択した模様について、糸調子の現在の設定値を表示します。	B-42
		マニュアル調整キー	 下のような調整画面を表示するときに押します。 各項目の設定値は、 - + を押すと調整できます。 ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓	B-43

No.	画面表示	名称	はたらき	参照ページ
1	<u>∗1</u> ⊧ 6	ページ表示	総ページ数と、現在のページを表示します。	-
12		画面切り替えキー	模様画面と編集画面を切り替えるときに押します。	-
13	U U U U U U U U U U U U U U U U U U U	イメージキー	選択した模様のイメージを拡大して確認するときに押します。	-
14	~~	自動糸切りキー	自動糸切り機能を有効にするときに押します。	B-44
15	(f)	自動返しぬい/止めぬいキー	自動返しぬい/止めぬい機能を有効にするときに押します。	B-39
16		ピボットキー	ピボット設定にするときに押します。	B-45
17	the second	連続/単独ぬいキー	単独ぬいと連続ぬいの切り替えをします。	-
18	Lxox	模様の頭出しキー	停止時に押すと、縫製中の模様を先頭に戻すことができます。	-
19		左右反転キー	模様を選んでから押すと、模様が左右に反転します	B-44
20	-CP	フリーモーションモードキー	フリーモーションモードに設定するときに押します。	B-46

ぬう前の準備

設定画面

■■を押すと、ミシンのさまざまな設定(針上下位置、刺しゅうの速度、オープニング画面など)を 変更することができます。変更を設定した後は、●■または●●を押します。

■ 実用ぬい/文字・飾り模様ぬいの設定

1ページ 2ページ 3ページ ④ 押え高さ ① - …… 振り幅コントロール (7) ビボット押え高さ ON OFF 10 755 - + * <u>2</u> 10 322 - + <<u>3</u> 10 5 5 (5) #7.E 21 フリーモーション
 * ア 押え高さ £ ↓ 模様調整たて 00 - + 3 - + 1.0 - + (8) 2 (9) - 1 自動押え圧補正 ↔ Щ 模様調整よこ 00 - + ON OFF (10) ③ 🚽 📗 2本針 ON OFF ↓ 止めぬい優先設定 ON OFF ок ок ок

- ① この設定を「ON」にすると、スピードコントロールレバーがジグザグの振り幅調節レバーに切り替わります。
 (「実用ぬい編」の「振り幅コントロールを使用したサテンぬい」参照)
- ② 文字・飾りぬいの模様を調節します。(「文字・飾りぬい編」の「模様の調整をする」参照)
- ③ 2 本針を使用するときに「ON」に設定します。(B-27 参照)
- ④ 押えの高さを調節します(押えが上がった状態の、押えの高さを選択します)。
- ⑤ 押え圧を調節します。数字が大きいほど押え圧は強くなります。通常は3に設定してください。(B-45参照)
- ⑥ 電源を入れたときに自動的に選択される模様として、「1直線(左基線)」または「3直線(中基線)」を選択します。
- ⑦ ピボット機能を有効にしたときの、縫製停止時の押えの高さを変更します。3.2 mm、5.0 mm、7.5 mmの3 段階のいずれかを選択します。(B-45 参照)
- ⑧ フリーモーションモードに設定したときの、押えの高さを設定します。(B-46 参照)
- ③ この設定を「ON」にすると、センサーが布地の厚さを自動的に読み取って、スムーズに布送りすることができます。(B-45参照)
- ① この設定を「ON」にして止めぬいをする模様をぬうと、ぬい始め/ぬい終わりに、返しぬいスイッチを押しても止めぬいをします。

B

ぬう前の準備

■ 刺しゅうの設定



① 刺しゅうのときの枠表示を選択します。(「刺しゅう編」の「刺しゅうの枠表示を変える」参照)

② この設定を「ON」にすると、① で選択した刺しゅう枠のサイズに合わせて刺しゅう模様が選択できます。 (「刺しゅう編」の「刺しゅう枠に合わせて刺しゅう模様を選択する/表示する」参照)

13 刺しゅうの糸色表示を、糸番号または糸色名のいずれかに設定します。(B-70参照)

④ 刺しゅうの糸色表示を「糸番号」にしたとき、刺しゅう糸のメーカーを選択することができます。(B-70参照)

⑮ 刺しゅうのときの最高速度を調節します。(「刺しゅう編」の「刺しゅうの速度を調節する」 参照)

⑩ 刺しゅうの糸調子を調整します。(「刺しゅう編」の「糸調子を整える」参照)

⑦ 刺しゅう押えの高さを調節します。 (B-60 参照)

⑩ 模様表示エリアの背景色を選択できます。(「刺しゅう編」の「刺しゅう模様の背景色を変える」参照)

⑩ 模様キー表示の背景色を選択できます。(「刺しゅう編」の「刺しゅう模様の背景色を変える」参照)

7ページ



② 模様キーのサイズを選択できます。(「刺しゅう編」の「模様キーのサイズを変える」参照)
 ② 表示単位(ミリ/インチ)を選択します。

■ 共通の設定

10 ページ 8ページ 9ページ 26 · 22 - || 針位置 - 上/下 炉 ライト ON OFF 10 28 サービスカウント < <u>10</u> 10 000000000 OFF **.** Ø ◎ 録 操作キーの感度 () ニョブザー スタート 29 - トータル針数 000000000 23 2 ┌─── オープニング 30 - No. ON OFF ****** 25 P 日本語 (Japanese) ③ / バージョン * ** ок ок ок

- ◎ ミシンが停止したときの針位置(上/下)を選択します。ピボット機能を使用する際は「下」に設定します。 (B-45 参照)
- ◎ 操作音の ON/OFF を選択します。 (「付録」の「電子音」参照)
- ② 電源を入れて始めに表示される画面を選択できます。
- ◎ 液晶画面に表示される言語を設定します。(B-15 参照)
- 図 ミシンのライトの ON/OFF を選択します。
- ⑦ 操作キーの感度を調節します。(B-15 参照)
- ② ミシンの前回のメンテナンス以降にぬわれた針数を表示します。ミシンの定期メンテナンスを受けられる時期の 目安としてご利用いただけます。定期メンテナンスの時期については、お買い上げの販売店にご相談ください。
 ③ 本機でぬわれた累積針数を表示します。
- の お使いのミシンのプロダクトナンバーです。
- ③ 液晶画面の プログラムのバージョンです。

2 お知らせ

- お使いのミシンには、出荷時の最新バージョンのプログラムがインストールされています。
 当社ではプログラムの改善を継続的に行っております。
 また、本製品にトラブルのあるときは、プログラムを新しくすることで解決できることがあります。
 最新バージョンに関する情報(A-21参照)は、お買い上げの販売店、または「お客様相談室(ミシン119番)」に問い合わせいただくか、弊社サポートサイト(ブラザーソリューションセンター)
 (<u>http://support.brother.co.jp/</u>)で掲載される情報を参照してください。
- を押すと、現在の設定画面を、画像として USB メモリーに保存することができます。
 (B-16 参
 照)

B

ぬう前の準備





B

下糸の準備





お知らせ

下図のような糸こまを使用するときは、糸こ ま押え(小)を使用し、糸こま押えと糸こま との間に少しすきまを残してください。



- ① 糸こま押え(小)
- ② 糸こま

③ すきま

 ナイロン透明糸やメタリック糸などの張り が強い糸を使用する場合は、付属の糸こま ネットを糸こまに付けてから糸たて棒にセットしてください。ネットが長い場合は、 糸こまの大きさに合わせて折って使用しま



- ① 糸こまネット
- ② 糸こま
- ③ 糸こま押え
- ④ 糸たて棒
- 高さ 75mm、芯の直径が 12mm の糸こまを 使用する場合は、付属の糸こま押え(特殊) を使用してください。









① スタート/ストップスイッチ

15 ボビンの回転がゆっくりになったら、スタ ート/ストップスイッチを1回押して、下 糸巻きをストップします。

フットコントローラーを接続している場合 は、フットコントローラーから足を離しま す。



スピードコントローラーを元の位置へ戻し 18) ます。



糸こまを糸たて棒から外します。

お知らせ \mathbb{Z}

下糸を巻いた後にミシンをスタートさせた リプーリーを回したりすると、ガチャッという音がすることがありますが、故障では ありません。

下糸をセットする

下糸を巻いたボビンをかまにセットします。

ボビンをかまに入れ、針板カバーのミゾにそっ て糸を通してセットするだけで、すぐにぬい始 めることができます(下糸を引き出す必要はあ りません)。

A お知らせ

• ギャザーなどをぬうとき、フリーモーショ ンキルトをするときは、あらかじめ下糸を 引き出しておきます。詳細は、 B-27 の「下 糸を引き出す」を参照してください。



B

ぬう前の準備





上糸通し




B

ぬう前の準備





手で針に糸を通すとき

糸通し装置が使用できないナイロン透明糸や特 殊な糸、ウィングニードルなどを使用するとき は、次の手順で針に糸を通します。

- 針棒糸かけまで上糸を通します。
 - 詳細は、B-23の「上糸通し」を参照してくださ
- 手で糸を持ち、針穴の手前から後ろへ糸を





押えを上げ、上糸を押えの穴から押えの下に 通して、後ろ側へ 5cm ほど引き出します。

山印を押して、すべてのキーとスイッチのロ ックを解除します。



ぬう前の準備



2本目の上糸の糸こまと糸こま押えを補助 糸たて棒に差し込みます。

糸が奥から出るように差し込みます。



 糸こま押え ② 糸こま

1本目の上糸と同様に、2本目の上糸を通し



① 糸案内カバー

- 詳細は、 B-23 の「上糸を通す」の フ ~ 🧐 を 参照してください。
- 針棒糸かけにかけずに、2本目の上糸を手 で右側の針に通します。

針穴の手前から奥へ通します。



- 糸通し装置を使用して2本針に上糸を通すこと はできません。無理に使用すると故障の原因と なります。
- ジグザグ押えくJ>を取り付けます。
 - 押えの交換については、 B-33 の「押えを交換す る」を参照してください。



B

ぬう前の準備



針の交換

針の取り扱いには十分注意してください。針が折れ、破片が散らばるなど、非常に危険です。以下の 注意をよく読んで、必ず守ってください。

・ 針は必ず家庭用ミシン針(HA×1)を使用してください。そのほかの針を使用すると、針が曲がったり、折れてけがをするおそれがあります。 ・ 曲がった針は絶対に使用しないでください。けがをするおそれがあります。

布地と糸の種類による針の使い分け

ミシン針は布地や糸の太さによって使い分けます。次の表を参考にして、布地に合った糸と針を選ん でください。

左地の特徴	1 手 米石	ミシン糸	社の話粘	
和地の特徴・	作里我	種類	ち太	■ 1001/1里3月
普通地	ブロード	綿糸	$60 \sim 90$	$11 \sim 14$
	タフタ	合繊糸		
	フラノ、ギャバシン	絹糸	50	
薄地	ローン	綿糸	$60 \sim 90$	$9\sim11$
	ジョーゼット	合繊糸	1	
	ポーラ	絹糸	50	
厚地	デニム	綿糸	30	16
			50	$14 \sim 16$
	コーデュロイ	合繊糸	$50\sim 60$	
	ツィード	絹糸	1	
のびる布地	ジャージ	ニット用糸	$50\sim 60$	ニット用 11 ~ 14
	トリコット]		
ほつれやすい布地		綿糸	$50 \sim 90$	$9\sim14$
		合繊糸	1	
		絹糸	50	
ステッチ糸の場合		合繊糸	30	16
		 	$50\sim 60$	$14 \sim 16$

お願い
 20番以下の太い糸は使用しないでください。
 故障の原因となります。

■ 糸と針の番号

糸は数字が小さいほど太く、針は数字が大きいほ ど太くなります。

■ ニット用針(金色)

伸縮性のある布地や、目がとびやすい布地に使用 します。

■ ナイロン透明糸

布地や糸にかかわらず 14 ~ 16 番の針を使用します。

■ 刺しゅう用の針

家庭用ミシン針(HA×1)の11番を使用しま す。デニム地などの厚地に刺しゅうする場合は、 家庭用ミシン針(HA×1)の14番を使用しま す。



ぬう前の準備





押えの交換







3 付属のドライバー(大)で押えホルダーの ネジをしめます。

右手で押えホルダーを支え、左手でドライバーを手 前(時計回り)に回します。



① ドライバー (大)



押えホルダーは正しく取り付けてください。
 正しく取り付けられていないと、正しい糸調子にならないことがあります。

ぬう前の準備

第**2**章 基本のぬい方

ぬってみましょう





布地を押えの下に置き、左手で布地と糸端 を押さえ、①(針上下スイッチ)を押し てぬい始め位置に針を刺します。



🔎 お知らせ

 ジグザグ押えくJ>の左側の黒いボタンは、 布地を送らないときや布地に段差があるとき に使用します。(「実用ぬい編」の「厚い布 地をぬう」参照)通常は黒いボタンを使わず にぬいます。

押えを下げます。

下糸を引き出す必要はありません。

スピードコントロールレバーでぬう速さを 調節します。

ぬっている途中でも、ぬう速さを調節することがで きます。



はやく
 はやく

② ゆっくり

ユタート/ストップスイッチを押して、ぬい始めます。

布地に軽く手を添えます。



お知らせ
 フットコントローラージャックにフットコントローラーのプラグが差し込まれているときは、スタート/ストップスイッチは使用できません。





R



それぞれのスイッチを押したときのミシンの動き は、そのとき選択している模様によって異なりま す。スイッチを押したときのミシンの動きについ ては、次の表の説明を参照してください。

	返しぬいスイッチ ①	止めぬいスイッチ
自動返しぬい/止め ぬい= OFF で、 以下のような模様を 選択している場合 == == € <	返しぬいスイッチを 押している間だけ返 しぬいをします。	止めぬいスイッチを 押している間3~5 針の止めぬいをしま す。
自動返しぬい/止め ぬい= ON で、 以下のような模様を 選択している場合 == == €	ぬい始めとぬい終わ りに返しぬいをしま す。	ぬい始めに返しぬい、 ぬい終わりに止めぬい をします。
自動返しぬい/止め ぬい= OFFで、 以下のような模様を 選択している場合	返しぬいスイッチを 押している間だけ返 しぬいをします。*	止めぬいスイッチを 押している間 3 ~ 5 針の止めぬいをしま す。
自動返しぬい/止め ぬい= ON で、 以下のような模様を 選択している場合 0	ぬい始めに止めぬい、 ぬい終わりに返しぬい をします。*	ぬい始めとぬい終わ りに止めぬいをしま す。
自動返しぬい/止め ぬい =OFF で、 直線、ジグザグ以外 の実用模様を選択し ている場合	返しぬいスイッチを 押している間3~5 針の止めぬいをしま す。	止めぬいスイッチを 押している間3~5 針の止めぬいをしま す。
自動返しぬい/止め ぬい =ON で、 直線、ジグザグ以外 の実用模様を選択し ている場合	ぬい始めとぬい終わり に止めぬいをします。	ぬい始めとぬい終わ りに止めぬいをしま す。
自動返しぬい/止め ぬい= OFF で、 文字模様・飾り模様 を選択している場合	返しぬいスイッチを押 している間、止めぬい をします。	ぬい終わりに止めぬい スイッチを押すと、 1 模様を完成させてから 止めぬいをします。
自動返しぬい/止め ぬい= ON で、 文字模様・飾り模様 を選択している場合	ぬい始めと、返しぬ いスイッチを押した ときに、止めぬいを します。	ぬい始めに止めぬい をします。ぬい終わ りに止めぬいスイッ チを押すと、1 模様 を完成させてから止 めぬいをします。

* 設定画面の3ページで「止めぬい優先設定」を 「ON」にしている場合は、返しぬいの代わり に止めぬいを行います。

模様の設定

模様の振り幅(ジグザグの振り幅)やぬい目の長さ、 L/R シフト、糸調子は、あらかじめ模様ごとの標準値 に設定されています。この設定は、実用模様画面で ☆と押すと、変更することができます。 ここでは、設定変更の手順を紹介します。



設定を変更した後は、 ■を押して実用模様画面に戻 ります。



振り幅を調節する

模様の振り幅(ジグザグの振り幅)を広くした りせまくしたりすることができます。



を押すごとに、ジグザグの幅がせまくなります。



を押すごとに、ジグザグの幅が広くなります。



お知らせ

- 元の設定に戻すときは、
 を押します。
- ・直線模様(直線、3重ぬいなど)を選択した 場合は、模様の幅を変更すると針の位置が移 動します。振り幅を広くすると針は右に移動 し、せまくすると左に移動します。



ぬい目の長さを調節する

ぬい目の長さを調節して、ぬい目をあらく(長く)したり細かく(短く)したりすることができます。



を押すごとに、ぬい目が細かく(短く)なります。



・を押すごとに、ぬい目があらく(長く)なります。



基本のぬいた

お知らせ 元の設定に戻すときは、 ②を押します。 ● この設定に戻すときは、 ②を押します。

ぬい目の基線位置を変える (L/R シフト設定)

L/Rシフト設定を使用して、ぬい目の基線を左右に移動することができます。ここでは、ジグ ザグ模様を例にして説明します。



ーを押すごとに、ぬい目の基線が左に移動しま す。



→ 数値がマイナス (-) で表示されます。

・を押すごとに、ぬい目の基線が左基線より右 側に移動します。



→ 数値がプラス(+)で表示されます。

えんしょう お知らせ

- 元の設定に戻すときは、
 を押します。



糸調子を調節する

布や糸の種類によって、糸調子を調節します。



■正しい糸調子

上糸と下糸が布のほぼ中央でまじわります。布地 の表に出るのは上糸だけで、布地の裏に出るのは 下糸だけになります。



① 裏
 ② 表
 ③ 上糸

④ 下糸

■上糸が強いとき

布地の表に下糸が見える場合は、上糸が強すぎま す。糸調子を弱くしてください。





便利な機能







☞≈●を押して、設定画面を表示します。 3ページを表示します。 「自動押え圧補正」を「ON」に設定します。 ▲ ビボット押え高さ 3.2 - + * 3.10 削 フリーモーション 1.0 - + 5 ON OFF ON OFF 止めぬい優先設定 ок ∞を押して、元の画面に戻ります。

ピボット

ピボット設定を選択してスタート/ストップスイッ チを押すと、針が下がった(針が布に刺さった)状 態でミシンは停止し、押えは自動的に設定した高 さに上がります。もう一度スタート/ストップス イッチを押すと、押えは自動的に下がり、続きを ぬいます。この機能は、ミシンを止めて布地を回 転させるときに便利です。



お知らせ

• ピボット設定が選択されている場合、使用 している布地の種類に合わせて、ぬい終わ りの押えの高さを変えることができます。 (☞)を押して、3ページの「ピボット押え高 さ」を表示します。--または+を押して、 3つの高さ(3.2mm、5.0mm、7.5mm) のいずれかを選びます。押えを高くするに は、設定値を大きくします(通常、3.2mm に設定されています)。

▲ ピボット押え高さ	
〔〕 ノリーモーション <u>↓ </u> 押え高さ	
● 自動押え圧補正	ON OFF
・ 止めぬい優先設定	ON OFF OK



スタート/ストップスイッチを押して、方 向を変える位置でミシンを止めます。



→ 針が布地にささった状態でミシンが止まります。 このとき、押えは上がっています。

う 布地を回転して、スタート/ストップスイ ッチを押します。



→ 押えが自動的に下がり、ぬい始めます。

フリーモーションモードでぬう

フリーモーションモードでは、押えはフリーモ ーションに適切な高さに上がります。ぬい始め ると、内部センサーが布地の厚さを感知し、キ ルト押えは、設定画面で設定された高さまで上 がります。

このモードでは、ドロップレバーで送り歯を下 げ、布地が自由な方向に動くようにします。

フリーモーションキルトについては、「実用ぬ い編」の「フリーモーションキルト」を参照し てください。





B



ぬい方早見表

この表では、それぞれの模様について、用途、使用する押え、振り幅やぬい目の長さの設定、 2 本針を使用できるかどうかなどを紹介しています。

2 お知らせ

- ┘ 表に示した模様のイメージは、液晶画面に表示されるイメージと若干見栄えが異なることがあります。
- ^{*1} フリーモーションキルトの際には、オープントゥキルト押え<O>を使用します。
- *2 フリーモーションキルトの際には、フリーモーションキルト押え
C>(別売)またはオープントゥキルト押え
C>を使用します。
- *3 自動返しぬい/止めぬいキーで自動返しぬい/止めぬいを設定しているときは、ぬい始めに止めぬいを行います。
 設定画面3ページの「止めぬい優先設定」を「ON」 にしている場合は、ぬい終わりにも止めぬいを行います。
 *4 ウォーキングフット(別売)を使用するときは、返しぬいをしないでください。

		2 #			振り幅 [mm]	ぬい目の長さ [mm]		返しぬい	キング
ぬい方	蕃亏	名則	押え	王な用途	自動 手動	自動 手動	2	スイッチ	ウォ イ ー ッ
0=	1-01	直線(左基線)	J ^{*1}	地ぬい、ギャザー、ピンタッ クなどに使用します。	0.0 0.0 - 7.0	2.5 0.2 - 5.0	(U)	返しぬい	×
0	1-02	直線(左基線)	J ^{*1}	地ぬい、ギャザー、ピンタッ クなどに使用します。	0.0 0.0 - 7.0	2.5 0.2 - 5.0	(J)	返しぬい * 3	0*4
	1-03	直線(中基線)	J ^{*1}	地ぬい、ギャザー、ピンタッ クなどに使用します。	3.5 0.0 - 7.0	2.5 0.2 - 5.0	(J)	返しぬい	×
·	1-04	直線(中基線)	J ^{*1}	地ぬい、ギャザー、ピンタッ クなどに使用します。	3.5 0.0 - 7.0	2.5 0.2 - 5.0	(J)	止めぬい	0 *4
Ĵ≡≡	1-05	3 重ぬい	J ^{*1}	丈夫なぬい目なので、袖つけや 股下をぬうときに便利です。 また、伸びる布地をぬうときや ステッチをかけるときに使用し ます。	0.0 0.0 - 7.0	2.5 0.4 - 5.0	(J)	止めぬい	×
4444	1-06	伸縮ぬい	J ^{*1}	伸縮性のあるぬい目なので、 伸びる布地をぬうときに使用 します。また、飾りぬいとし ても使用します。	1.0 0.0 - 7.0	2.5 0.4 - 5.0	(J)	止めぬい	×
0-≡-≡-	1-07	飾りぬい	N ^{*1}	飾りぬいに使用します。	0.0 0.0 - 7.0	2.5 0.4 - 5.0	(J)	止めぬい	×
0	1-08	しつけぬい	J ^{*1}	しつけに使用します。	0.0 0.0 - 7.0	20 5 - 30	×	止めぬい	×
\mathbb{N}	1-09	ジグザグ (中基線)	J ^{*1}	たち目かがりやアップリケな どに使用します。	3.5 0.0 - 7.0	1.4 0.0 - 5.0	(J)	返しぬい	×
Š	1-10	ジグザグ (中基線)	J ^{*1}	たち目かがりやアップリケな どに使用します。	3.5 0.0 - 7.0	1.4 0.0 - 5.0	(J)	返しぬい * 3	O *4
	1-11	ジグザグ (右基線)	J ^{*1}	右の針位置からぬい始まりま す。	3.5 2.5 - 5.0	1.4 0.3 - 5.0	(J)	返しぬい * 3	O *4
.~~	1-12	ジグザグ (左基線)	J ^{*1}	左の針位置からぬい始まりま す。	3.5 2.5 - 5.0	1.4 0.3 - 5.0	(J)	返しぬい * 3	O *4
`^^/	1-13	2 点ジグザグ	J ^{*1}	普通地、伸びる布地のたち目 かがりやゴムひもつけ、つく ろいぬいなど幅広い用途に使 用します。	5.0 0.0 - 7.0	1.0 0.2 - 5.0	(J)	返しぬい * 3	0 *4
Ŵ	1-14	3点ジグザグ	J ^{*1}	普通地、厚地、伸びる布地のたち目かがりやゴムひもつけ、つくろいぬいなど幅広い用途に使用します。	5.0 0.0 - 7.0	1.0 0.2 - 5.0	(J)	返しぬい * 3	0*4
<u>ک</u>	1-15	たち目かがり	G	薄地、普通地のたち目かがり に使用します。	3.5 2.5 - 5.0	2.0 0.4 - 5.0	×	止めぬい	×

			im S		振り幅 [mm]	ぬい目の長さ [mm]	0 + 41	返しぬい	キング
ぬい 方	香亏	名則	押え	土な用速	自動 手動	自動 手動	2 4 町	スイッチ	サキレ
	1-16	たち目かがり	G	厚地のたち目かがりに使用し ます。	5.0 2.5 - 5.0	2.5 0.4 - 5.0	×	止めぬい	×
	1-17	たち目かがり	G	厚地のたち目かがりや飾りぬ いに使用します。	5.0 3.5 - 5.0	2.5 0.4 - 5.0	×	止めぬい	×
	1-18	たち目かがり	J ^{*1}	伸びる布地のたち目かがりに 使用します。	5.0 0.0 - 7.0	2.5 0.4 - 5.0	(J)	止めぬい	×
	1-19	たち目かがり	J ^{*1}	普通地、厚地のたち目かがり や飾りぬいに使用します。	5.0 0.0 - 7.0	2.5 0.4 - 5.0	(J)	止めぬい	×
X	1-20	たち目かがり	J ^{*1}	伸びる布地のたち目かがりや 飾りぬいに使用します。	4.0 0.0 - 7.0	4.0 0.4 - 5.0	(J)	止めぬい	×
Ē	1-21	たち目かがり	J ^{*1}	伸びる布地のたち目かがりに 使用します。	5.0 0.0 - 7.0	4.0 0.4 - 5.0	×	止めぬい	×
Ŕ	1-22	たち目かがり	J ^{*1}	伸びる布地のたち目かがりに 使用します。	6.0 0.0 - 7.0	3.0 0.4 - 5.0	(J)	止めぬい	×
	1-23	たち目かがり	J ^{*1}	伸びる布地のたち目かがりに 使用します。	6.0 0.0 - 7.0	1.8 0.4 - 5.0	(J)	止めぬい	×
0 - - - s	1-24	サイドカッター	S	布を切りながら直線ぬいをし ます。	0.0 0.0 - 2.5	2.5 0.2 - 5.0	×	止めぬい	×
≷₅	1-25	サイドカッター	S	布を切りながらジグザグぬい をします。	3.5 3.5 - 5.0	1.4 0.0 - 5.0	×	止めぬい	×
} _s	1-26	サイドカッター	S	布を切りながらたち目かがり をします。	3.5 3.5 - 5.0	2.0 0.4 - 5.0	×	止めぬい	×
∭s	1-27	サイドカッター	S	布を切りながらたち目かがり をします。	5.0 3.5 - 5.0	2.5 0.4 - 5.0	×	止めぬい	×
KKKKS	1-28	サイドカッター	S	布を切りながらたち目かがり をします。	5.0 3.5 - 5.0	2.5 0.4 - 5.0	×	止めぬい	×
<u>р</u> .	1-29	ピーシング直線 (右基線)	J ^{*1}	ピーシング用の直線です。押 えの右端に布地を合わせてぬ うと、ぬいしろの幅が7.0mm でぬえるように針位置が設定 されています。	5.0 0.0 - 7.0	1.6 0.2 - 5.0	×	返しぬい * 3	O *4
0. P	1-30	ピーシング直線 (中基線)	J ^{*2}	ピーシング用の直線です。	_	1.6 0.2 - 5.0	×	返しぬい * 3	O ^{*4}
0 1 1 1 P	1-31	ピーシング直線 (左基線)	J ^{*1}	ピーシング用の直線です。押 えの左端に布地を合わせてぬ うと、ぬいしろの幅が7.0mm でぬえるように針位置が設定 されています。	2.0 0.0 - 7.0	1.6 0.2 - 5.0	×	返しぬい * 3	O *4
0-=	1-32	手ぬい風直線	J ^{*1}	上糸にナイロン透明糸、下糸 にキルトに合った色の糸を使 うと手ぬい風のキルト直線が ぬえます。	0.0 0.0 - 7.0	2.5 0.4 - 5.0	×	止めぬい	×
Śą	1-33	ジグザグ	J ^{*1}	アップリケキルトやフリーモ ーションキルト、サテンぬい などに使用します。	3.5 0.0 - 7.0	1.4 0.0 - 5.0	×	返しぬい * 3	O *4
	1-34	アップリケ	J ^{*1}	アップリケやバインディング をするときに使用します。	1.5 0.0 - 7.0	1.2 0.4 - 5.0	×	止めぬい	×
্যায়ার	1-35	キルティング模 様	J ^{*1}	キルトで背景を埋めるときに 使用します。	7.0 0.0 - 7.0	1.6 0.4 - 5.0	×	止めぬい	×
/V/	2-01	まつりぬい	R	普通地のまつりぬいに使用し ます。	00 3← - →3	2.0 0.4 - 5.0	×	止めぬい	×
/w//w/	2-02	まつりぬい	R	伸びる布地のまつりぬいに使 用します。	00 3← - →3	2.0 0.4 - 5.0	×	止めぬい	×
	2-03	アップリケ	J	アップリケに使用します。	3.5 0.0 - 7.0	2.5 0.4 - 5.0	(J)	止めぬい	×

ぬい方早見表

	2 0	<i></i>			振り幅 [mm]	ぬい目の長さ [mm]	0 + 4	返しぬい	キング
ぬい方	奋号	名則	押え	王な用述	自動 手動	自動 手動	2	スイッチ	ウォー
ц.	2-04	シェルタック	J ^{*1}	シェルタックは貝殻を直線状 にならべたような円弧状のひ だを作るもので、ふち取りな どに用いるほか、プラウス、 ワンピースなどの胸元や袖に 飾りぬいとして使用します。	4.0 0.0 - 7.0	2.5 0.2 - 5.0	(J)	止めぬい	×
_ا باللار، راللار،	2-05	サテンスカラップ	N ^{*1}	スカラップは半月状の丸いカ ーブの連続した波形の模様を いいます。ブラウスやハンカ チなどのふち飾りに使用しま す。	5.0 0.0 - 7.0	0.5 0.1 - 5.0	(J)	止めぬい	×
(Juni)	2-06	スカラップ	N ^{*1}	スカラップは半月状の丸いカ ーブの連続した波形の模様を いいます。ブラウスやハンカ チなどのふち飾りに使用しま す。	7.0 0.0 - 7.0	1.4 0.4 - 5.0	×	止めぬい	×
\geq	2-07	つきあわせ	J ^{*1}	パッチワークや飾りぬいに使 用します。	4.0 0.0 - 7.0	1.2 0.2 - 5.0	(J)	止めぬい	×
	2-08	つきあわせ	J ^{*1}	パッチワークや飾りぬいに使 用します。	5.0 0.0 - 7.0	2.5 0.4 - 5.0	(J)	止めぬい	×
	2-09	つきあわせ	J ^{*1}	コードなどを使った飾りぬい に使用します。	5.0 0.0 - 7.0	1.2 0.2 - 5.0	(J)	止めぬい	×
\bigotimes	2-10	スモッキング	J ^{*1}	スモッキングや飾りぬいに使 用します。	5.0 0.0 - 7.0	1.6 0.4 - 5.0	(J)	止めぬい	×
~~~~~	2-11	ファゴティング	J ^{*1}	ファゴティングは布地と布地 の間を離して糸でかがる方法 をいい、ブラウスや子供服な どに使用します。また、飾り ぬいとしても使用します。	<b>5.0</b> 0.0 - 7.0	<b>2.5</b> 0.4 - 5.0	(J)	止めぬい	×
XXX	2-12	ファゴティング	J ^{*1}	ファゴティングは布地と布地 の間を離して糸でかがる方法 をいい、ブラウスや子供服な どに使用します。また、飾り ぬいとしても使用します。	<b>5.0</b> 0.0 - 7.0	<b>2.5</b> 0.4 - 5.0	(J)	止めぬい	×
`\^\\	2-13	ゴムひもつけ	J ^{*1}	伸びる布地にゴムひもをつけ るときに使用します。	<b>4.0</b> 0.0 - 7.0	<b>1.0</b> 0.2 - 5.0	(J)	止めぬい	×
目	2-14	飾りぬい	J ^{*1}	飾りぬいに使用します。	<b>4.0</b> 0.0 - 7.0	<b>3.0</b> 0.4 - 5.0	×	止めぬい	×
)) )))	2-15	飾りぬい	J ^{*1}	飾りぬいに使用します。	<b>4.0</b> 0.0 - 7.0	<b>2.5</b> 0.4 - 5.0	( J )	止めぬい	×
RRK	2-16	飾りぬい	J ^{*1}	飾りぬいに使用します。	<b>5.5</b> 0.0 - 7.0	<b>1.6</b> 0.4 - 5.0	(J)	止めぬい	×
ξ	2-17	飾りぬい	N ^{*1}	飾りぬいやゴムひもつけに使 用します。	<b>5.0</b> 0.0 - 7.0	<b>1.0</b> 0.2 - 5.0	( J )	止めぬい	×
NNN	2-18	飾りぬい	N ^{*1}	飾りぬいやアップリケに使用 します。	<b>6.0</b> 0.0 - 7.0	<b>1.0</b> 0.2 - 5.0	(J)	止めぬい	×
712163	2-19	飾りぬい	N ^{*1}	飾りぬいに使用します。	<b>7.0</b> 0.0 - 7.0	<b>1.6</b> 0.4 - 5.0	×	止めぬい	×
0≡≡	3-01	飾りぬい	N ^{*1}	左基線の3重ぬいで、すそ飾 りなどに使用します。	<b>1.0</b> 0.0 - 7.0	<b>2.5</b> 0.4 - 5.0	(J)	止めぬい	×
θ≡≡≡	3-02	飾りぬい	N ^{*1}	中基線の3重ぬいで、すそ飾 りなどに使用します。	<b>3.5</b> 0.0 - 7.0	<b>2.5</b> 0.4 - 5.0	(J)	止めぬい	×
	3-03	飾りぬい	N ^{*1}	ふち飾りなどに使用します。	<b>6.0</b> 0.0 - 7.0	<b>3.0</b> 0.4 - 5.0	( J )	止めぬい	×
Ē	3-04	飾りぬい	N ^{*1}	レースつけやふち飾りなどに使 用します。	<b>3.5</b> 0.0 - 7.0	<b>2.5</b> 0.4 - 5.0	×	止めぬい	×

基本のぬい方

					振り幅 [mm]	ぬい目の長さ [mm]		返しぬい	キングト
ぬい方	番号	名前	押え	主な用途	自動 手動	自動 手動	2 本針	スイッチ	ウォーニ しゃ
	3-05	飾りぬい	N ^{*1}	ふち飾りなどに使用します。	<b>3.0</b> 0.0 - 7.0	<b>3.5</b> 0.4 - 5.0	×	止めぬい	×
**	3-06	飾りぬい	N ^{*1}	ふち飾りなどに使用します。	<b>6.0</b> 0.0 - 7.0	<b>3.0</b> 0.4 - 5.0	×	止めぬい	×
<b>88</b>	3-07	飾りぬい	N ^{*1}	ふち飾りなどに使用します。薄 地、普通地の平織りの布に適し ています。	<b>5.0</b> 0.0 - 7.0	<b>3.5</b> 0.4 - 5.0	×	止めぬい	×
*	3-08	飾りぬい	N ^{*1}	ふち飾りなどに使用します。薄 地、普通地の平織りの布に適し ています。	<b>5.0</b> 0.0 - 7.0	<b>3.5</b> 0.4 - 5.0	×	止めぬい	×
×	3-09	飾りぬい	N ^{*1}	ふち飾りなどに使用します。薄 地、普通地の平織りの布に適し ています。	<b>5.0</b> 0.0 - 7.0	<b>3.5</b> 0.4 - 5.0	( J )	止めぬい	×
M	3-10	飾りぬい	N ^{*1}	ふち飾りなどに使用します。薄 地、普通地の平織りの布に適し ています。	<b>5.0</b> 0.0 - 7.0	<b>4.0</b> 0.4 - 5.0	(J)	止めぬい	×
×	3-11	飾りぬい	N ^{*1}	ふち飾りなどに使用します。薄 地、普通地の平織りの布に適し ています。	<b>4.0</b> 0.0 - 7.0	<b>2.5</b> 0.4 - 5.0	(J)	止めぬい	×
*	3-12	飾りぬい	N ^{*1}	ふち飾りなどに使用します。薄 地、普通地の平織りの布に適し ています。	<b>5.0</b> 0.0 - 7.0	<b>2.5</b> 0.4 - 5.0	(J)	止めぬい	×
*	3-13	飾りぬい	N ^{*1}	ふち飾りなどに使用します。薄 地、普通地の平織りの布に適し ています。	<b>6.0</b> 0.0 - 7.0	<b>3.5</b> 0.4 - 5.0	(J)	止めぬい	×
×××	3-14	飾りぬい	N ^{*1}	ふち飾りなどに使用します。薄 地、普通地の平織りの布に適し ています。	<b>6.0</b> 0.0 - 7.0	<b>1.6</b> 0.4 - 5.0	(J)	止めぬい	×
♦	3-15	飾りぬい	N ^{*1}	ふち飾りなどに使用します。薄 地、普通地の平織りの布に適し ています。	<b>6.0</b> 0.0 - 7.0	<b>3.0</b> 0.4 - 5.0	×	止めぬい	×
XX	3-16	飾りぬい	N ^{*1}	ふち飾りなどに使用します。薄 地、普通地の平織りの布に適し ています。	<b>6.0</b> 0.0 - 7.0	<b>4.0</b> 0.4 - 5.0	( <b>J</b> )	止めぬい	×
#	3-17	飾りぬい	N ^{*1}	ふち飾りなどに使用します。薄 地、普通地の平織りの布に適し ています。	<b>4.0</b> 0.0 - 7.0	<b>2.5</b> 0.4 - 5.0	×	止めぬい	×
ł	3-18	飾りぬい	N ^{*1}	ふち飾りなどに使用します。薄 地、普通地の平織りの布に適し ています。	<b>5.0</b> 0.0 - 7.0	<b>2.0</b> 0.4 - 5.0	( L )	止めぬい	×
****	3-19	飾りぬい	N ^{*1}	つき合わせや飾りぬいに使用 します。	<b>6.0</b> 0.0 - 7.0	<b>2.0</b> 0.4 - 5.0	( J )	止めぬい	×
E	3-20	飾りぬい	N ^{*1}	ふち飾りやぬった後にリボン を通して飾りとして使用しま す。	<b>5.0</b> 0.0 - 7.0	<b>3.0</b> 0.4 - 5.0	( J )	止めぬい	×
λ.	3-21	飾りぬい	N ^{*1}	飾りぬいやスモッキングに使 用します。	<b>6.0</b> 0.0 - 7.0	<b>1.6</b> 0.4 - 5.0	×	止めぬい	×
ጉሌነ	3-22	飾りぬい	N ^{*1}	飾りぬいやスモッキングに使 用します。	<b>5.0</b> 0.0 - 7.0	<b>1.6</b> 0.4 - 5.0	×	止めぬい	×
	4-01	ボタン穴かがり	A	ねむり穴、横穴用。薄地から 普通地のボタン穴かがりに使 用します。ブラウス、シャツ などに使用します。	<b>5.0</b> 3.0 - 5.0	<b>0.4</b> 0.2 - 1.0	×	自動止めぬい	×
1	4-02	ボタン穴かがり	A	横穴用。ウエストベルトなど 力がかかるところに使用しま す。	<b>5.0</b> 3.0 - 5.0	<b>0.4</b> 0.2 - 1.0	×	自動止めぬい	×
	4-03	ボタン穴かがり	Α	横穴用。厚地のボタン穴かが りに使用します。	<b>5.0</b> 3.0 - 5.0	<b>0.4</b> 0.2 - 1.0	×	自動止めぬい	×
	4-04	ボタン穴かがり	A	両止めボタン穴かがり。麻、 木綿など、ある程度腰のある 素材に適しています。ホーム ウェアやブラウスなど手軽に ぬえるものに使用します。	<b>5.0</b> 3.0 - 5.0	<b>0.4</b> 0.2 - 1.0	×	自動止めぬい	×

			im >		振り幅 [mm]	ぬい目の長さ [mm]		返しぬい	キング
ぬい方	奋亏	名則	押え	王な用途	自動 手動	自動 手動	2 4 釿	スイッチ	サイ
	4-05	ボタン穴かがり	А	伸びる布地や編み地のボタン 穴かがりに使用します。芯ひ もを入れてぬいます。	<b>6.0</b> 3.0 - 6.0	<b>1.0</b> 0.5 - 2.0	×	自動止めぬい	×
booocood	4-06	ボタン穴かがり	А	伸びる布地のボタン穴かがりに 使用します。芯ひもを入れてぬ います。	<b>6.0</b> 3.0 - 6.0	<b>1.5</b> 1.0 - 3.0	×	自動止めぬい	×
	4-07	ボタン穴かがり	А	玉ぶち穴かがり(バウンドボタ ンホール)を作るときに使用し ます。	<b>5.0</b> 0.0 - 6.0	<b>2.0</b> 0.2 - 4.0	×	自動止めぬい	×
	4-08	ボタン穴かがり	А	はとめ穴。厚地や毛足の長い 布のボタン穴かがりに使用し ます。ブレザー、スーツ、コ ートなどに使用します。	<b>7.0</b> 3.0 - 7.0	<b>0.5</b> 0.3 - 1.0	×	自動止めぬい	×
2	4-09	ボタン穴かがり	A	はとめ穴。普通地から厚地のボ タン穴かがりに使用します。 ジーンズ、ズボンなどに使用し ます。	<b>7.0</b> 3.0 - 7.0	<b>0.5</b> 0.3 - 1.0	×	自動止めぬい	×
	4-10	ボタン穴かがり	A	はとめ穴。厚地や毛足の長い布 の横穴ボタン穴かがりに使用し ます。厚手のコートなどに使用 します。	<b>7.0</b> 3.0 - 7.0	<b>0.5</b> 0.3 - 1.0	×	自動止めぬい	×
	4-11	ダーニング	А	普通地のつくろいぬいに使用 します。	<b>7.0</b> 2.5 - 7.0	<b>2.0</b> 0.4 - 2.5	×	自動止めぬい	×
	4-12	ダーニング	А	厚地のつくろいぬいに使用し ます。 	<b>7.0</b> 2.5 - 7.0	<b>2.0</b> 0.4 - 2.5	×	自動止めぬい	×
MMMMM	4-13	かんどめ	A	ぬい目がほどけやすい箇所や ポケットロなどのあき止まり 部分の力の加わる部分を補強 したい場合に用います。	<b>2.0</b> 1.0 - 3.0	<b>0.4</b> 0.3 - 1.0	×	自動止めぬい	×
$\Theta$	4-14	ボタンつけ	М	ボタンつけに使用します。	<b>3.5</b> 2.5 - 4.5	_	×	自動止めぬい	×
NIN IN	4-15	アイレット	N	ベルトの調節用の穴をかがると きなどに使用します。普通地に 使用します。	<b>7.0</b> 7.0 6.0 5.0	<b>7.0</b> 7.0 6.0 5.0	×	自動止めぬい	×
ļ↑	5-01	横送り直線	N	でき上がった服の袖やズボンの すそにワッペンをつけるときに 使用します。	_	_	×	止めぬい	×
	5-02	横送り直線	N	でき上がった服の袖やズボンの すそにワッペンをつけるときに 使用します。	_	_	×	止めぬい	×
 →	5-03	横送り直線	Ν	でき上がった服の袖やズボンの すそにワッペンをつけるときに 使用します。	_	_	×	止めぬい	×
ļ	5-04	横送り直線	N	でき上がった服の袖やズボンの すそにワッペンをつけるときに 使用します。	_	-	×	止めぬい	×
→ ↓	5-05	横送りジグザグ 	N	でき上がった服の袖やズボンの すそにワッペンをつけるときに 使用します。	_	_	×	止めぬい	×
$\stackrel{\sim}{\rightarrow}$	5-06	横送りジグザグ	N	でき上がった服の袖やズボンの すそにワッペンをつけるときに 使用します。	_	_	×	止めぬい	×
₹↓	5-07	横送りジグザグ	N	でき上がった服の袖やズボンの すそにワッペンをつけるときに 使用します。	_	_	×	止めぬい	×
₹î	5-08	横送りジグザグ	N	でき上がった服の袖やズボンの すそにワッペンをつけるときに 使用します。	_	_	×	止めぬい	×

# 第3章 刺しゅうの基本

# 刺しゅうの手順

刺しゅうの手順は次のとおりです。



手順	目的	操作	参照 ページ
1	押えの取り付け	刺しゅう押えくU>を取り付けます。	B-55
2	針の確認	家庭用ミシン針 (HA × 1) の 11 番を使用します。*	B-30
3	刺しゅう機の取り付け	刺しゅう機を取り付けます。	B-56
4	下糸のセット	刺しゅう用下糸を巻いて下糸をセットします。	B-17
5	布地の準備	接着芯を貼った布地を刺しゅう枠に張ります。	B-60
6	刺しゅう枠の取り付け	刺しゅう枠を刺しゅう機にセットします。	B-64
7	模様の選択	電源スイッチを入れ、刺しゅう模様を選択します。	B-66
8	レイアウトの確認	刺しゅうの大きさと位置を確認します。	B-68
9	上糸のセット	模様に合わせて上糸をセットします。	B-69

* 厚地や芯地(デニムなど)に刺しゅうをする場合は、家庭用ミシン針 (HA × 1) の 14 番を使用してください。

# 刺しゅう押えを取り付ける





- ドライバー(大)
   押えホルダー
   研究ホルダー
- ③ 押えホルダーのネジ

押えホルダーのネジに刺しゅう押えくU> のミゾを合わせて取り付けます



- 刺しゅう押えが垂直になるようにして取り付け てください。
- 刺しゅう押えを右手で押えながら、付属の ドライバー(大)でネジをしめて取り付け ます。



 
 ・ 付属のドライバーを使用して、刺しゅう 押えのネジをしっかりしめてください。 ネジがゆるむと、針が押えに当たったり してけがをするおそれがあります。

3 しっを押して、すべてのキーとスイッチの ロックを解除してください。 B

### 刺しゅう機を取り付ける





刺しゅうの基本

B



# きれいに刺しゅうするために

刺しゅうをきれいに仕上げるためには、いくつかのポイントがあります。接着芯の貼り方(B-60参照)や布地の刺しゅう枠への張り方(B-61参照)は、大きなポイントです。もう1つのポイントは、適切な針と糸を使用することです。次の糸の説明を参照してください。

#### ■ 刺しゅう糸

上糸	ブラザー純正の刺しゅう糸(ウルトラポス) またはカントリー刺しゅう糸を使用してくだ さい。 他の糸をご使用になると、刺しゅうがきれい に仕上がらないことがあります。
下糸	ブラザー純正刺しゅう下糸を使用してくださ い。

、 お願い

 ・刺しゅうをする前に下糸が十分にあること を確認してください。刺しゅうの途中で下 糸がなくなると、刺しゅうを中断し下糸を 巻き直す必要があります。

#### お知らせ

上記以外の糸を使用すると、刺しゅうがきれいに仕上がらないおそれがあります。

# ▲ 注意

 ジャケットなどのような厚地の大きなものに刺しゅうする場合は、布地をミシンを置いた台から下へ垂らさないようにしてください。布地の重みで、キャリッジの動きが制限され、刺しゅう枠が針に当たり、針が折れたり曲がったりして、けがをするおそれがあります。 布地は台から下へ垂らさず、引きずらないように持ち上げてください。

#### と お願い

- ・刺しゅう枠が動く範囲に物を置かないよう にしてください。刺しゅう枠が当たり、模 様くずれの原因となります。
  - 大きな布地(特にジャンパーなどの重い衣類)に刺しゅうするときは、テーブルから布地が垂れ下がらないようにしてください。 垂れ下がった状態で刺しゅうをすると、刺しゅう機の動きが悪くなり、模様くずれの原因となります。

刺しゅうの基本

# 布地を張る


### 刺しゅう枠に布地を張る

#### ■ 刺しゅう枠の種類と用途

#### 刺しゅう枠 (LL)

刺しゅうできる範囲 26cm × 16cm 文字や模様をつないで刺しゅうしたり、組み合わ せたり、大きな刺しゅうをするときに使います。



#### 刺しゅう枠(L・別売)

刺しゅうできる範囲 18cm × 13cm 10cm × 10cm から 18cm × 13cm の模様を刺しゅう するときに使用します。



#### 刺しゅう枠(M)

刺しゅうできる範囲 10cm × 10cm 10cm × 10cm 以下の模様を刺しゅうするときに使 用します。



#### 刺しゅう枠 (S・別売)

刺しゅうできる範囲 **2cm × 6cm** ネーム入れなど、非常に小さい模様を刺しゅうす るときに使用します。



左記以外の別売の刺しゅう枠も使用できます。画面に 表示されない刺しゅう枠を使用するときは、使用する 枠の刺しゅうできる範囲を確認してください。使用で きる刺しゅう枠の種類については、お買い上げの販売 店にお問い合せください。

模様の大きさに合った刺しゅう枠を選んでください。 使用できる刺しゅう枠は、画面上に表示されます。



① 白色:使用できる枠

② 灰色:使用できない枠



#### ■ 布地の張り方

 や 新願い

 布地の張り方がゆるいと、模様くずれの原因となります。次の手順に従って、布地は平らな場所で、たるまないよう、しっかりと張ってください。



枠調節ネジを引き起こしてネジをゆるめ、 内枠を外します。



1 枠調節ネジ
 2 内枠

刺しゅうの基本





### ■小さい布地に刺しゅうする場合

布用スプレーのりを使って、布地を接着芯に貼ります。 布用スプレーのりを使いたくない場合は、しつけをします。



① 布地

2 接着芯

#### ■ 布地の隅に刺しゅうする場合

布用スプレーのりを使って、布地を接着芯に貼っ てから、刺しゅう枠に張ります。 布用スプレーのりを使いたくない場合は、しつけ をします。



① 布地
 ② 接着芯

# ■リボンテープなどの細い布地に刺しゅうする場合

布用スプレーのりを使ってテープを接着芯に貼っ てから、刺しゅう枠に張ります。



刺しゅうの基本





刺しゅう枠を手前に引いて取り外します。



刺しゅうの基本

## 刺しゅう模様を選ぶ

### 著作権について

ミシンに内蔵されている模様は、一般家庭用と してのみお楽しみいただけます。営利または業 務目的での使用は著作権法上固く禁じられてお りますのでご注意ください。

#### 刺しゅう模様の種類

このミシンには、飾り模様や文字模様などの 様々な刺しゅうデータが内蔵されています (内蔵されている模様の概要については、別冊の 「模様一覧」を参照してください)。また市販の USB メモリーを使って模様を記憶させたり、呼 び出したりすることができます。



※ 画面はモデルによって異なります

- ① ワンポイント
- ② バラエティ
- ③ 花アルファベット
- ④ 文字模様
- ⑤ 枠模様
- ⑥ 刺しゅう機を取り外す前に必ずこのキーを押し てください。
- ⑦ ミシンに記憶させた模様の呼び出し
- ⑧ USB メモリーからの模様の呼び出し

### 刺しゅう模様の選び方

「基本機能編」では、1 つ模様を選んで刺しゅう して、刺しゅうの手順を確認しましょう。「刺 しゅう編」では、より多彩な模様を選び、編集 する方法を説明します。



1

#### 模様選択画面で 🥾 を押します。

刺しゅう機の初期設定が完了すると、キャリッ ジが初期設定位置へ動き、模様選択画面が表示 されます。模様選択画面が表示されていないと きは、「喇」を押して表示させてください。



※ 画面はモデルによって異なります



▲と▶を押して、お好みの模様を表示さ せます。ここでは▶を4回押します。



🗽を押し、次に 🔤を押します。

3



→ 模様編集画面が表示されます。





→ 縫製画面が表示されます。



## 刺しゅうする

刺しゅうの設定が終わったら、実際に刺しゅうしてみ ましょう。

#### 模様を刺しゅうする

刺しゅう模様は一色ごとに糸色を替えてぬいます。

● 画面に表示されている色の刺しゅう糸を用意します。



- ① 色替えの順番
- 画面に表示されている糸番号表示を糸色名に変更することができます。
   ▶
   ▶
   ▶
   ▶
   ▶
   ▶
   ●
   ▼
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●
   ●</l

🦻 刺しゅう糸をセットし、針に糸を通します。

- 詳細は、B-23の「上糸を通す」とB-25の「針 に糸を通す」を参照してください。
- は願い

   ・糸通し装置を使用する場合は、必ず刺しゅう押えを下げてください。
- 列しゅう押えの穴に糸を入れて、少しミシンの後ろへ出して、左手で軽く押さえてください。

糸は少したるませておきます。





4 押えを下げ、スタート/ストップスイッチ
 を押してぬい始めます。5~6針ぬった
 後、もう一度(スタート/ストップスイッチ)を押して、ミシンを止めます。



5 ぬい目のきわで余分な糸を切ります。押え の下にぬい目が隠れているときは、押えを 上げてから余分な糸を切ってください。



ぬい初めの余分な糸を残したまま刺しゅうを続けると、模様の中に糸がぬい込まれて、刺しゅうがぬい終わった後ではきれいに始末しにくくなります。ぬい始めの糸は、1色ごとにはさみで切ってください。

## スタート/ストップスイッチを押してぬい 始めます。

→ 1 色目をぬい終わると、自動的に糸を切って止ま ります。押えは自動的に上がります。



<mark>フ</mark>1色目の糸を取り外し、次の色の糸をセッ トします。 B





ここでは、実用ぬいのさまざまな機能を紹介しています。基本的な縫製だけでなく、筒ぬいやボタンぬいなど、本機をもっと活用したいときの詳しい操作方法を知ることができます。 ページ数は、「**S**」の記号で始まります。

第1章 きれいに仕上げるために	S-2
第2章 いろいろなぬい方	S-6



# 第1章 きれいに仕上げるために

## 上手にぬうコツ

#### 試しぬいをする

本製品は、ぬう布地に適した糸と針をセットし、 模様を選択すると、自動的に適切な糸調子や模様 の振り幅(ジグザグの振り幅)・ぬい目の長さが 設定されるようになっています。 しかし、布地の種類やぬい方によっては必ずし も思いどおりにならないことがあるので、試し ぬいをするようにしましょう。

試しぬいをするときは、実際に使用する布地のは ぎれと糸を使用して、糸調子や模様の振り幅(ジ グザグの振り幅)・ぬい目の長さを確認します。 ぬい方や、布地を何枚重ねてぬうかによってもぬ った結果は異なるので、実際にぬうときと同じ状 態で試しぬいをします。

### ぬう方向を変える

● 角までぬったら、ミシンをストップさせます。

このとき、針が下がった(布地に刺さった)状態に しておきます。もし針が上がっている場合は、 (4)(針上下スイッチ)を押して針を下げます。

🦻 押えを上げ、布地を持って回転させます。

針位置を基点に回転させます。





押えを下げ、続きをぬいます。

## カーブをぬう

途中でミシンをストップさせながら、少しずつ 向きを変えてぬいます。 **S-3**の「ぬいしろの幅 をそろえる」を参考にして、ぬいしろと平行に なるようにぬいます。



ジグザグ模様をぬうときは、ぬい目の長さを短 めにするときれいに仕上がります。

### 筒ものをぬう

そでロやズボンのすそなどの小さな筒ものをぬ うときは、補助テーブルを取り外してフリーア ームにします。



下図のように布地をアームにセットし、布 地を回しながらぬっていきます。





## ぬいしろの幅をそろえる

布端と平行に一定の幅でぬうときは、ぬいしろ の端が右側になるようにぬい始め、押えの右端 か針板の目盛りを基準にしてぬいます。

#### ■ 押えを基準にする

押えの右端と布端が一定の幅で平行になるように ぬいます。



ゆい目
 (2) 押え

#### ■ 針板を基準にする

針板には、直線 [左] の針位置からの長さが表示 されています。針板に刻まれている目盛りと布端 を合わせてぬいます。上側の目盛りは 1/8 インチ (約 3mm)単位、下側の目盛りは 5mm 単位にな っています。

#### 左基線の模様の場合(振り幅: 0.0mm)



- ① ぬい目
- ② 押え
- ③ cm 目盛り
- ④ インチ目盛り
- ⑤ 針板
- ⑥ 1.5cm

## いろいろな素材をぬう

#### 厚い布地をぬう

#### ■ 押えの下に布地が入らない場合

押えレバーは2段階に上がります。厚地を重ねて ぬう場合など布地を入れにくいときは、レバーを さらに押し上げると、押えがもう一段上がり布地 を入れやすくなります。



#### ■ 布地が送られない場合

厚い布地をぬうとき、下図のように、押えが水平に ならず、ぬい始めに布地が送られないことがありま す。そのようなときは、ジグザグ押えくJ>の左側 の黒いボタンを使うと、押えを水平に保ち、スムー ズに布地を送ることができます。



ゆう方向

押えを上げます。

- とした、この時代の「おおおおした」の「おおおした」のです。
- ジグザグ押えくJ>を水平に保持して、左 側の押え固定ピン(黒いボタン)を押した まま、押えを下げます。



① 押え固定ピン (黒いボタン)

- 4 押え固定ピン(黒いボタン)から手を離し ます。
  - → 押えが水平に保たれ、布が送られます。



→ ぬい進めると押えは元に戻ります。

#### 😥 お知らせ

- ・厚い布地をぬうときには、設定画面で「押 え圧」を調整すると、ぬいやすくなること があります。
  - 設定画面で「自動押え圧補正」または「自動押え圧」をONにすると、センサーが布地の厚さを自動的に読み取ります。スムーズに布送りでき、きれいに仕上げることができます。「自動押え圧補正」機能の詳細は、「基本機能編」の「自動押え圧補正」を参照してください。



#### 薄い布地をぬう

薄い布地をぬうと、ぬい目がつれてしまったり、 布がうまく送られないことがあります。

状態の良い針を使い、針位置をいちばん左か右に 設定すると、布地が送り歯の中に巻き込まれるの を防ぎやすくなります。布が巻きこまれてしまう 場合は、布地の下にハトロン紙などの薄い紙や接 着芯をしいて、布地と一緒にぬいます。ぬい終わ ったら、紙や接着芯をやぶって取り除きます。



接着芯または薄い紙

### 伸びる布地をぬう

あらかじめしつけをして、布地を引っ張らない ようにぬいます。



#### ① しつけ

ニット生地をぬうときは、伸縮ぬいを使用する と、きれいにぬうことができます。また、ニッ ト用針を使用してください。推奨する模様は以 下の模様です。

模様	0≡≡≡	4777	~~~	Ŵ	
EMG シリーズ	1-05	1-06	1-13	1-14	2-13
CPF73 シリーズ 運	05*	06*	13	14*	48

* 印の模様は、「ダイレクト選択モード」で、該当する数 字キーを押せば選択できます。「基本機能編」を参照し てください。

#### ビニールや皮革をぬう

ビニールコーティングや皮革など、押えに貼り ついてぬいにくい素材には別売のウォーキング フット * を使用します。

* ウォーキングフットは、 EMG シリーズでは別売です。



① 皮革



### 面ファスナー(マジックテープ[®]) をぬう



#### く お願い ・ ミシンでぬう前に、しつけをして面ファスナ ーと布地をぬい合わせておいてください。

プーリーを手で回して面ファスナーに針を刺し、 針がスムーズに通ることを確認してから、面ファ スナーの端を低速でぬいます。針が通らない場合 は、厚地用の針と糸に交換してください。(「基 本機能編」の「布地と糸の種類による針の使い分 け」参照)



① 面ファスナーの端

🔎 お知らせ

 "マジックテープ[®]"は、株式会社クラレの、 面ファスナーの登録商標です。

# 第2章 いろいろなぬい方

## しつけぬいをする/布をぬい合わせる

#### 基本となる直線ぬいをします。

次の表の見方は、巻頭の「『実用ぬい編』の模様 表の見方」で説明しています。参照してくださ い。

名前	ぬい方	EMG シリーズ	CPF73 シリーズ	挿え
		模様	番号	
しつけぬい		1-08	08	
直線(左基線)	0=	1-01	01*	
	0	1-02	02*	1
直線(中基線)	:=	1-03	03*	
直線(中基線)		1-04	04*	
3 重ぬい		1-05	05*	

* 印の模様は、「ダイレクト選択モード」で、該当する数字 キーを押せば選択できます。「基本機能編」を参照してく ださい。



しつけぬいのぬい目の長さは、0.5cm ~ 3cm の 範囲で設定できます。



ジグザグ押えくJ>を取り付けます。





З

З

4

5

- ぬい合わせるところを、しつけまたはまち 1 針で留めます。
- ジグザグ押えくJ>を取り付けます。

模様を選択します。
ぬい始めの位置に針を刺します。

押えを下げ、ミシンをスタートさせます。

ぬい終わったら、糸を切ります。 6



#### ■ 針位置を変えるとき

直線 [左] と直線 [中] は、基線となる針位置が 異なります。



③ 直線 [上]

② 直線 [中]

直線 [左] は、ジグザグの振り幅が標準の設定 (0.0mm)のときに、針位置から押えの右端まで 12mmあります。振り幅を変更(0.0~7.0mm) すると、針位置が変えられます。押えの右端に布 端を合わせてぬうと、一定の幅でぬうことができ ます。



- ① 振り幅
- ② 針位置から押え右端までの幅
- ③ 12.0mm
- ④ 10.0mm
- ⑤ 7.0mm
- ⑥ 5.0mm



• 詳細は、「基本機能編」の「振り幅を調節する」 を参照してください。

## すそ上げをする

- スカートやズボンのすそをまつります。
  - 次の表の見方は、巻頭の「『実用ぬい編』の模様 表の見方」で説明しています。参照してください。

名前	ぬい方	× EWG ビーニネ 模様	基 CPF73 当 シリーズ	抻え
+ <b>つ</b> りかい	/_/_/	2-01	36	в
まつりぬい	/w/w/	2-02	37	11



- 筒の大きさがアームに入らないほど小さい ときや、筒の長さが短いときは、布地がう まく送られず、きれいに仕上がらないこと があります。
- 〕 すそ上げをするスカートやズボンを裏返し ます。



- ① 裏
- ② 表
- ③ 布端
- ④ すそ側





< 🔅 を横から見た図>



布端から約 5mm のところにチャコペンで 印をつけ、しつけをします。



< 横から見た図>





(1) 裏
 (2) 表
 (3) 布端
 (4) できあがり線
 (5) 5mm
 (5) 5mm
 (6) しつけ
 (7) しつけの位置
 < 厚い布地>
 < 普通地>

< 横から見た図>





実用ぬい編 S-9

#### □ 例:普通地



#### ■ 針がかかっていないとき

針が右側にいきすぎています。 振り幅を大きくして、針が折り山に少しかかるよ うに調節します。

□ 例:厚地



14 しつけをほどき、布地を表に返します。



② 表

## 布端を始末する

裁断した布端がほつれないように、たち目かがりをし ます。

### たち目かがり押え<G>を使う たち目かがり

 次の表の見方は、巻頭の「『実用ぬい編』の模様 表の見方」で説明しています。参照してください。

名前	ぬい方	EMG シリーズ	CPF73 シリーズ 🛅	抻え
		模様	番号	
	~~~	1-15	15*	
たち目かがり		1-16	16	G
		1-17	17	

* 印の模様は、「ダイレクト選択モード」で、該当する数字 キーを押せば選択できます。「基本機能編」を参照してく ださい。











- や のい終わった後は、布地を後ろに引いてく ださい。前方向や横方向に布地を引っ張る と、押えのピンが破損するおそれがありま す。
 - 押えに糸がからみついた場合は、からんだ 糸を取り除いてから、押えを上げて押えを 取り外してください。糸がからんだまま、 押えを上げると、押えが破損するおそれが あります。

ジグザグ押えくJ>を使うたち 目かがり

 次の表の見方は、巻頭の「『実用ぬい編』の模様 表の見方」で説明しています。参照してください。

名前	ぬい方	び EMG ガーゴネ	₩ □ CPF73 □ シリーズ	挿え
ジグザグ(中基線)	Š	1 , 1-09	09*	
ジグザグ(右基線)	j.	1-11	11	
2 点ジグザグ	\sim	1-13	13	
3 点ジグザグ	ŴŴ	1-14	14*	
		1-18	18	
		1-19	19	0
たナロかがい	×	1-20	20	
たち目かがり	Ē	1-21	21	
		1-22	22	
		1-23	23	

* 印の模様は、「ダイレクト選択モード」で、該当する数字 キーを押せば選択できます。「基本機能編」を参照してく ださい。



ジグザグ押えくJ>を取り付けます。

1



- 🦻 模様を選択します。
- 3 針が布端よりわずかに外側に落ちるように ぬいます。









サイドカッター押えくS> (別売)を使うたち目かがり

別売のサイドカッター押えく**S**>を使用して、布端を 切りながらぬいしろを始末することができます。次の 5 模様のいずれかを選択します。

- 次の表の見方は、巻頭の「『実用ぬい編』の模様 表の見方」で説明しています。参照してください。
- お願い

 サイドカッター押えくS>を使用するときは、手で針に糸を通してください。糸通しレバーを使用する場合は、糸を通した後にサイドカッター押えくS>を取り付けてください。

名前	ぬい方	EMG シリーズ	СРF73 ≥ IJ — ズ	押え
		模様	番号	
	0s	1-24	24	
	≷₅	1-25	25	
サイドカッター	} ≻s	1-26	26	s
	Ms	1-27	27	
	AAAAA S	1-28	28	



□ サイドカッター押え<S>



押えを取り外します。

サイドカッター押えくS>の作動レバーの ふたまた部分で、針のとめネジの棒を後ろ からはさみます。



② 針のとめネジ

3 サイドカッター押え<S>のピンと押えホ ルダーのミゾが合う位置にサイドカッター 押え<S>を置き、押えレバーをゆっく り下げます。



① 押えホルダーのミゾ ② ピン

 お知らせ
 押えホルダーの下にセットしにくい場合は、 押えレバーをさらに押し上げると、押えホ ルダーがもう一段上がり、セットしやすく なります。

4 押えを上げて、サイドカッター押えくS> が取り付けられていることを確認します。







ボタン穴かがり/ボタンつけ

 次の表の見方は、巻頭の「『実用ぬい編』の模様 表の見方」で説明しています。参照してください。

名前	ぬい方	を EMG だー 「 へ 横様	日本 日本 日本 日本 日本 日本	抻え
		4-01	77	
	ļ	4-02	78	
	~	4-03	79	
		4-04	80	
ギタンウかがり		4-05	81	Δ
ホタンパかかり	booocood	4-06	82	
		4-07	83	
		4-08	84	
		4-09	85	
		4-10	86	
ボタンつけ	Θ	4-14	90	М



ボタン穴かがり

「ボタンの直径+厚み」が 28mm までのボタン 穴を作ることができます。

ボタン穴かがりは、図のように押えの手前から 後ろに向かってぬいます。



① 止めぬい

ボタン穴かがりで使用するボタン穴かがり押え

A>の各部の名称は以下のとおりです。



- ①台皿
- ② 押えスケール
- ③ ピン
- ④ しるし
- ⑤ 5mm
- 市地の穴かがりをする位置に、ボタンの直径と厚みを合わせた長さのしるしをつけます。



- しるし
- ② 出来上がり





■ボタンが台皿にのらない場合

押えスケールの目盛りを使用して、穴かがりの大きさを設定します。押えスケールは1日盛り5mmです。

押えスケールの目盛りをボタンの直径 + 厚みの寸 法に合わせてください。



- ① 押えスケール
- ② でき上がり寸法(直径+厚み)
- ③ 5mm
- □ 例:直径 1.5cm 厚み 1cm のボタンの場合、2.5cm の目盛 りに合うように、台皿を引き出します。



- ① 厚み 1cm
- ② 直径 1.5cm
- → ボタン穴かがりの大きさが決まります。
- 3 ボタン穴かがり押え < A > を取り付けま す。

ボタン穴かがり押えくA>を取り付ける前に、上糸 は押えの穴から押えの下に通しておきます。

- 🔼 模様を選択します。
- 5 押えの赤のしるしと布地のしるしの手前側 を合わせ、押えを下げます。



② 赤のしるし

S-16

いろいろなぬい方





いろいろなぬい方



■ 足をつけるとき

ボタンの付け根に足(糸足)をつけるときは、ボ タンと布地の間にすき間をあけた状態でぬい、あ とで手で巻きつけます。ボタンをしっかりとつけ ることができます。

ボタン付け押え<M> にボタンを取りつけたら、足レバーを手前に引きます。



① 足レバー

2 ぬい終わったら、上糸を長めに切り、ボタ ンと布地の間の糸足に巻きつけて、ぬい始 めの上糸と結びます。

ぬい始めとぬい終わりの下糸は、布地の裏側で結び ます。





ファスナーつけ

 次の表の見方は、巻頭の「『実用ぬい編』の模様 表の見方」で説明しています。参照してください。

名前	ぬい方	EMG シリーズ	CPF73 シリーズ 🗐	挿え
		模様	番号	
直線(中基線)	:=	1-03	03*	J, I

* 印の模様は、「ダイレクト選択モード」で、該当する数字 キーを押せば選択できます。「基本機能編」を参照してく ださい。



つき合わせ

つき合わせた布地の両方にステッチが入ります。



- ① 表
 ② ステッチ
- ③ あき止まり
- ▶ ジグザグ押えくJ>を取り付けます。
- あき止まりから下側に地ぬいをします。 ^{布地は中表にし、あき止まりは返しぬいをします。}

3 ファスナーをつける部分のでき上がり線に しつけをします。













① 裏 ② しつけ ③ ファスナー



いろいろなぬい方





伸びる布地やゴムテープをぬう

 次の表の見方は、巻頭の「『実用ぬい編』の模様 表の見方」で説明しています。参照してください。

名前	ぬい方	EMG シリーズ	СРЕ73 ≥ IJ — ズ	押え
		模様	番号	
伸縮ぬい	4444	1-06	06*	
2 点ジグザグ	~~~	1-13	13	
3 点ジグザグ	~~~	1-14	14*	0
ゴムひもつけ	202	2-13	48	

* 印の模様は、「ダイレクト選択モード」で、該当する数字 キーを押せば選択できます。「基本機能編」を参照してく ださい。







З

布地を伸ばさないようにぬいます。



ゴムテープつけ

そでロやウエストなどにゴムテープをぬいつけ る場合、ゴムテープが縮んでいる状態ができ上 がり寸法になります。必要な長さのゴムテープ を用意します。



布地とゴムテープが均等になるようにまち針で数か 所留めます。



① ゴムテープ

② まち針

2

З



ジグザグ押えくJ> を取り付けます。

模様を選択します。

S いろいろなぬい方


アップリケ/パッチワーク/キルトぬい

 次の表の見方は、巻頭の「『実用ぬい編』の模様 表の見方」で説明しています。参照してください。

名前	ぬい方	EMG シリーズ	CPF73 シリーズ 🛅	挿え
		模様	番号	
ジグザグ(中基線)	Š	1-09	09*	
ジグザグ	Ś	1-33	33	
マップリケ		2-03	38	
, y y y y y	a	1-34	34	
ピーシング直線 (右基線)	С - г - р	1-29	29	
ピーシング直線 (中基線)		1-30	30	
ピーシング直線 (左基線)	О Р	1-31	31	U
	$\langle \rangle$	2-07	42	
つきあわせ	M	2-08	43	
	$\left< \right>$	2-09	44	
手ぬい風直線	0-=-=- Q	1-32	32	
キルティング模様	ິງເຊເຮ	1-35	35	

* 印の模様は、「ダイレクト選択モード」で、該当する数字 キーを押せば選択できます。「基本機能編」を参照してく ださい。



お知らせ

 ・模様右下に記されている「Q」は、その模様がキルト用であることを示し、「P」は ピーシング用であることを示します。

アップリケ















① しつけ



S





押えのガイドとしるしを使うと、正確なぬいしろで仕上がります。

ぬいしろ 6.4mm のピーシング 布地の端をガイドに当てながら、ぬいます。



ガイド
 6.4mm

正確なぬいしろで仕上げる場合

布地の端から 6.4mm の位置で、ぬい始め、ぬい終り、布地の回転を行います。



- このしるしを、ぬい始めの布地の端に合わせます。
- ② ぬい始め

③ ぬい終り

- ④ 布地のぬい終り、または布地を回転する側
- ⑤ 6.4mm

🖉 お知らせ

ピボット機能を使用すると、ミシンを止めると自動的に針下停止の状態で押えが上がり、布を回転させるときに便利です。ビボット機能の詳細は、「基本機能編」の「ピボット」を参照してください。

3.2mm の飾りぬいキルト

布地の端を押えの左側に合わせて、ぬいます。



- ① 表
- ② ぬい目
- ③ 3.2mm

キルティング

表布と裏布の間にキルト綿をはさんでぬい合わ せることを、「キルティング」といいます。 ウォーキングフット^{*}やキルター^{*}を使用する と、きれいにぬうことができます。

* ウォーキングフット、キルターは、EMG シリーズでは別 売です。



3 ウォーキングフットのレバーのふたまた部 分で、針のとめネジの棒をはさみます。



① ふたまた部
 ② 針のとめネジの棒

4

押えレバーを下げ、押えホルダーのネジを 付属のドライバー(大)で確実にしめま す。



① 押えホルダーのネジ



■ キルター^{*} を使う

キルターを使用すると、ぬい目を平行にそろえて 等間隔にぬうことができます。 * キルターは、EMG シリーズでは別売です。



 ウォーキングフットまたは押えホルダーの 穴に、キルターの棒を差し込みます。

□ ウォーキングフット



□ 押えホルダー



2 ぬい終わったぬい目とキルターのガイドが 合うように、棒の長さを調節します。



フリーモーションキルト

フリーモーションキルトでは、フットコント ローラー*を取り付けて、一定の速度でぬうこ とをお勧めします。ぬう速度は、ミシンのス ピードコントロールレバーで調節できます。





🖉 お知らせ

 ミシンをフリーモーションモードにすると、 押えがフリーモーションキルトに最適な高 さになります。詳細は、「基本機能編」の 「フリーモーションモードでぬう」を参照し てください。

■オープントゥキルト押え<0>を使 用する

オープントゥキルト押えく**O**>は、ジグザグ模様 や飾り模様でフリーモーションキルトをぬう場合 や、厚さが均一ではない布地にフリーモーション キルトの直線ぬいをする場合に使用します。オー プントゥキルト押えく**O**>を使用すると、いろい ろな模様をぬうことができます。使用できる模様 については、「基本機能編」の「ぬい方早見表」を 参照してください。



 コ オープントゥキルト 押え<0>

1 補助テーブルを外し、ミシン本体背面下側 にあるドロップレバーを背面から見て左側 (
↓)にします。



① ドロップレバー(背面から見た図)
 → 送り歯が下がります。

🦻 模様を選択します。



 詳細は、「基本機能編」の「押えホルダーを取り 外す/取り付ける」を参照してください。 S



いろいろなぬい方







実用ぬい編 S-35



丈夫にしたいところをぬう

そでぐりや股ぐりなどのぬい目を丈夫にしたり、 ポケットロなどのあき止まり部分を補強すると きに使用します。

> • 次の表の見方は、巻頭の「『実用ぬい編』の模様 表の見方」で説明しています。参照してくださ 110

名前	ぬい方	EMG デーロネ 描样	# CPF73 画 ラリーズ 画	押え
3 重ぬい	0≡≡	1-05	留 与 05*	J
 かんどめ		4-13	89	
		4-11	87	A
ダーニング		4-12	88	
		4-12	00	

* 印の模様は、「ダイレクト選択モード」で、該当する数字 キーを押せば選択できます。「基本機能編」を参照してく ださい。



3 重ぬい

そでぐりや股ぐりなど、ぬい目を丈夫にしたい ところをぬうときに使用します。



かんどめ

かんどめは、ポケットロやあき止まりなど、力 のかかる部分を補強するときに使用します。 ここでは、ポケットロにかんどめをする場合を 例に説明します。





かんどめの長さを決めます。 1

> ボタン穴かがり押え<A>の押えスケールの目盛り (1 目盛り 5mm) を合わせて、長さを決めます。



- ① 押えスケール
- ② かんどめのでき上がり寸法
- ③ 5mm
- 最大約 28mm のかんどめができます。
- ボタン穴かがり押え<A>を取り付けます。 2
- 模様を選択します。 3
- ポケットロが手前になる向きに布地を置 4 き、ポケットロより 2mm 手前に針が刺さ る位置で押えを下げます。



① 2mm 上糸は押えの穴から押えの下に通しておきます。

押えを下げるときに、押えの手前部分を押さな いでください。かんどめを正確な大きさにぬえ ません。





① すきまをなくさない





① ボタン穴かがりレバー ボタン穴かがりレバーが、押えの突起部の後ろ側に なるようにします。



- ① ボタン穴かがりレバー ② 突起部
- 左手で上糸を軽く持ち、ミシンをスタート 6 させます。



押えを上げ、布地を取りだしてから、糸を 切ります。

ボタン穴かがりレバーを元に戻します。

厚地などで布地が進まないときは、ぬい目 を長く(ぬい目をあらく)します。詳細は、 「基本機能編」の「ぬい目の長さを調節す る」を参照してください。 つくろいぬい(ダーニング)

お知らせ



.1

① 止めぬい

つくろいぬいをする長さを決めます。

ボタン穴かがり押え<A>の押えスケールの目盛り (1 目盛り 5mm) を合わせて、長さを決めます。



- ① 押えスケール
- ② ダーニングのでき上がり寸法
- ③ 5mm
- (4) 7mm
- 最大約 28mm のダーニングができます。
- → ぬい終わると、自動的に止めぬいをしてストップ します。
- ボタン穴かがり押え<A>を取り付けます。 2





実用ぬい編 S-39

はとめ穴を作る

ベルトの穴などに使用するはとめ穴(アイレット)を 作ります。

> • 次の表の見方は、巻頭の「『実用ぬい編』の模様 表の見方」で説明しています。参照してくださ L١.





ぬい始めの位置に針を刺し、押えを下げま 4 す。



ミシンをスタートさせます。 5

→ ぬい終わると、自動的に止めぬいをしてストップ します。

付属のはとめ穴パンチで穴をあけます。



• 布地の下に厚紙などを敷いて穴をあけます。

お知らせ

 細い糸でぬうと、ぬい目があらくなること があります。その場合は、重ねて2回ぬう ときれいにできあがります。

横送り(直線・ジグザグ) 袖やズボンなどの筒状の布地にワッペンなどをつける 模様ぬい押えくN>を取り付けます。 2 場合などに使います。 • 次の表の見方は、巻頭の「『実用ぬい編』の模様 表の見方」で説明しています。参照してくださ い。 EMG シリーズ 挿え 名前 ぬい方 CPF7 模様↓を選択します。 3 模様番号 5-01 92 ¦1 ぬい始めの位置に針をさし、ミシンをス 4 ----← 5-02 93 タートさせます。 横送り直線 ----→ 右上の角に針をさします。 5-03 94 |↓ 5-04 95

Ν

96

97

98

99



 \approx

 $\stackrel{\sim}{\rightarrow}$

₹ţ

ξî

横送りジグザグ

5-05

5-06

5-07

5-08

筒状の布地をフリーアームに通し、図のように ぬいます。







5 角までぬったら、ミシンを止め、模様 ☆ を選択します。

6 ミシンをスタートさせます。

	1.1
- 2	

→ 布地は右へ送られます。





飾りぬいをする

いろいろな飾りぬいができます。

 次の表の見方は、巻頭の「『実用ぬい編』の模様 表の見方」で説明しています。参照してください。

名前	ぬい方	EMG シリーズ	CPF73	押え
		模様	" 潘号	
	\sim	2-07	42	
つきあわせ		2-08	43	
	}	2-09	44	
シェルタック	L.	2-04	39	J
スモッキング	\otimes	2-10	45	
	×××	2-11	46	
	XXX	2-12	47	
サテンスカラップ	, ann _a ann a	2-05	40	
	E	3-04	58	
	***	3-06	60	
	***	3-09	63	
		3-10	64	
	*	3-12	66	
	1 1	3-18	72	
飾りぬい		3-20	74	
	$\widehat{\boldsymbol{\mathcal{C}}}$	3-21	75	
	Ż	3-22	76	
	目	2-14	49	
	Niji Niji	2-15	50	J
	XXXX	2-16	51	
	ξ	2-17	52	N



ファゴティング

布地と布地の間を離して糸でかがるぬい方を 「ファゴティング」といいます。ブラウスや子供 服などに使用します。太い糸を使用するときれ いに仕上がります。



布地をでき上がり線で折って、アイロンを かけておきます。

ハトロン紙などの薄い紙(または刺しゅう 用接着芯)に 4mm の間隔をあけて、布地 をしつけします。

ハトロン紙(または刺しゅう用接着芯)の中央に線 を書いておくとぬいやすくなります。



① ハトロン紙(または刺しゅう用接着芯)
 ② しつけ
 ③ 4mm

ジグザグ押えくJ>を取り付けます。





5 ジグザグの振り幅を 7.0mm に設定します。



押えの中心を布地と布地の中心に合わせて ぬいます。



ひ ぬい終わったら、紙をやぶって取り除きます。

スカラップ

貝殻を並べたような連続した波形の模様を「ス カラップ」といいます。ブラウスの衿やハンカ チのふち飾りなどに使用します。



模様ぬい押え<N>を取り付けます。



🥱 模様 🖣を選択します。



模様が布端にかからないように、布端から 少し離してぬいます。



ぬう前に布地にアイロン用スプレーのりをかけておくと、きれいに仕上がります。

📶 ぬい目にそって布端を切ります。



• 糸を切らないように注意してください。

スモッキング

1

ギャザーの上に飾りぬいまたは刺しゅうをする ことを「スモッキング」といいます。ブラウス の胸もとやそで口の飾りなどに使用します。

布地に模様を施すと同時に伸縮性もつけられる、 飾りと実用を兼ねたぬい方です。



()0	
	F

直線を選択し、ぬい目の長さを 4.0mm、上 糸調子を弱めに設定します。

下糸は上に引き出しておきます。

- 詳細は、「基本機能編」の「ぬい目の長さを調節 する」「糸調子を調節する」および「下糸を引き 出す」を参照してください。
- 3 1cm の間隔をあけて、平行に数本ぬいます。

ぬい終わりは、糸を 5cm ほど引き出して切ります。



- ① 1cm
- 返しぬいと糸切りはしないでください。







実用ぬい編 S-47

りない

ここでは、文字模様・飾り模様のぬい方や、調整・編集のしかたを紹介しています。さらに、オリ ジナルの模様を作成できるマイイラスト機能の使い方も紹介します。 ページ数は、「D」の記号で始まります。

第1章 文字模様/飾り模様	D-2
第2章マイイラスト機能	D-20



^{第1章} 文字模様/飾り模様

模様の選択



文字模様/飾り模様



模様をぬってみましょう

きれいにぬうために

きれいに文字模様・飾り模様をぬうために、布 地・糸・針については以下の表を参照してくだ さい。



作品をつくるときと同じ布地で試しぬいを しながら、調整してください。(D-5の「模 様の調整をする」参照)

サテンステッチをぬうときは、ぬい縮みや 目詰まりが起こすことがあるため、必ず接 着芯を貼ってください。

 ぬうときには布地がずれないように、手を 添えてぬってください。

伸びる布地、薄地、織りのあらい布地は、裏 布地 面に別売の接着芯を貼ってください。接着芯 を貼りたくないときは、ハトロン紙などの薄 い紙を布地の下に敷いてぬってください。 Ν P 3 (1)① 布地 (2) 接着芯 ③ 薄い紙 糸 50 ~ 60 番 針 薄地、普通地:家庭用ミシン針 11 番 伸びる布地:ニット用針(金色)11 番 厚地:家庭用ミシン針(HA×1)14番 押え 模様ぬい押え< N > 模様ぬい押えくN>以外を使用すると、き れいに仕上がらないことがあります。 2本針 7mm サテンステッチをぬうときは、2本針 (11番)を使用することができます。その場







模様の編集

模様の編集機能を使って、模様の大きさを変えたり、模様を反転させることができます。

お知らせ

 模様の種類によっては、編集機能が使えないものもあります。使用できる機能は、模様を選んだときに キーが表示されます。



■文字/飾り模様画面

■ 文字/飾り模様編集画面





No.	画面表示	名称	はたらき	参照 ページ
1	100%	表示サイズ	選択した模様が実際と比べてどのくらいのサイズで表示されているかを、大まか	-
			430個で表しています。 100%: 実際とほぼ同じサイズで表示されています。	
			50%: 実際の半分のサイズで表示されています。	
			25%: 実際の 1/4 のサイズで表示されています。	
			実際の模様の大きさは、使用する布地や糸の種類によって異なります。	
2	11	ピボットキー	ピボット設定にするときに押します。(「基本機能編」の「ピボット」参照) 	-
3		自動返しぬい/止めぬい	自動返しぬい/止めぬい機能を有効にするときに押します。(「基本機能編」の	-
		+-	目動で返しぬい/止めぬいをする」参照)	Ļ
(4)	~	自動糸切りキー 	自動糸切り機能を有効にするときに押します。(基本機能編」の「自動で糸を切 る」参照)	-
5	đ	記憶キー	組み合わせた模様を記憶することができます。	D-16 \sim
				D-17
6		イメージキー	選択した模様のイメージを拡大して確認するときに押します。	D-11
0		画面切り替えキー	模様画面と編集画面を切り替えるときに押します。	-
8	~ P	フリーモーションモード	フリーモーションモードに設定するときに押します。	-
		+-	押えがフリーモーションキルトに適した高さまで上がります。	
			(「基本機能編」の「フリーモーションモードでぬう」参照) ────────────────────────────────────	
9		左右反転キー 	模様を選んでから押すと、模様が左右に反転します 	D-9
10	L***	模様の頭出しキー	停止時に押すと、縫製中の模様を先頭に戻すことができます。	D-10
1	0000 A	連続/単独ぬいキー	単独ぬいと連続ぬいの切り替えをします。	D-9
12		大きさキー	模様を選んでから押すと、模様の大きさが変わります(大/小)。	D-9

No.	画面表示	名称	はたらき	参照 ページ
13	以下のキー	は、選択した模様によって表	表示/非表示が変わります。	
	[]3	模様の長さキー	7mm サテンステッチの模様を選んでから押すと、振り幅・ぬい目の長さを変えず に、模様の長さを5段階から選ぶことができます。	D-9
		糸密度キー	模様を選んでから押すと、模様の糸密度が変わります。	D-10
	ABC	文字間隔キー	文字模様の文字間隔を調整できます。	D-3
14		ステップ模様キー	ステップ模様を作るときに押します。	D-14
15		削除キー	間違えて模様を選んだときに押すと、選んだ模様を取り消します。	D-2,
			模様の組み合わせを間違えた場合も、このキーを使って模様を取り消します。	D-3
16		模様調整キー	模様の長さ、振り幅、L/R シフトあるいは糸調子を変更したいときに押すと、模	-
			様調整画面が表示されます。(「基本機能編」の「模様の設定」参照)	

文字模様/飾り模様







模様の組み合わせ

文字、クロスステッチ、サテンステッチ、マイイラス ト機能(D-20参照)を使って作った模様などを組み合 わせると、使い方が広がります。異なる種類の模様を 組み合わせたり、大きさを変えて組み合わせたり、反 転模様を組み合わせたり、いろいろな組み合わせを楽 しんでください。

模様を組み合わせる前に

模様は組み合わせをすると自動的に単独ぬいに なります。組み合わせた模様を連続ぬいにした ■ にしてください。

模様を組み合わせた後で、まとめて大きさを変 えたり、反転させたりすることはできません。 大きさを変えたり、反転させたりしたい場合は、 1模様ごとに設定をして組み合わせてください。





以下の模様(1/3ページ)を選択します。

m 3.6

′ѕンを押します。

+1

-.-

_

4

5

6

N	-mm 3.6
2	*** *]]
2	
1%	

→ 組み合わせた模様が連続になります。

+ V		 	×××× mm 3.6	
	G	<u>4</u> 1	*** *	
2 made		Í		
78 0%				

P お知らせ

5

50

• 模様を取り消したいときは、 🔊を押すと最 後に選んだ模様から1つずつ順番に取り消 されます。






文字・飾りぬい編 D-15

模様の記憶

データに関する注意

このミシンで作成・記憶した以外のデータを扱 うときは、以下の点に注意してください。

■ 使用可能なデータの種類

文字・飾りぬいモードでは、拡張子が「.pmv」 「.pmx」「.pmu」のファイルを読み込むことができ ます。

「.pmu」「.pmx」ファイルは読み込むことはできま すが、本機で記憶し直したときは「.pmv」ファイ ルとして記憶されます。

お使いのミシン、または「.pmv」、「.pmx」、

「.pmu」に対応したミシンで作成された模様以外 のデータを扱うと、ミシンが誤作動するおそれが あります。

■使用可能な USB メディア

模様データは、USB メモリーに記憶し、呼び出す ことができます。メモリーの容量については、特 に制限はありません。

と お願い

- 本機に挿して使用できるのは、USB メモリーのみです。
- 一部のUSBメモリーは、このミシンで使用できない場合があります。弊社サポートサイト(ブラザーソリューションセンター)(http://support.brother.co.jp/)で掲載される情報を参照してください。
- USB メモリーの挿入後、アクセスランプが 点滅を始めます。USB メモリーの認識に、 5~6秒かかります(この時間は USB メモ リーによって異なります)。
- USB メモリーについては、USB メモリーに付属の取扱説明書を参照してください。

■ パソコンでデータを保存するときの 注意

- データのファイル名は半角英数字を使用してく ださい。他の文字を使用すると、模様が表示さ れないことがあります。
- USB メモリー内に作成されたフォルダーに格 納された模様データも、本機で読み込むことが できます。フォルダーを作成するには、パソコ ンをご使用ください。

模様を記憶させる

よく使う模様を、ミシンに記憶させることができます。ミシンに記憶させることができる模様は、15 模様(合計約 128KB)までです。



🔎 お知らせ

1

- ┘ 記憶が完了するまでに数秒かかります。
- 記憶させた模様を呼び出すときは、D-18 を 参照してください。





- 記憶せずに元の画面に戻るには、 きを押します。
- →「記憶中 …」のメッセージが表示されます。模様 が記憶されると、自動的に元の画面に戻ります。



3 [∞] を押します。	3 ☞を押します。
 記憶せずに元の画面に戻るには、●を押します。 「記憶中…」のメッセージが表示されます。模様が記憶されると、自動的に元の画面に戻ります。 	・ PBC (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)
→ 「bPockel」 というフォルターが作成され、その中 に模様が記憶されます。	 お知らせ ・ 愛を押すと、模様はミシンのメモリーから 完全に消去され、復元できません。
ている間は、USB メモリーを抜き差ししな いでください。記憶中の模様が欠損あるい は、消去されることがあります。	USB メモリーから呼び出す
模様を呼び出す ¹ ^(回) を押します。	模様を USB メモリーから直接呼び出すことがで きます。模様がフォルダーに格納されている場 合は、呼び出したいファイルが保存されている フォルダーを確認してください。 USBメモリーをミシンのUSBポートコネク タに差し込みます。
 ・ 記憶された模様の全体が表示されない場合は、 模様キーを押して確認してください。 	 ① USB ポートコネクタ ② USB メモリー
・ 呼び出さずに元の画面に戻るには、 う を押しま す。	そを押します。 ・* 「※ 2 ※ 3 ** 10 5 ※ ・* 「※ 2 ※ 3 ** 10 5 ※ ・* 「※ 2 ※ 3 ** 10 5 ※ ・* 「※ 2 ※ 3 ** 10 5 ※ ・* 「※ 2 ※ 3 ** 10 5 ※ ・* 「※ 2 ※ 3 ** 10 5 ※ ・* 「※ 2 ※ 3 ** 10 5 ※ ・* 「※ 2 ※ 3 ** 10 5 ※ ・* 「※ 2 ※ 3 ** 10 5 ※ ・* 「※ 2 ※ 3 ** 10 5 ※

 模様を選択します。呼び出したい模様が フォルダーに格納されている場合は、その フォルダーのキーを押します。

- 前/次のページを表示するには、
 ★

 を押します。
- 呼び出さずに元の画面に戻るには、 一を押します。



→ フォルダーの中の模様が表示されます。



- ① フォルダー名
- ② 模様。組み合わされた模様の場合は、1つめの 模様だけが表示されています。
- 元の画面に戻るには、 全を押します。
- フォルダーは、パソコンで作成してください。
 ミシンでフォルダーを作成することはできません。
- 4 ぬいたい模様のキーを押して、呼び出します。

☞▶を押します。

5



→ 選んだ模様が呼び出されます。



文字模様/飾り模様



イラストデザイン

マイイラスト機能を使用して、オリジナルの模様を登録できます。マイイラスト機能で作成したデザインと他の模様を組み合わせたデザインをぬうこともできます。(D-12参照)



2

模様が繰り返される間隔を決めます。

な模様を作ることができます。

模様の間隔を調節すると、1 つの模様でさまざま

• これで、刺しゅうする模様のデザインが決

定されます。

□ 作品例

					· · ·	J	0	1	0	9	10	11	12	13	14	15
	1	0	12	18	22	23	21	17	14	12	9	6	3	1	3	6
\square	\leftrightarrow	0	0	3	6	10	13	14	13	11	13	14	13	10	6	3
	ぬい方	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
\mathbf{k}	1	12	41	43	40	41	38	35	32	30	32	35	41	45	47	44
	\leftrightarrow	0	0	4	7	11	13	14	13	10	6	3	0	0	4	7
	ぬい方	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45
	\$	45	47	50	54	56	55	51	45	70						
	\leftrightarrow	11	13	14	13	10	6	3	0	0						

	ぬい方	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
L.	1	0	30	32	32	32	33	35	35	37	35	32	30	30	29	26
	⇔	0	0	1	7	10	12	11	8	12	14	14	11	5	3	8
	ぬい方	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	\$	24	18	13	12	13	10	12	8	12	7	12	6	10	5	10
	⇔	10	13	14	14	12	11	10	9	8	6	6	3	2	0	2
	ぬい方	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45
	t	16	19	23	22	17	22	23	19	42						
	⇔	1	0	0	6	10	6	0	0	0						

	ぬい方	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	1	0	3	5	8	12	17	20	24	27	29	31	32	30	27	24
	⇔	0	5	8	11	13	14	14	13	12	11	9	6	3	1	0
	ぬい方	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
\sum	\$	21	18	16	15	15	16	18	21	25	28	33	37	41	43	44
	⇔	0	1	3	5	8	10	12	13	14	14	13	11	8	5	0
	ぬい方	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45
	\$															
	⇔															

ぬい方	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
1	0	5	4	5	8	7	8	11	11	11	16	11	7	4	0
⇔	7	7	3	7	7	0	7	7	3	7	7	3	0	3	7
ぬい方	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
t	4	7	11	16	21	20	21	24	23	24	27	27	27	32	27
⇔	11	14	11	7	7	11	7	7	14	7	7	11	7	7	11
ぬい方	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45
\$	23	20	16	20	23	27	32								
↔	14	11	7	3	0	3	7								

イラストの入力

■ マイイラスト機能画面



① ここに作成中の模様が表示されます。

② 模様の総ポイント数の上に、現在セットされているポイントの数を表示します。

③ 📎の座標を表示します。

No.	画面表示	名称	はたらき	参照 ページ
4	Z .	ポイント削除キー	選んだポイントを削除することができます。	D-23
5		ブロック移動キー	ポイントをグループにまとめて、いっしょに移動することができま す。	D-24
6		ポイント挿入キー	模様のデザインに新しいポイントを挿入することができます。	D-24
7	BCLASLY	試しぬいキー	模様の試しぬいができます。	D-23, D-26
8		イメージキー	模様のイメージを表示することができます。	D-23
9	5	記憶キー	作成中の模様を記憶することができます。	D-26
10		1 針ぬい/3 重ぬいキー	2 つのポイントの間で1針ぬいをするか、3 重ぬいをするかを選択 します。	D-23
1		矢印キーとセットキー	矢印キーで🌑を移動し、中央のセットキーでその場所にポイントを セットします。	D-23 ~ D-24
12	* • • •	ポイント移動キー	◆を模様の上でポイントからポイントに移動したり、最初に入力されたポイントや最後に入力されたポイントに移動することができます。	D-23 ~ D-24
13		グリッド方向キー	マイイラスト用紙の方向を変えることができます。	D-23
14		ページスクロールキー	マイイラスト用紙を上下にスクロールすることができます。	-
15	***	サンプル模様呼び出し キー	サンプル模様を呼び出して編集することができます。	D-24

マイイラスト機能





■ エラーメッセージが表示されたら

このメッセージが表示されるのは、選択しようと している模様を追加すると、編集エリアからはみ 出してしまうときです。その場合は、他の模様を 選ぶか、すでに選んである模様(またはポイント) を削除する、などをして調整してください。

エリアをはみ	出すのでその模様	は読み込
めません。		
	ок	

マイイラストの記憶

マイイラスト模様を記憶させる

マイイラスト機能を使って作成した模様は、記 憶させて、後で使うことができます。模様デー タの入力が終わったら、ごを押した後、一か のどちらかを押します。「記憶中 …」のメッ セージが表示され、模様が記憶されます。USB メモリーに記憶させる場合は、「bPocket」という フォルダーが作成され、その中に記憶されます。

模様を記憶させる前に、Immを押して、試しぬいをすることもできます。



🖉 お知らせ

- 模様の記憶には数秒かかります。
- 記憶させた模様の呼び出しについては、次項「記憶させた模様を呼び出す」を参照してください。



■記憶できないときは

を押した後で次のメッセージが表示される場合は、ミシンのメモリー容量がいっぱいであるか、記憶させる模様が大きすぎて、メモリーの容量が足りないために模様を記憶できません。ミシンに 模様を記憶させるには、以前に記憶させた模様を 消去する必要があります。

容量か 模様を	「不足して」 を消去してく	はす。 ださい。
	キャンセル	ок



🏹 お知らせ

◄ 呼び出した模様を編集した後、記憶させると、編集後の模様は、別の模様として記憶されます。



ここでは、刺しゅう模様の編集や、記憶させた模様を呼び出す手順を紹介します。 ページ数は、「E」の記号で始まります。

第	1 章	貢刺	しゅ	っう	
11		- 71.	, • • •	· /	

☆ お願い ●「刺しゅう編」を読む前に、「基本機能編」の「刺しゅうの基本」を参照して、刺しゅう押えや刺しゅう枠などの準備をしてください。 第1章 刺しゅう

刺しゅう模様の選び方

「基本機能編」の「刺しゅうの基本」を参照して、刺 しゅう押えや刺しゅう枠などの準備をしてください。



※ 画面はモデルによって異なります

- ① ワンポイント
- ② バラエティ
- ③ 花アルファベット
- ④ 文字模様
- ⑤ 枠模様
- ⑥ 刺しゅう機を取り外す前に必ずこのキーを押してください。
- ⑦ ミシンに記憶させた模様の呼び出し(E-34 参 照)
- ⑧ USB メモリーからの模様の呼び出し (E-35 参照)

🎾 お知らせ

 内蔵模様については、付属の「模様一覧」 を参照してください。

ワンポイント/バラエティ/花 アルファベット模様を選ぶ



・ 割しゅつ機を取り外す前に 必ず押してください。

※ 画面はモデルによって異なります

A

001 003 004 2854 → 模様は画面の左側に表示されます。 ☞●を押します。 З 87.3mm 017 5 019 → 選んだ模様は、赤い四角の枠で囲まれます。 E-5の「編集のしかた」に進んでください。 Δ 文字模様を選ぶ □ 例:「We Fly」と入力してみましょう。 ▲を押します。

ぬいたい模様のキーを押します。

2

っ お好みの書体のキーを押します。

^{o1} ABC		<u>4_1</u> ⊧ 2
° ABC	°⁴ ABC	
^{⁰⁵} ABC	^{of} ABC	

F

刺つす





編集のしかた

模様選択画面で模様を選んで
を押すと、模様編集画面が表示されます。編集が完了したら、
たるを押して、
縫製設定画面に進んでください。

■ 模様編集画面



2 お知らせ

• キーが灰色で表示されている場合は、選んだ模様にその機能を使うことはできません。



▲ 注意

模様を編集したときは、画面の刺しゅう枠表示を確認し、模様にあった刺しゅう枠を使用してく ださい。模様の大きさよりも小さい刺しゅう枠を使用すると、刺しゅう枠が押えに当たり、けが の原因となります。

番号	画面表示	名称	はたらき	参照 ページ
1	()	拡大キー	模様の画面表示を拡大できます。	E-8
2		刺しゅう枠表示	使用できる刺しゅう枠を表示します。	-
3	‡ 87.3 mm ↔ 89.2 mm	模様サイズ	組み合わせた模様の全体のサイズを表示します。	-
4		プレビューキー	実際の仕上がりイメージを表示します。「基本機能編」の「刺しゅうイメージを確 認する」を参照してください。	-
5	Ċ	回転キー	模様を回転することができます。1回につき1度、10度、または90度回転することができます。	E-6
6		糸パレットキー	表示されている模様の色を変えることができます。	E-7
7		削除キー	選択した模様(赤い四角の枠で囲まれている模様)を削除します。	E-7
8	•	文字編集キー	文字編集画面を表示します。「文字編集のしかた」を参照してください。	E-9
9	編集終了	編集終了キー	編集を終了し、縫製確認画面に進みます。「縫製設定画面で編集する」を参照して ください。	E-15
10		模様記憶キー	模様をミシンまたは USB メモリーへ記憶させます。	E-32
1	模様 選択	模様選択キー	模様を組み合わせているときは、このキーを使用して、編集する部分を選択しま す。選択した模様は、赤い四角で囲まれます。	E-14
12	追加	追加キー	編集中の模様に、別の模様を追加することができます。	E-13
13		左右反転キー	模様を左右に反転することができます。	E-7
14		糸密度キー	枠模様や文字模様の密度を変えることができます。	E-7
15	(+)	移動キー	矢印の方向に模様のぬう位置を移動することができます。	E-6
16		大きさキー	模様の大きさを変えることができます。	E-6

刺しゅう





刺しゅうの糸色を変える

模様の糸色を変更します。



→ 糸色パレット画面が表示されます。

□、または□→を押して、糸色を変更したい部分を選択します。



- 3 ▲▲▶▼を押して、カラーパレットで新しい色を選択します。
 - ・ 元の色に戻すときは、 ●を押し、メッセージが表示されたら
 を押します。複数の色を変更した場合は、すべての色が元の色に戻ります。



① 刺しゅう糸色パレット
 → 選択した色が反映されます。

∝を押します。

模様を左右反転させる

選択した模様を左右反転させるには、▲を押し ます。このとき、表示が▲に変わります。▲を 押すと、元に戻ります。



糸密度を変える (文字・枠模様のみ)

文字模様、枠模様には、糸密度を変更できるも のがあります。

糸密度を 80% と 120% の間で、5% きざみで設 定できます。



2

糸密度を変えます。

- 密度をあらくする場合は、
 を押します。
- 密度を細かくする場合は、+を押します。



3 ∝を押します。

模様を削除する

模様を削除するには№を押します。





文字編集のしかた

模様編集画面で を押すと、文字編集画面が表示されます。

■ 文字編集画面



番号	画面表示	名称	はたらき	参照 ページ
1	A B C	色替えキー	文字の色を1文字ず つ変えることができ ます。	E-9
2	Be	配列キー	文字の配列を変える ことができます。	E-12
3	RAA	フォント変 更キー	文字のフォントを一 括で変更します。	E-10
4		縦書き / 横 書き切り替 えキー	日本語の文字(ひら がな/カタカナ/数 字/漢字)の横書き /縦書きが切り替わ ります。	E-9
5	Авс	1 文字編集 キー	1 文字ずつ編集するこ とができます。	E-11
6	AİBC	文字間分割 キー	文字と文字の間を分 割し、別々の編集を 行えるようにします。	E-11
7	ABC	文字間キー	文字の間隔を変える ことができます。	E-10
8	機構 選択	模様選択 キー	組み合わせた模様が 選択されているとき は、このキーを使用 して、編集する部分 を選択します。選択 した模様は、赤い四 角で囲まれます。	E-14

1 文字ずつ色を変えてぬう

ひらがな / カタカナまたはアルファベットを選 択したとき、1文字ずつ違う色でぬうことがで きます。

色替えを設定すると、1文字ぬうごとにミシン が止まるので、糸の色を変えることができます。

● ■を押します。キーの表示が■に変わります。

• もう一度押すと、元の設定に戻ります。

	€ 131.9mm () 91.3mm		
A DZ			
ADS			
	模様 選択 OK		

2 ■を押して模様編集画面に戻ります。

 ・ 糸色を変更する場合は、模様編集画面で ■
 レます。(E-7 参照)

3 1 文字ぬい終わるごとに、糸を変えて次の 文字をぬいます。

縦書き/横書きを切り替える

日本語の文字(ひらがな/カタカナ/数字/漢 字)の場合、横書き/縦書きを切り替えること ができます。



	Image: Second		
1971 - 77 (27 1123)			
	模様 選択 OK		

E







E

刺しす

JI

模様の組み合わせ ☞を押します。 6 組み合わせ模様を編集する □ 例:アルファベットと刺しゅう模様を組 ↔を押します。 み合わせて編集する 🕀 🖓 🗛 🖪 129.4mm Sprin ⇔ Spring MMW 🎥 🕬 追加 模様 置訳 編集 終了 を押して、文字を移動します。 8 ♣ を押して刺しゅう模様を選択します。 🕀 💽 🖬 🖬 164.6mm Spring ‡ + 85.5mm ++ 0.0mm 次の模様を選択して を押します。 ~ **7** 2 > < • LV 129.4mm ок 4<u>3</u>) ◎●を押して、模様編集画面に戻ります。 9 ■を押し、次に ◎を押して文字の配列を 10) 変えます。 🖛 を 2 回押して、模様編集画面 ■■を押します。 3 に戻ります。 🕀 🕩 🖪 129.4mm • 文字の配列の変更については、E-12参照してく ださい。 🕂 🕞 🖳 🕂 178.8mm Spring 🚺 51.0mm 🛄 117.0mm 募様 選択 □□ 編集 終了 追加 ▲を押して、アルファベットを入力しま 4 ок す。 ■を押して文字の色を変えます。 「」を押すと元の画面に戻ります。 11 → 色パレットの画面が表示されます。 ^{**} ABC を押して、「Spring」と入力します。 5 • 色の変更については、E-7 参照してください。 → 入力した文字が画面の上部に表示されます。 ◎●を押して、模様編集画面に戻ります。 12 1) Spring 131.5mm abc &?! âäå Embroidery □- □+ $f \mid g \mid h \mid i \mid j \mid k \mid \frac{3}{4}$ TIL e Spring (mn p q r s0 **▲ <u>1</u> ► ▼** 3 ок

刺しゅう編 E-13



→ 縫製画面が表示されます。

C DTin	US J-17646	0 min 47 min	$\boxed{1} \frac{0}{11}$
11.0	Embroidery	8 ^{min}	Server.
+	Embroidery	15	23.31/12
2000	Embroidery	2	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~
	Embroidery	3	

■ 組み合わせ模様を選択する

複数の模様を組み合わせている場合、編集する模 様を選ぶときは 🗱 を押してください。



組み合わせ模様を刺しゅうする

組み合わせ模様は、模様を選んだ順番に刺しゅ うされます。この例では、以下のような順番で 刺しゅうされます。

- Spring

• 「基本機能編」の「模様を刺しゅうする」の手順 に従ってください。

 花の模様を画面に表示された糸色の順番に 刺しゅうします。



→ 模様の刺しゅうが終わると、[+] カーソルが組み合 わせ模様の文字の部分に移動します。

文字部分を刺しゅうします。 2



縫製設定画面で編集する

模様編集画面で
たったおいた。
たったら、
たったらい

■ 縫製設定画面



番号	画面 表示	名称	はたらき	参照 ページ
1	「 ^ 7 く • 〉 L ∨ J	矢印キー	矢印の方向に模様を移動さ せることができます。模様 を縫製範囲の中央に戻すに は、中央のキーを押します。	E-15
2	Ó	回転キー	模様を回転させることがで きます。	E-15
3	刺しゅう	刺しゅう キー	縫製画面を表示します。	-
4		記憶キー	模様をミシンまたは USB メモリーに記憶します。	E-32
6	ŦĴ	位置確認 キー	模様の位置を確認すること ができます。刺しゅうキャ リッジが動いて模様を刺 しゅうするために十分なス ペースがあるかどうかを確 認できます。詳細は、「基 本機能編」の「ぬう位置を 確認する」を参照してくだ さい。	-
6	(¥)	ぬい始めの 位置キー	ぬい始めの位置を移動し て、模様の位置に針を合わ せることができます。	E-15

模様を移動させる

を押すと、模様全体が移動します。 詳細は、E-6の「刺しゅうする位置を移動させる」を参照してください。

模様を回転させる

と、模様全体が回転します。

詳細は、E-6の「模様を回転させる」を参照し てください。

模様と針をあわせる

□ 例:模様の左下と針を合わせます。



E







つけます。



① ぬい始めの位置

- ② このキーを押すと、つながった文字の並びを揃 えることができます。(E-16 参照)
- → 針が模様の左下に移動します(刺しゅう枠が針が 模様の左下にくるように動きます)。





アップリケ

刺しゅう模様を使ってアップリ ケをする

色替え表示の部分に「<u>■</u> (アップリケ ピース)」、「<u>■</u> (アップリケノイチ)」、ま たは「<u>■</u> (アップリケ)」と表示された場 合は、以下の手順で刺しゅうします。

用意するもの

- アップリケピース用の布
- アップリケ土台用の布
- 刺しゅう用接着芯
- 手芸用ののり
- 刺しゅう糸

と お願い

■ 1. アップリケピースを作る

▶ アップリケ模様を選択して縫製画面に進み ます。



アップリケピースの布地の裏に接着芯を貼ります。

布地を刺しゅう枠に張り、刺しゅう機に セットします。



① アップリケ布(綿、フェルトなど)
 ② 接着芯

- 引しゅう糸をセットし、刺しゅう押えを下 げ、スタート/ストップスイッチを押し て、アップリケピースの切り取り線をぬい ます。
 - → アップリケピースの切り取り線をぬってミシンが 止まります。



① アップリケピースの切り取り線
 ② アップリケピースの布地

アップリケピースの布地を刺しゅう枠から 取り外し、ぬい目の上をていねいに切り取 ります



- お願い
 ぬい目よりも内側を切るとアップリケをぬうときに布地に糸がかからなくなりますので、必ずぬい目の上をていねいに切り取ってください。
 アップリケピースを切り取った後、糸はき
 - アッフリグヒースを切り取った後、糸はきれいに取り除いてください。



刺しゅ

JI

E





速つす

F

- 刺しゅう機から刺しゅう枠を外し、ぬい目
- 布地は刺しゅう枠にはめたまま切ってくだ さい。また、布地に無理な力をかけないで ください。枠に張った布地がたるむことが
 - 67.6mm





E 刺しゅう

こんなとき








① 刺しゅうが再開されたときの針数



3





E

刺しゅう編 E-29

「枠指定表示」が「ON」の場合



- 選択した枠に合わせて、刺しゅう範囲が表示されます。
- ② 選択した枠に収まらない模様はグレー表示され、 選択することができません。

🖉 お知らせ

- 選択した枠に刺しゅうできない模様は、選 択できません。
- 模様は設定した枠に刺しゅうできる範囲内で、拡大/縮小することができます。
- 編集画面で③を押すと、選択された刺しゅう枠の縫製範囲を100%として、模様を拡大することができます。

刺しゅう模様の背景色を変える

模様表示エリアと模様キーの背景色を変更できます。模様の色によって、66 色から背景色を選択します。模様表示エリアと模様キーで、別々の色を背景色に設定できます。





お知らせ
 本機の電源を切ったあとも、設定は保存されます。

模様キーのサイズを変える

模様キーのサイズを大・小のいずれかから選択 できます。大きいサイズは、小さいサイズの **1.5** 倍です。





刺しゅう模様の記憶

刺しゅうデータに関する注意

このミシンで作成・記憶したデータ以外の刺 しゅうデータを扱うときは、以下の点に注意し てください。



■ 使用可能な刺しゅうデータの種類

 このミシンで扱える刺しゅうデータは、.pes、.phc、 および.dst ファイルのみです。当社正規のデータ作 成機またはミシンで作成された模様以外のデータを 扱うと、ミシンが誤作動するおそれがあります。

■使用可能な USB メディア

刺しゅうデータは、USB メモリーに記憶し、呼び 出すことができます。

と お願い

- 記憶されたデータの量によって本機での処理速度が異なります。
- USB メモリーの挿入後、アクセスランプが 点滅を始めます。USB メモリーの認識に、 5~6秒かかります(この時間はUSB メモ リーによって異なります)。
- USB メモリーについては、USB メモリー に付属の取扱説明書を参照してください。

お知らせ

USB メモリー内にフォルダーを作成する場合は、パソコンを使用します。

■パソコンでデータを作成・保存する ときの注意

- 特殊文字が含まれていると刺しゅうデータのファイル/フォルダーが認識されず、表示されません。そのような場合は、ファイル/フォルダーの名前を変更してください。アルファベット26文字(A~Z、a~z)、0~9の数字、「-」もしくは「」を使用してください。
- 縦 26cm×横 16cmより大きい刺しゅうデータを選ぶと、模様は 90 度回転して表示されます。90 度回転しても、縦 26cm×横 16cmより大きい刺しゅうデータは使用することができません。デザインはすべて、デザイン領域縦 26cm×横 16cm内にしてください。
- ・ 針数、色数の制限を超えて記憶した.pesファイルは
 使用できません。針数は最大 200,000 目、色数は最
 大 125 色までです(この数字は、おおよその目安で
 す)。当社正規のデータ作成機で、制限内の模様に
 修正してご使用ください。
- USB メモリー内に作成されたフォルダーに格納され た刺しゅうデータは本機で読み込むことができま す。
- 刺しゅう機を取り付けていない場合にも、このミシンは刺しゅうデータを読み込むことができます。

■ Tajima(.dst)刺しゅうデータ

- .dst データは、模様を一覧する画面にファイル名で 表示されます(実際のイメージは表示されません)。
- Tajima (.dst) データには、具体的な糸色の情報が 含まれていないため、標準的な糸色で表示されま す。プレビューを確認し、必要に応じて糸色を変え ます。

刺しゅう模様を記憶させる

自分の名前など、よく使う文字の組み合わせや、 大きさや傾き、位置を変えた模様などをミシン に記憶させることができます。1MB までの模様 を記憶させることができます。

と お願い

「記憶中…」のメッセージが表示されているときは、電源を切らないでください。記憶されている模様データが消えるおそれがあります。

🖉 お知らせ

- ┦ 記憶が完了するまでに数秒かかります。
 - 記憶させた模様を呼び出すときは、E-34 参照してください。



E





- 模様を選択します。ぬいたい模様がフォル ダー内にある場合は、そのフォルダーを選
 - を押すと、ページを送ることができま
 - **ラ**を押すと、元の画面に戻ります。

•	🛟 0/7дв		6 2 !	- mm
	bPocket	res	φ	▲ <u>1</u> ► 2
C		<u>_</u>	÷	ビ ジト

→ フォルダー内の模様が表示されます。



- フォルダー名、または現在のフォルダーのパス がフォルダーアイコンの下に表示されます。
- 懓 \subset

Ð

V)

- ・ を押すと、1つ上の階層のフォルダーに戻り
- フォルダーは、パソコンで作成してください。ミ シンでフォルダーを作成することはできません。

ぬいたい模様を押して、呼び出します。

- ◀/▶を押すと、ページを送ることができま
- (5)を押すと、元の画面に戻ります。



- 模様データを削除するときは、 🔊を押してくだ さい。模様データが USB メモリーから削除され
- → 模様編集画面が表示されます。





ここでは、困ったときのヒントや、本機を長くお使いいただくためのお手入れ方法などを紹介しています。 ページ数は、「A」の記号で始まります。

第1章 お手入れ/困ったときには A-2

第】章 お手入れ/困ったときには

お手入れのしかた

注油に関して

お客様ご自身による本製品への注油は行わない でください。故障の原因となります。本製品の 動作に必要な油はあらかじめ十分に塗布されて 出荷されていますので、定期的に注油する必要 はありません。万一、プーリーを回すと重い、 異常な音がするなどの症状が発生した場合は、 ただちに使用をやめて、お買い上げの販売店または「お客様相談室(ミシン 119番)」にご相談 ください。

ミシンを保管するときのご注意

以下の場所にミシンを保管しないでください。 結露によるさびの発生など、故障の原因となり ます。

- 温度が著しく高くなる場所
- 温度が著しく低くなる場所
- 急激に温度が変化する場所
- 湿気、湯気が多い場所
- 火気や熱器具、冷暖房機器などに近い場所
- 屋外や直射日光の当たる場所
- ほこり、油煙の多い場所

▶ お願い • 本製品を末永くご愛用いただくために、と きどき電源を入れて、縫製してください。 長期間保管したまま使用しない状態が続く と、ミシンの性能を損なうおそれがありま す。

画面の汚れの掃除

画面が汚れた場合は、乾いたやわらかい布地な どで軽くふきとってください。有機溶剤や洗剤 は使用しないでください。



🔊 お知らせ



ミシンの汚れの掃除

ミシンが汚れた場合は、乾いたやわらかい布地 などで軽くふきとってください。有機溶剤や洗 剤は使用しないでください。



ミシンの掃除は、必ず電源プラグをコン セントから抜いてから行ってください。 けがまたは感電の原因となります。

かまの掃除

針板カバーの下にあるかまを掃除します。

かまには糸くずやほこりがたまりやすく、縫製 不良の原因になる場合があります。定期的に掃 除してください。

す。

(4)(針上下スイッチ)を押して針を上げま



電源を切ります。

З





外します。 詳細は、「基本機能編」の「針の交換」「押えの

交換」を参照してください。





上記のメッセージが表示された場合は、お買い 上げの販売店にご相談のうえ、定期点検をご依 頼ください。 を押すと、表示は消えてミシン を引き続き使うことができますが、適切な点検 が完了するまでは何度も表示されます。

このメッセージが表示されたときは、必ずミシ ンの定期点検をご依頼ください。正しい時期に 定期点検を行うことによって、ミシンを長くご 利用いただくことができます。

タッチパネルが反応しない

液晶画面のキーを押しても反応しない(キー入 力ができない、またはキーがずれている)場合、 以下の手順に従ってください。

電源スイッチを切り、画面(どの部分でもよい)を指で押しながら電源スイッチを入れます。



→ タッチパネル調整画面が表示されます。





+2



+3

と お願い



電子音

キーを操作しているときや、誤った操作をした ときなどに、電子音が鳴ります。

■ 正しい操作をしたとき

「ピッ」と鳴ります。

■ 誤った操作をしたとき

「ピッピッ」または「ピッピッピッピッ」と鳴りま す。

■糸がからむなど、ミシンがロックしたとき

「ピッピッピッ・・・」と4秒間鳴り続け、ミシン は自動的に止まります。 必ず原因を確認して改善してから、再開してくだ さい。

■ 電子音を消したいとき

٦

ඖ定定を押して、設定画面を表示します。

2 設定画面の8ページを表示します。

う「ブザー」を「OFF」に設定します。

針位置 - 上/1	۶	JI 🕕	* <u>8</u> ⊧ 10
() 「戸 ブザー		ON OFF	F)
┌── オープニング		ON OFF	,
(·	日本語 Japanese)		ок

困ったとき

ミシンが思いどおりに動かないときは、修理を 依頼する前に次の項目および弊社サポートサイ ト(ブラザーソリューションセンター) (http://support.brother.co.jp/)の「よくあるご

質問 (Q&A)」を確認してください。

それでも改善されない場合は、お買い上げの販 売店、または「お客様相談室(ミシン 119 番)」 にご相談ください。

よくあるご相談

以下のよくあるご相談については、詳しい原因 と対処方法を記載しております。お問い合わせ の前にご確認ください。

上糸がつる	A-5 参照
布裏で糸がからまる	A-6 参照
糸調子が合わない	A-7 参照
布がミシンに入り込んでとれなく なった	A-8 参照
ボビン受け座の下に糸がからまっ てしまった	A-11 参照

上糸がつる

■ こんなとき

- 上糸がピンと一本線になっている。
- 布地の上側の面に下糸がポツポツと出ている。 (下図参照)
- 上糸がつっていて、引くと抜けてしまう。
- 上糸がつっていて、布にしわがよってしまう。
- 上糸が強く、糸調子を調節してぬい直しても まったく変わらない。



- ① 布地の下側の面
- ② 布地の上側の面に下糸が出ている
- ③ 上糸
- ④ 布地の上側の面
- ⑤ 下糸

■ 原因

下糸のセットがまちがっている 下糸のセットがまちがっていると、下糸に適正な 張力が加わらず、上糸が引き上げられる際に布地 まで一緒に引っぱられてしまいます。そのため、 布地の上に糸が出てしまいます。

■ 対処方法/確認内容

下糸を正しくセットし直します。

- 🔁 🛺を押した後、押えレバーを上げます。
- このたんボビンを内かまから取り出します。
- 3 糸が正しい方向から出るように、ボビンを 内かまにセットします。
- お手入れ/困ったとき
- 糸が必ず左巻きになるように、右手でボビンを 持ち、左手で糸端を持ちます。そのまま右手で ボビンを内かまに入れます。



糸が逆方向から出た状態でボビンをセットすると、 正しい糸調子でぬうことができません。



 右手でボビンを押さえ、左手で巻き終わりの糸 をツメに引っかけます。



① ツメ
 ② 右手でボビンを押えます。



糸を引っぱりながら針板のミゾにそって糸を通し、

最後に手前に引いてカッターで糸を切ります。

③ ミゾ

④ カッター (カッターで糸を切ります。)

内かまにボビンの糸を正しくセットしなければ、正 しい糸調子でぬうことができません。

5 過を押して、すべてのキーとスイッチの ロックを解除します。

布裏で糸がからまる

■ こんなとき

• 布の下側で糸がグチャグチャにからんでしまう。



- ぬい始めるとすぐにガタガタと音がして進まな くなる。
- 布地の下側を見ると、かまの中まで糸が何重に もからまっている。



■ 原因

上糸のセットがまちがっている 上糸のセットがまちがっていると、布地を貫通し た上糸をしっかりと引き上げることができず、か まの中に上糸がたまり、グチャグチャにからんで しまいます。

■ 対処方法/確認内容

からんだ糸を取り除き、上糸をセットし直します。

- からんだ糸を取ります。取れない場合は、 はさみで糸を切ります。
 - A-2の「かまの掃除」を参照してください。
- いったん上糸をミシンから取り外します。
 - ボビンを内かまから取り出した場合は、「基本機能編」の「下糸をセットする」、および A-5 の「上糸がつる」の「対処方法/確認内容」を参照して、正しくボビンをセットしてください。
- 3 以下の手順に従って、上糸をもう一度セットし直します。押えレバーを使って押えを上げます。



① 押えレバー

- → シャッターが開いて、糸通しできるようになります。
- 押えが上がっていなければ、正しく糸通しできません。
- ④ (針上下スイッチ)を1回か2回押して 針を上に上げます。
 - → 針が確実に上がっているときは、プーリーのしるしが、下の図のように上になります。必ず、プーリーのしるしが上になっていることを確認してください。上になっていない場合は、①(針上下スイッチ)を押して、上にしてください。



① プーリーのしるし





針棒糸かけに糸をかけます。

下の図のように左手で糸を押さえ、右手で糸端を 持ってかけるとかけやすくなります。



 ① 針棒糸かけ

糸通しレバーを使って、針に糸を通しま す。

「基本機能編」の「針に糸を通す」の手順に従って、 糸を通します。

糸調子が合わない

■こんなとき

- 症状① 布地の上側にポツポツと下糸が出ている。 (下図参照)
- 症状②布地の上側で上糸が直線になる。
- 症状③ 布地の下側にポツポツと上糸が出ている。 (下図参照)
- 症状④布地の下側で下糸が直線になる。
- 症状⑤ 布地の下側のぬい目がゆるい、またはた るむ。

□ 症状①



□症状③



- ① 布地の下側の面
- ② 布地の上側の面に下糸が出ている
- ③ 上糸
- ④ 布地の上側の面
- ⑤ 下糸
- ⑥ 布地の下側の面に上糸が出ている

■ 原因/対処方法/確認内容

□ 原因 1

糸が正しくミシンにセットされていない。
<症状①、②に該当する場合>
下糸が正しくセットされていません。
上糸調子を初期設定(反転表示)にしてから、A-5の「上糸がつる」を参照してセットし直します。

<症状③~⑤に該当する場合> 上糸が正しく通っていません。 上糸調子を初期設定(反転表示)にしてから、A-6 の「布裏で糸がからまる」を参照して上糸をかけ 直します。

□ 原因 2

布地に合った糸や針を使用していない。

ミシン針は布地の種類や糸の太さによって使い分 けが必要です。

布地に合った糸と針を使用しないと、糸調子が合わなかったり、布地にしわが寄ったり、目とびの原因になったりします。

「基本機能編」の「布地と糸の種類による針の使い分け」の一覧表を参照して、布地に合った糸と針を使用しているか確認してください。

□ 原因 3

上糸調子の設定値が適正でない。

適正な糸調子になるように調節します。 使用する布地/糸の種類やぬい方によって、適正 な糸調子は異なります。

- 「基本機能編」の「糸調子を調節する」を参照して ください。
 - * 実際にお使いになる布地の端切れで試しぬいをし て、糸調子を調節してください。

と お願い

上糸の通し方や下糸のセットが正しくされていない場合は、糸調子の調節が正しく行えません。上糸かけ、下糸セットの確認を先に行ってから、糸調子の調節を行ってください。

布地の上側に下糸が見える場合
 調整画面の - を押して、糸調子を弱くします。



布地の下側に上糸が見える場合
 調整画面の ・ を押して、糸調子を強くします。



布がミシンに入り込んでとれな くなった

布がミシンに入り込んでとれない場合、糸が針 板の下でからんでいることがあります。以下の 手順で、布をミシンから取り外してください。 操作が手順どおりに進まない場合は、無理に作 業を続けず、お買い上げの販売店、または「お 客様相談室(ミシン 119 番)」にご相談ください。





直ちにミシンを停止させます。



3 針を取り外します。

針が布に刺さっている場合は、プーリーを奥側に回 して針を布から外してから、針を取り外してくださ い。

- 「基本機能編」の「針の交換」を参照してください。
- <u> </u>押えと押えホルダーを取り外します。
 - 「基本機能編」の「押えを交換する」「押えホル ダーを取り外す/取り付ける」を参照してくだ さい。

```
6 布を持ち上げて、布の下の糸を切ります。
```

ここで布を取り外すことができる場合は、取り外し てください。次の手順へ進み、かまの掃除をしま す。





3 プーリーをゆっくりと手前に回し、針が針板の穴の中央に落ちることを左右前後から見て確認します。

針が針板に当たる場合は、もう一度針板を取り外し、A-8の「布をミシンから取り外す」の手順
¹³
からやり直してください。



- ① 針板の穴
- ② プーリー
- ④ ジグザグ模様

 を選択します。このとき、

 ぬい目の長さとジグザグ振り幅を最大にしてください。
 - 設定の変更については、「基本機能編」の「振り 幅を調節する」「ぬい目の長さを調節する」を参 照してください。
- 5 プーリーをゆっくりと手前に回し、針棒と 送り歯が正しく動くことを確認します。

針や送り歯が針板に当たる場合は、ミシンの故障が 考えられますので、お買い上げの販売店、または 「お客様相談室(ミシン 119 番)」にご相談くださ い。

- 6 電源を切ってから、ボビンと押えをセット
 します。
 - 「基本機能編」の「下糸をセットする」「押えを交換する」を参照してください。

上糸をかけ直します。

 上糸のかけ方については、「基本機能編」の「上 糸通し」を参照してください。

😥 お知らせ

 上糸が正しくセットされていなければ、糸 がらみの原因になります。正しく上糸を セットしてください。



普通地で試しぬいをします。

↓ お願い • 正しくぬえない場合、原因として、上糸が

正しくセットされていないことや薄い布地 を使用していることが考えられます。試し ぬいの仕上がりが良くない場合は、上糸の かけ方やお使いの布地を確認してください。

ボビン受け座の下に糸がから まってしまった

糸が下糸巻き案内の皿の下に確実に通っていな い状態で下糸を巻くと、ボビン受け座の下に糸 が巻かれてしまうことがあります。そうなった 場合は、以下の手順に従ってボビン受け座の下 に巻かれた糸をほどいてください。









下糸巻き案内側で、はさみで糸を切ります。



① 下糸巻き案内

3 ボビンを左側へ戻し、下糸巻き軸からボビ ンを抜きます。ボビンと軸の間で糸を切 り、ボビンを軸から完全に取り外します。



④ 図のように左手で糸端を持ち、右手でボビン近くの糸をゆっくりと時計回りに回して、からまった糸をほどきます。





と お願い

 糸が下糸巻き案内の皿の下に確実に通って いることを確認してください。

こんなときは

修理を依頼される前に、次の項目を点検してください。それでも直らないときは、お買い上げの販売 店または「お客様相談室(ミシン 119 番)」にご相談ください。

■ ぬう前の準備

症状	原因	対処	参照ページ
糸通しができない	針が正しい位置にない。	針上下スイッチを押して針を上げます。	B-4
針穴に糸が通らない 	針の取り付け方がまちがっている。	針を正しく取り付けます。	B-31
	針が曲がっている。	新しい針に交換します。	B-31
	上糸の通し方がまちがっている。	上糸を通す順序を確認して、通し直します。	B-23
	糸通しフックが曲がっていて針穴に通っていな い。	お買い上げの販売店、または「お客様相談室 (ミシン 119 番)」にご相談ください。	-
	糸通し装置が動かない。糸通し装置が戻らない。	お買い上げの販売店、または「お客様相談室 (ミシン 119 番)」にご相談ください。	-
	9番の針を使っている。	糸通し装置に対応しない針です。手で糸を針穴 に通してください。	B-26
押えレバーで押えを下 げることができない	押え上下スイッチを使って、押えが上げられて いる。	押え上下スイッチを押して、押えを下げます。	B-4
下糸がボビンにきれ	下糸巻き案内に糸がしっかりかかっていない。	下糸巻き案内に糸をしっかりとかけます。	B-17
いに巻けない	ボビンの回転が遅い。	スピードコントロールレバーを「はやく」にし ます。	B-17
	引き出した糸を正しく巻き付けていない。	引き出した糸は、時計回りに 5 ~ 6 回ボビンに 巻き付けます。	B-17
	ボビンが下糸巻き軸に正しくセットされていな い。	ボビンのミゾと下糸巻き軸のバネの位置を合わ せて、ボビンをカチッと音がするまで押し込み ます。	B-17
下糸巻き中、ボビン 受け座の下に下糸が 巻かれた	下糸の巻き方がまちがっている。	受け座の下に巻かれた糸をほどいた後、下糸を 正しく巻きます。糸が下糸巻き案内の皿の下に 確実に通っていることを確認してください。	B-17, A-11
下糸を引き出すこと	針が曲がっている。	新しい針に交換します。	B-31
ができない	下糸のセットのしかたがまちがっている。	下糸を正しくセットします。	B-20
液晶画面に何も表示	電源スイッチが入っていない。	電源スイッチを入れます。	B-9
されない	電源プラグがコンセントに差し込まれていない。	電源プラグをコンセントに差し込みます。	B-9
液晶画面がくもる	液晶画面が結露している。	少し待つと、くもりはなくなります。	-
操作キーを押しても 動かない	手袋をはめた手でキーを押している。 つめでボタンを押している。 静電容量式に対応していないタッチペンを使っ ている。	操作キーは指で直接押してください。 市販のタッチペンを使用するときは、静電容量 式に対応したものを使用してください。	B-4
操作キーを押しても 動かない、または キーの反応が強すぎ る	操作キーの感度が、使用される方に合っていない。	操作キーの感度を調節します。	B-15
ライトが点灯しない	ライトが故障した。	お買い上げの販売店、または「お客様相談室 (ミシン 119 番)」にご相談ください。	-
	設定画面で「ライト」が OFF に設定されてい る。	設定を ON にします。	B-14
刺しゅう機が動かない	刺しゅう機が正しくセットされていない。	刺しゅう機を正しくセットします。	B-56
	刺しゅう枠を付けた状態で初期設定を行った。	刺しゅう枠を外してから、正しく初期設定を行 います。	B-57

A

■ぬっているとき

症状		対処	参照ページ
	スタート/ストップスイッチを押していない。	スタート/ストップスイッチを押します。	B-36
	下糸巻きを行った後、下糸巻き軸が右側のまま になっている。	下糸巻き軸を左側に戻します。	B-17
	模様が選ばれていない。	模様を選びます。	B-36
	押えが下がっていない。	押えを下げます。	B-36
ミシンが動かない	フットコントローラーを接続したままスタート /ストップスイッチを押している。	フットコントローラーを接続しているときは、 スタート/ストップスイッチは使用できません。 フットコントローラーを使ってミシンを操作し てください。スタート/ストップスイッチを使 用する場合は、フットコントローラーを取り外 してください。	B-38
	スピードコントロールレバーがジグザグの振り 幅を調節するように設定されている(「振幅コン トロール」が ON になっている)ときに、ス タート/ストップスイッチを押している。	スタート/ストップスイッチではなく、フット コントローラーを使って、ミシンを操作します。 または、設定画面で「振り幅コントロール」を OFF にします。	B-12, B-38
	針の取り付け方がまちがっている。	針を正しく取り付けます。	B-31
	針のとめネジがゆるんでいる。	とめネジをしっかりしめます。	B-31
	針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	新しい針に交換します。	B-31
	布地に合った針・糸を使っていない。	布地と糸と針の組み合わせ表を見て確認します。	B-30
	模様に合った押えを使用していない。	指定の押えを取り付けます。	B-34
	上糸調子が特に強すぎる。	糸調子を調節します。	B-42
	布地を不当に引っ張っている。	布地を引っ張らないようにします。	-
	糸こまが正しくセットされていない。	糸こまの付け方を確認して、付け直します。	B-17
	針板の穴の周辺にキズがある。 ※ 針板の穴の左端には、 (『 (ぼみが設けられてい ます。この部分はキズ ではありません。 ① くぼみ	針板を交換します。お買い上げの販売店または 「お客様相談室(ミシン 119番)」にご相談くだ さい。	A-8
AL + + + 5 to 7	押えの穴の周辺にキズがある。	押えを交換します。お買い上げの販売店または 「お客様相談室(ミシン 119 番)」にご相談くだ さい。	В-33
虹小灯れる	内かまにキズがある。	内かまを交換します。お買い上げの販売店また は「お客様相談室(ミシン 119番)」にご相談く ださい。	A-2
	針が劣化・消耗している。	新しい針に交換します。	B-31
	本機純正のボビンを使用していない。	厚みの違うボビンでは正しく動作しません。本 機純正ボビンを使用してください。	B-17
	上糸の通し方がまちがっている。	糸を通す順序を確認して、通し直します。	B-23
	下糸セットのしかたがまちがっている。	下糸を正しくセットします。	B-20
	押えの取り付けがまちがっている。	押えを正しく取り付けます。	B-33
	押えホルダーのネジがゆるんでいる。	押えホルダーのネジを確実にしめます。	B-34
	布地が厚すぎる。	プーリーを手で回して針が布地に通ることを確 認してください。	B-30, S-4
	厚い布地などを縫製中に布地を押しこんでいる。	無理に布地を押しこまないようにしてください。	S-4
	ぬい目が細かすぎる。	ぬい目をあらくします。	B-41
	刺しゅうをするときに、布地に刺しゅう用接着 芯を貼っていない。	刺しゅうをするときは、必ず刺しゅう用接着芯 を布地に貼ります。	B-60
	下糸が正しく巻かれていない。	下糸を正しく巻きます。	B-17

症状	原因	対処	参照ページ
	上糸の通し方がまちがっている(糸こまが正し くセットされていない、糸こま押えの大きさが 合っていない、糸が針棒糸かけから外れている など)。	糸を正しく通します。	B-23
	 糸にこぶや結び目がある。		-
	 針に比べて糸が太すぎる。	 針と糸の組み合わせを確認します。	B-30
	 上糸調子が強すぎる。		B-42
	糸がからまっている。	かまなどにからんだ糸をはさみなどで切って取り除きます。	A-6
		新しい針に交換します。	B-31
	針の取り付け方がまちがっている。	針を正しく取り付けます。	B-31
上糸が切れる	針板の穴の周辺にキズがある。 ※ 針板の穴の左端には、 ① くぼみが設けられてい ます。この部分はキズ ではありません。	針板を交換します。お買い上げの販売店または 「お客様相談室(ミシン 119 番)」にご相談くだ さい。	A-8
	押えの穴の周辺にキズがある。	押えを交換します。お買い上げの販売店または 「お客様相談室(ミシン 119 番)」にご相談くだ さい。	В-33
	内かまにキズがある。	内かまを交換します。お買い上げの販売店また は「お客様相談室(ミシン 119 番)」にご相談く ださい。	A-2
	布地に合った針・糸を使っていない。	布地と糸と針の組み合わせ表を見て確認します。	B-30
	糸が結ばれたり、からんだりしている。	上糸と下糸を通し直します。	B-17, B-23
	本機純正のボビンを使用していない。	厚みの違うボビンでは正しく動作しません。本 機純正ボビンを使用してください。	B-17
左直ズをがかります	上糸の通し方がまちがっている。	糸を通す順序を確認して、通し直します。	B-23, A-6
中表したかからよる	布地に合った針・糸を使っていない。	布地と糸と針の組み合わせ表を見て確認します。	B-30
上糸がつる	下糸セットのしかたがまちがっている。	下糸を正しくセットします。	B-20, A-5
	下糸セットのしかたがまちがっている。	下糸を正しくセットします。	B-20
	下糸が正しく巻かれていない。	下糸を正しく巻きます。	B-17
	ボビンにキズがあり、回転がなめらかでない。	ボビンを交換します。	B-20
下糸が切れる	糸がからまっている。	かまなどにからんだ糸をはさみなどで切って取 り除きます。	A-8
	本機純正のボビンを使用していない。	厚みの違うボビンでは正しく動作しません。本 機純正ボビンを使用してください。	B-17
	上糸の通し方、または下糸のセットのしかたが まちがっている。	糸を通す順序を確認して、通し直します。また は、下糸を正しくセットします。	B-17, B-23
	糸こまが正しくセットされていない。	糸こまの付け方を確認して、付け直します。	B-17
	布地に合った針・糸を使っていない。	布地と糸と針の組み合わせ表を見て確認します。	B-30
布地にしわがよる 	針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	新しい針に交換します。	B-31
	薄地に対してぬい目があらすぎる。	ぬい目を細かくします。	B-41
	糸調子が合っていない。	糸調子を調節します。	B-42, A-7
	模様に合った押えを使用していない。	指定の押えを取り付けます。	B-33
	模様に合った押えを使用していない。	指定の押えを取り付けます。	B-33
	糸調子が合っていない。	糸調子を調節します。	B-42
模様が正しくぬえない	内かまなどで糸がからまっている。	からまった糸を取り除きます。内かまにからん でいる場合は、かまを掃除します。	A-6
	送り歯が下がっている。	ドロップレバーを右(B-2

A

症状	原因	対処	参照ページ
	糸の通し方がまちがっている。	糸を通す順序を確認して、通し直します。	B-23
	布地に合った針・糸を使っていない。	布地と糸と針の組み合わせ表を見て確認します。	B-30
	針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	新しい針に交換します。	B-31
ぬい目が飛ぶ	針の取り付け方がまちがっている。	針を正しく取り付けます。	B-31
	針が劣化・消耗している。	新しい針に交換します。	B-31
	針板の下にゴミがたまっている。	ミシンブラシなどでゴミを取り除きます。	A-2
	薄い布地や伸びる布地をぬっている。	布地の下に薄い紙をしいてぬいます。	S-4, D-4
	針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	新しい針に交換します。	B-31
ぬい目ができない	下糸セットのしかたがまちがっている。	下糸を正しくセットします。	B-17
	上糸の通し方がまちがっている。	糸を通す順序を確認して、通し直します。	B-23
	送り歯にゴミがたまっている。	ゴミを取り除きます。	A-2
	かまの部分に糸くずが巻きこまれている。	かまの掃除をします。	A-2
	上糸の通し方がまちがっている。	糸を通す順序を確認して、通し直します。	B-23
ぬい音が高い ガタガタと音がする 	本機純正のボビンを使用していない。	厚みの違うボビンでは正しく動作しません。本 機純正ボビンを使用してください。	B-17
	内かまに針が刺さった穴やスリキズがある。	内かまを交換します。お買い上げの販売店、ま たは「お客様相談室(ミシン 119 番)」にご相談 ください。	A-2
	送り歯が下がっている。	ドロップレバーを左(🚣)に動かします。	B-2
	ぬい目が細かすぎる。	ぬい目の長さを長くします。	B-41
	模様に合った押えを使用していない。	指定の押えを取り付けます。	B-33
	針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	新しい針に交換します。	B-31
や地を达らない	糸がからまっている。	かまなどにからんだ糸をはさみなどで切って取 り除きます。	A-6
	ぬい始めに段差があって、ジグザグ押えが傾い ている。	ジグザグ押えくJ>の押え固定ピンで押えを水 平にしてぬいます。	B-33
	押え圧が布地に合っていない。	設定画面で押え圧を調節します。	B-45
布地が逆方向に送ら れる	送り機構が故障した。	お買い上げの販売店、または「お客様相談室 (ミシン 119 番)」にご相談ください。	-
針が針板に当たる	針のとめネジがゆるんでいる。	針のとめネジをしっかりしめます。針が曲がっ ている場合や針先がつぶれている場合は新しい 針に交換します。	B-31
	針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	新しい針に交換します。	B-31
布がミシンに入り込 んでとれない	糸が針板の下でからんでいる。	布を持ち上げて、布の下の糸を切ります。次に かまの掃除をします。	A-8
折れた針がミシンの 中に落ちた	-	ミシンの電源を切ってから、針板を外します。 ミシンの中に落ちた針が見える場合は、ピン セットなどで取り出します。針を取り出したら、 針板を元に戻します。 電源を入れる前に、プーリーを手でゆっくり手 前に回してなめらかに回るか確認してください。 プーリーがなめらかに回らない場合やミシンの 中に落ちた針を取り出せない場合は、お買い上 げの販売店、または「お客様相談室(ミシン 119番)」にご相談ください。	A-8
プーリーを回したと きに重い	糸がかまなどにからんでいる。	かまにからんだ糸を取り除きます。内かまを正 しい位置に取り付け直します。	A-6

■ 仕上がり

症状 原因		対処	参照ページ
	上糸の通し方がまちがっている。	糸を通す順序を確認して、通し直します。	B-23
	下糸セットのしかたがまちがっている。	下糸をセットし直します。 針板を取り外した場合は、針板を取り付けし直 し、内かまを取り付ける前に針板のネジを確実 にしめます。	B-20, A-2
	布地に合った針・糸を使っていない。	布地と糸と針の組み合わせ表を見て確認します。	B-30
糸調子が合わない	押えホルダーが正しく取り付けられていない。	押えホルダーを正しく取り付けます。	B-34
	糸調子が合っていない。	糸調子を調節します。	B-42, A-7
	下糸が正しく巻かれていない。	下糸を正しく巻きます。	B-17
	針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	新しい針に交換します。	B-31
	本機純正のボビンを使用していない。	厚みの違うボビンでは正しく動作しません。本 機純正ボビンを使用してください。	B-17
文字・飾り模様がく ずれる	模様が正しく調整されていない。	模様の調整をし直します。	D-5
	模様に合った押えを使用していない。	指定の押えを取り付けます。	B-34
	薄地や伸びる布地なのに芯を貼っていない。	布地に接着芯を貼ります。	S-4, D-4
	糸調子が合っていない。	糸調子を調節します。	B-42, A-7
模様がくすれる	ぬっている途中で布地を引っ張ったり押さえた り、布地がずれたりしている。	布地がまっすぐ送られるように、布に手を軽く 添えてぬいます。	B-36
	糸がからまって、かまなどに詰まっている。	からんだ糸を取り除きます。かまに詰まってい た場合は、掃除します。	A-6
	糸がからまっている。	かまなどにからんだ糸をはさみなどで切って取 り除きます。	A-6
	糸調子が合っていない。	糸調子を調節します。	E-27
	刺しゅう枠に布地がきちんと張られていない (布地の張り方がゆるいなど)。	布地の張り方がゆるいと、模様くずれやぬい縮 みの原因となります。刺しゅう枠に布地を正し く張ります。	B-60, B-61
	接着芯を貼っていない。	特に伸びる布地、薄地、目のあらい布地、ぬい 縮みしやすい布地には、必ず刺しゅう用接着芯 を貼ります。適切な接着芯については、お買い 上げの販売店または「お客様相談室(ミシン 119番)」にご相談ください。	B-60
	キャリッジや刺しゅう枠が周辺に置いてある物 に当たっている。	キャリッジや刺しゅう枠が物にぶつかると模様 くずれの原因となります。刺しゅう枠が動く範 囲には物を置かないようにします。	B-56
刺しゅう模様がくず れる	刺しゅう枠からはみでた布地をアーム側に置い ている(刺しゅう枠がつかえて動かない)。	刺しゅう枠からはみ出た布地がアームの反対側 になるようにして枠を張り替え、模様を 180 度 回転して刺しゅうをします。	B-61
	重い衣類に刺しゅうして、刺しゅう機の動きが 悪くなった。	アームベットと水平になるように大きく厚みの ある本などを置いたり、重い側を軽く持ち上げ るようにしてぬいます。	-
	テープルから刺しゅうする布地が垂れ下がって いる。	布地が垂れ下がった状態で刺しゅうをすると、 刺しゅう機の動きが悪くなります。テーブルか ら布地が垂れ下がらないようにします。	B-59
	布地がひっかかっている、またははさみ込まれ ている。	ミシンを止めて布地を正しい位置に直します。	-
	下糸交換などでぬっている途中に刺しゅう枠を 外したり、セットするときに枠を刺しゅう押え にあてたり、押したりした。または刺しゅう機 を動かした。	ぬっている途中で刺しゅう押えに物がぶつかっ たり、刺しゅう機が動いたりすると模様くずれ の原因となります。ぬっている途中で刺しゅう 枠を外したり、セットしたりするときには注意 してください。	_
	刺しゅう用接着芯が、刺しゅう枠よりも小さい など、正しく貼られていない。	刺しゅう用接着芯を布地に正しく貼ります。	B-60

A

症状	原因	対処	参照ページ
刺しゅうした布地の	糸調子が正しく調節されていない。	糸調子を調節します。	E-27
表側に糸のループが できる	内かまと下糸の組み合わせが正しくない。	正しい組み合わせになるように、内かま、ある いは下糸を交換してください。	B-59

エラーメッセージ

誤った操作をしたときは、ミシンが止まり、エラーメッセージでお知らせします。エラーメッセージ が表示されたときは、メッセージの内容に従って対処してください。

表示中のエラーメッセージは
を押すか、正しい操作をすると消えます。

	エラーメッセージ	対処
	安全装置が働きました。	
1	糸がからんでいませんか? 針が曲がっていませんか?	糸がらみなどで、モーターがロックしたときに表示されます。
2	上糸を確かめ、もう一度かけ直してください。	上糸が切れたときなど、上糸が正しく通っていない状態で、スタート/ス トップスイッチなどのスイッチを押したときに表示されます。
3	押えレバーを下げてください。	押えレバーが上がっていて針が下がっている状態で、押え上下スイッチを押 したときに表示されます。
4	記憶できない模様が含まれています。 ミシンの本体に記憶してください。	模様によっては USB メモリーに記憶できない場合があります。
5	このモードではぬえません。	選択中の模様では使用できない機能を使おうとしたときに表示されます。
6	この模様は使えません。	このミシンで使用できない模様を呼び出そうとしたときに表示されます。
7	このUSB メディアは使用できません。	使用できないメモリーを使おうとしたときに表示されます。
8	これ以上組み合わせできません。	70 を超える飾り模様を組み合わせようとしたときに表示されます。
9	刺しゅうキャリッジが動きます。 刺しゅうキャリッジの近くから物を離し、 手を近づけないようにしてください。	刺しゅう機の初期設定をするときに表示されます。
10	下糸が少なくなりました。	下糸が少なくなったときに表示されます。 E-24 の「下糸が少なくなったら」 の手順に従ってください。
11	下糸巻きの安全装置が働きました。 糸がからんでいませんか?	下糸巻き中に、糸がらみなどでモーターがロックしたときに表示されます。
12	スピードコントロールレバーで振り幅を調節するとき は、スタート/ストップスイッチは使用できません。 フットコントローラーを使用してください。	スピードコントロールレバーでジグザグの振り幅を調節するように設定されている状態で、スタート/ストップスイッチを押したときに表示されます。「振り幅コントロール」を「OFF」にするか、フットコントローラーでミシンを操作してください。
13	選択した書体にない文字があるため変更できませ ん。	刺しゅうの文字模様のフォントを変更するとき、変更しようとしたフォント に入っていない文字が模様に含まれている場合に表示されます。
14	定期点検の時期になりました。	ミシンの定期点検が必要です。 (A-4 参照)
15	データ容量の制限を超えています。	データ容量の制限を超える模様を読み込んだり、たくさんの模様を編集した りしたときに表示されます。
16	電源スイッチを切ってから 針板を交換してください。	別売の直線針板を取り付けた状態で、直線(中基線)以外の模様でぬおうと したときに表示されます。 ミシンの電源を入れたまま針板を取り外したときに表示されます。
17	不具合が生じました。 電源をいったん OFF してから再度やり直してく ださい。	電源を入れ直してしてください。 それでもメッセージが表示される場合は、ミシンが故障していることが考え られますので、お買い上げの販売店または「お客様相談室(ミシン 119 番)」 までお問い合わせください。
18	フットコントローラーが付いているときは、 スタート/ストップスイッチは使用できません。	フットコントローラーを取り付けた状態で、実用ぬいや文字・模様ぬいをす るためにスタート/ストップスイッチを押したときに表示されます。
19	ポケットがいっぱいです。 模様を消去してください。	記憶容量がいっぱいで、模様を消去する必要があるときに表示されます。
20	ボタン穴かがりレバーを上げてください。	ボタン穴かがりレバーが下がった状態で、ボタン穴かがり以外の模様を選ん で、スタート/ストップスイッチなどのスイッチを押したときに表示されま す。
21	ボタン穴かがりレバーを下げてください。	ボタン穴かがりレバーが上がった状態で、ボタン穴かがりの模様を選んで、 スタート/ストップスイッチを押したときに表示されます。
22	文字の配列ができません。	文字数が多くて曲線の配列ができないときに表示されます。
23	模様が枠より大きいです。	選択した刺しゅう模様が LL 枠より大きいときに表示されます。模様を縮小す るか、別の模様を選択してください。 「枠指定表示」が「ON」のときは、選択した刺しゅう模様が「枠指定表示」 で選択した枠より大きいときに表示されます。

	エラーメッセージ	対処
24	模様のデータが読めません。データが壊れている可 能性があります。 電源を入れ直して下さい。	呼び出そうとした模様データに異常があるときに表示されます。 以下の原因が考えられますので、模様データを確認してください。 • 模様データが破損している。 • 他社製のデータ作成装置で作成されたデータを呼び出そうとした。 ミシンを正常な状態に戻すため、電源を入れ直してください。
25	USB メディアエラー	USB メモリーでエラーが発生したときに表示されます。
26	USB メディアが交換されました。 読み込んでいる最中に交換しないでください。	呼び出したい模様が記憶された USB メモリーを取り出した後で、その模様を 選択しようとしたときに表示されます。
27	USB メディアが入っていません。 USB メディアを入れてください。	USB メモリーを挿入していない状態で、模様を呼び出そうとしたり、記憶さ せようとしたときに表示されます。
28	容量が不足しています。	記憶容量がいっぱいで、模様を記憶できないときに表示されます。
29	容量が不足しています。 模様を消去してください。	記憶容量がいっぱいで、模様を記憶できないときに表示されます。
30	レジューム記憶を呼び出しますか?	刺しゅう中にミシンの電源を切った後で、もう一度電源を入れたときに表示 されます。 べを押すと、電源を切ったときの状態(模様の位置と縫製済みの針数)に 戻ります。E-24の「途中で糸が切れたときは」の手順に従って、針位置を合 わせて、模様の続きをぬってください。
31	枠をはみ出します。	刺しゅうの文字模様の組み合わせをしている際、模様が刺しゅう枠に収まら なくなったときに表示されます。模様を 90 度回転すると、組み合わせを続け ることができます。
32	枠をはみ出します。この機能は使用できません。	刺しゅうの文字模様の文字の大きさまたは縦書き横書きを変更しようとした とき、模様が刺しゅう枠の大きさを超えた場合に表示されます。
33	枠をはみ出します。これ以上は入力できません。	刺しゅうの文字模様の組み合わせをしている際、模様が刺しゅう枠に収まら なくなったときに表示されます。枠に収まるように、模様のサイズやレイア ウトを変更してください。「枠指定表示」が「ON」の場合、「OFF」にする か、大きな刺しゅう枠を選択すると、問題が解決することがあります。
34	F** (** の部分は、 2 桁の数字)	ミシンが故障していることが考えられますので、お買い上げの販売店または 「お客様相談室(ミシン 119 番)」までお問い合わせください。

A

仕様

■ ミシン本体

項目	仕様	
本体寸法	18.0cm (幅) × 30.0cm (高さ) × 24.9cm (奥行)	
製品質量	9.9kg	
ぬい速度	每分 70 ~ 850 針	
針	家庭用ミシン針 (HA x 1)	
定格電圧/消費電力	/消費電力 100V (50/60Hz) /55W	
ライト	白色 LED	

■ 刺しゅう機

項目	仕様
本体寸法	45.8cm (幅) × 13.2cm (高さ) × 42.1cm (奥行)
ミシンセット時寸法	69.3cm (幅) × 30.0cm (高さ) × 42.1cm (奥行)
製品質量	3.5kg

* 仕様は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

アクセスインジケーター付 USB メモリーを

挿入したときに、アクセスインジケーター が点滅し始め、USB メモリーが認識される

まで約5~6秒かかることがあります

使用する場合は、ミシンに USB メモリーを

USB メモリーを使用してミシンをアップグレードす る

お願い

USB メモリーを使用して、ミシンにインストールされ ているソフトウェアをアップグレードすることができ ます。アップグレード情報については、お買い上げの 販売店または「ミシン 119 番」にお問い合わせいただ くか、弊社サポートサイト(ブラザーソリューション センター)(http://support.brother.co.jp/) で掲載され る情報を参照してください。



索引

索引

数字

	_	
		B-27
3 重ぬい	S-6,	S-37
7mm サテンステッチ	·····	. D-2

В

「bPocket」フォルダー F	B-16,	D-17,	D-26,	E-34
------------------	-------	-------	-------	------

U

USB ポートコネクタ	D-17,	E-34
USB メモリー		
記憶する	D-17,	E-34
使用できる USB メディア	D-16,	E-32
呼び出す	D-18,	E-35

あ

	S-40
厚い布地をぬう	S-4
アップグレードの方法	A-21
アップリケ	S-27
刺しゅうの枠模様を使用する	E-20
刺しゅう模様を使用する	E-18
アルファベット	
刺しゅう	E-2
文字・模様ぬい	D-2

11

位置確認キー	B-68
糸案内	В-2, В-19
糸案内板	B-2
糸色表示	B-70
糸切り	B-2, B-38
糸切り/糸調子キー	E-27
糸切りスイッチ	B-4
糸こま押え	B-2, B-18
糸こまネット	B-18
糸たて棒	B-2, B-17, B-24
糸調子の調整	B-42, A-7
糸通し装置	B-25
糸通しレバー	B-2, B-25
糸パレットキー	E-7
糸密度キー	D-10, E-7
いろいろなぬい方	S-4
色替えキー	E-9

う

	S-46
ウォーキングフット	S-5, S-30
薄い布地をぬう	S-4
内かま	B-3
掃除	A-2
取り外す	A-2
上糸通し	B-23
上ふた	B-2

え

	_
夜晶画面B-	-4
操作B-1	0
掃除A-	-2
エラーメッセージ A-1	8

お

 大型サテンステッチ	D-2
大きさキー	E-6
大きさ選択キー	D-9
送り歯	B-3
押え	
押え圧を調整する	B-45
交換する	B-33
種類	B-34, B-49
押え収納トレイ	B-5
押えホルダー	B-34
押えホルダーのネジ	B-3
取り付ける	B-34
取り外す	B-34
押えレバー	В-2
お手入れ	A-2

か

カーブをぬう	S-2
回転キー	E-6
ガイド付ピーシング押え	S-29
返しぬいスイッチ	B-4, B-39
各部の名称とはたらき	B-2
飾り模様ぬい	D-2
換気口	В-2
かんどめ	S-37

き

キーのはたらき	
刺しゅうの縫製設定	E-15
刺しゅうの文字編集	E-9
刺しゅう模様の編集	E-5
マイイラスト機能	D-22
文字・模様ぬい	D-7
基本のぬい方	B-36
キルター	S-31
キルティング	S-30

<

	S-28
クロスステッチ	. D-2

し

	C 15
	5-45
ジグザグぬい S-12,	S-27
ジグザグぬいの振り幅	B-41
刺しゅう	
刺しゅうの糸色表示	B-70
自動糸切り機能	E-28
小さい布に刺しゅうする	B-63
電源を切った後に再開する	E-25
布地の隅に刺しゅうする	B-63
始めからぬい直す	E-25
リボンテープなどに刺しゅうする	B-63
刺しゅうイメージキー B-68,	D-11
刺しゅう押えの取り付け	B-55
刺しゅう機	. B-3
キャリッジ	B-56
取り付ける	B-56
取り外しレバー B-3,	B-57
取り外す	B-57
刺しゅうキー	. B-4
刺しゅうシート	B-62
刺しゅうする	B-69

刺刺	しゅしゅ	うの うの	糸調 手順	子調整				 		E-27 B-54
刺	しゅ	うの	編集							
	糸色	を変	える					 		. E-7
	+-	のは	たら	き				 	E-5,	, E-9
	模様	の組	み合	わせ …				 	E-13,	E-14
刺	しゅ	う模	様							
	アッ	プリ	ケ模	様	•••••			 		E-18
	位置	合わ	せ		•••••			 		E-15
	位置	の催	認	•••••				 	•••••	B-68
	選ぶ			•••••	•••••			 		. E-2
	記憶	する						 	E-32,	E-34
	組み	合わ	セ					 		E-13
	編集	· · · · ·		•••••	•••••			 		. E-5
	呼び	日9	 /±	77			·····	 •••••	E-34,	E-35
±ıl	作快	旅ど	1使つ	モノツ	ノリク	291	ວ	 	E-20,	E-21
判	しゆ	ン快	体の:	きいり ほうしん				 		B-00
別	しゆ	フ快う措	体の	Ľ 頬 … める				 		B-00
州	しゆ	ノ快	ほど	JU				 	•••••	B-09
丬	しゆ	フ作	s	トの使い	ν÷					D 63
	利し	ר עז	~	下 の 使	ч <u>л</u> .			 •••••	•••••	D-02
	11里大只 1117()	いけ					•••••	 	•••••	B-01 B-64
	取り 右地	た張	 Z				•••••	 	•••••	B-61
刺	Lw	う枠	っ. の表:	 示				 		E-29
下	糸	211	•••••	J				 		1 2)
	下糸	が少	なく	なった	Б			 		E-24
	引き	出す						 		B-27
	巻く							 		B-17
下	糸巻	き案	内…					 	. В-2,	B-17
下	糸巻	き装	置…	•••••				 		. B-2
下	糸を	セッ	トす	3				 		B-20
下	糸を	巻く						 		B-17
Ļ	つけ	ぬい						 		. S-6
実	用ぬ	() 		•••••				 		B-49
実	用模	様画	面	•••••				 		B-10
美	用롅	禄千	— 1== **T					 		. B-4
美白	用限	様の	建 頬	•••••				 		B-36
目白	割糸 動+□□	リリ	イー	•••••				 	•••••	B-44
日白	劉押	ん圧	1冊止	•••••				 	•••••	ы-45 р.44
日白	野 じ 動 止	木と	い /) () () () () () () () () () () () () ()				 	•••••	Б-44
日	割止 ペ-	202	;	ほしるい	· · · · · ·		•••••	 		D-39 л ₄
八	· \ —	ンナ						 	•••••	. в-4

す

	S-44
スタート/ストップスイッチ	B-4
ステップ模様	D-14
スピードコントロールレバー	B-4, S-36
スモッキング	S-44

せ

	-60
設定	
糸調子 B-42, E-	-27
自動糸切り E	-28
自動止めぬいB	-39
操作キーの感度 B-	-15
ぬい目の長さ B	-41
表示言語 B-	-15
振り幅B	-41
設定画面	-12
設定キー	B- 4
セットキー	-23
前面	B-2

そ

	B-16
操作キー	B-4
操作スイッチ	B-4
掃除	

内かま	A-2
液晶画面	A-2
本体表面	A-2

た

台皿		S-16
たち目かがり		S-12
試しぬい	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	. S-2
試しぬいキー		D-26

5

直線ぬい S-6, S-21,

っ

つき合わせ	S-21,	S-45
つくろいぬい (ダーニング)		S-38
筒ものぬい		. S-2

τ

手で針に糸を通す	B-26
電源コードB-2,	B-9
電源スイッチB-2,	B-9
電子音	A-4

٤

	в-4,	B-39
トラブルチェック		. A-5
ドロップレバー	в-2,	S-31
ドロンワーク		S-46

(C	
ニーリフター	
ニーリフター差し込みロ	

ぬ

ぬいしろの幅をそろえるS	-3
ぬい始めの位置キー E-1	15
ぬい目の長さの調整B-4	41
ぬう方向をかえるS	-2

<mark>の</mark> 伸び

『びる布地をぬう	 S-5

は

	S-27, S-28
針	· · · · · ·
交換する	B-31
布地と針と糸の組み合わせ	B-30
針の位置を変える	S-7
針板	B-3
針板カバー	B-3, B-20
針上下スイッチ	B-4
針の見分け方	B-31
針棒糸かけ	B-3
ハンドル	B-2

ひ

ピーシング	S-28
ビニールや皮革をぬう	
ピボット	

<u>ふ</u> プーリー A

索引

ファゴティング	S-43
ファスナー付け	
片返し	S-22
つき合わせ	S-21
ブザー	A-4
付属品	
同梱品	B-6
別売品	B-7
フットコントローラー	B-38
フットコントローラージャック	B-2, B-38
フリーモーションキルト	S-31
エコーキルト押え <e></e>	S-34
オープントゥキルト押え <o></o>	S-31
フリーモーションキルト押え <c></c>	S-32
振り幅の調整	B-41
ブロック移動キー	D-24

^

	S 16
Λ <i>JW</i> =Δ	
別売品	B-7
編集	
刺しゅう	E-5, E-9
マイイラスト機能	D-22
文字・ 樟様めい	D 7

ほ

補助糸たて棒	B-27
補助テーブル	B-2, B-5
ボタン穴かがり	S-15
ボタン穴かがりレバー	B-3, S-17
ボタン付け	S-18

ま

マイイラスト機能	
キーのはたらき	D-22
記憶する	D-26
データを入力する	D-22
デザインする	D-20
保存する	D-26
呼び出す	D-26
前ページキー	B-4
まつりぬい	S-8

み

· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	ミシンの使い方キー		в-4,	B-16
---------------------------------------	-----------	--	------	------

ŧ

文字・模様ぬい	
選び方	D-2
記憶する	D-16, D-17
組み合わせ	D-12
調整する	D-5
ぬい方	D-4
編集	D-7
呼び出す	D-18
文字間隔キー	E-10
文字の配列を変える	E-12
文字模様	D-2
模様の頭出しキー	D-10
模様の記憶	
USB メモリー	D-17, E-34
刺しゅう	E-32
マイイラスト機能	D-26
ミシン	D-16, E-32
文字・模様ぬい	D-16
模様の組み合わせ	
刺しゅう	E-13
文字・模様ぬい	D-12
模様の設定を記憶させる	B-43

模様の長さキー 模様の呼び出し	D-9
USB メモリー	D-18, E-35
刺しゅう	E-35
マイイラスト機能	D-26
ミシン	D-18, E-34
文字・模様ぬい	D-18
模様を反転させる	B-44, D-9, E-7
<u>р</u>	
矢印キー	D-23, E-6, E-13
<u>ل</u>	
よくあるご相談	A-5
横送り	S-41
IJ	
リッパー	S-17
h	

連続/単独ぬいキー	 D-9
アフターサービス

修理を依頼するときや部品を購入するときは、お買い上げの販売店、または「お客様相談室 (ミシン 119番)」にお問い合わせください。

■ 保証書について

- ご購入の際、保証書にお買い上げ日、販売店名などが記入してあるかご確認の上、販売店 で受け取ってください。保証書の内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。
- 当社はこのミシンの補修用性能部品を、製造打ち切り後最低 8 年間保有しています。性能 部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 修理については、お買い上げの販売店、または下記の「お客様相談室(ミシン 119 番)」に ご相談ください。

■ お客様相談室(ミシン119番)

本製品の使い方やアフターサービスについてご不明の場合は お買い上げの販売店または「お客様相談室(ミシン119番)」までお問い合わせください。

〒467-8577 愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15-1

お客様相談室(ミシン119番) Tel:<u>050</u>-3786-1134 050 (ゼロ ゴー ゼロ) で始まる電話番号です。 Fax:052-824-3031

受付時間:月曜日~金曜日 9:00~12:00 13:00~17:30 休業日:土曜日、日曜日、祝日およびブラザー販売株式会社の休日

● お客様相談室 (ミシン119番) は、ブラザー販売株式会社が運営しています。

●機能および操作方法が機種によって異なるため、お問い合わせの際に「機種名」と「機械番号」をご連絡いただきますと、スムーズにお答えすることができます。 ミシン背面の定格ハリマーク(銀色シール)の下記部分をご確認ください。



● ブラザー製品についてのご意見、ご要望は、お買い上げの販売店、または上記「お客様相談 室 (ミシン119番)」にご連絡ください。

● 上記の電話番号、住所および受付時間は、都合により変更する場合がありますので、ご了承 ください。

■ ホームページ

ブラザーのホームページでは、製品に関する様々な情報を掲載しております。 http://www.brother.co.jp/

弊社サポートサイト(ブラザーソリューションセンター)では、製品に関するサポート情報を 掲載しております。 http://support.brother.co.jp/



888-G03/G13 Printed in Vietnam

